

平成 28 年度  
名古屋市立大学大学院薬学研究科  
自己点検・評価報告書

2016

## 目次

1	博士学位取得者	1
2	修士学位取得者	4
3	講演会、研究会、シンポジウム等（2016年1月から2016年12月）	8
4	研究業績目録（2016年1月から2016年12月）	14
	薬化学分野	15
	精密有機反応学分野	20
	薬品合成化学分野	22
	生体超分子システム解析学分野	24
	コロイド・高分子物性学分野	26
	生命分子構造学分野	29
	分子生物薬学分野	42
	薬物送達学分野	44
	生薬学分野	47
	衛生化学分野	54
	遺伝情報学分野	55
	細胞分子薬効解析学分野	57
	病態生化学分野	61
	薬物動態制御学分野	64
	病態解析学分野	66
	細胞情報学分野	68
	神経薬理学分野	71
	医薬品安全性評価学分野	73
	病院薬剤学分野	77
	臨床薬学分野	82
5	科学研究費等補助金	86
6	新聞報道等（2016年1月から2016年12月）	97
7	進路および就職状況	101
8	在籍者名簿	105

# 1 博士学位取得者

報告 番号	博士の学位を授与された者			博士課程の修了等の状況		主論文名	授与 年月日	主査	副査 (指導 教員)	副査	副査	副査
	博士の専 攻分野の 名称	(ふりがな) 氏名	性 別	大学院名	研究科 (専攻)名							
甲第 319号	博士 (薬科学)	(ふるかわ じゅんじ) 古川 純士	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	ENBT1の核酸塩基トランスポーターとしての同 定と代謝酵素との機能的協働の解析及び応用 利用	H 28.3.31	林	湯浅	牧野	山村	
甲第 320号	博士 (薬学)	(こだま なお) 小玉 菜央	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	ヒトiPS細胞の腸管上皮細胞への分化誘導と薬 物動態学的機能解析	H 28.12.28	青山	松永	頭金	湯浅	—
甲第 321号	博士 (ナノメディ シン科学)	(よしむら もとやす) 吉村 元靖	男	名古屋市立大学 大学院 (名古屋工業大学 大学院)	薬学研究科 共同ナノメディシ ン科学専攻 (共同教育課程)	経口吸収改善を目的としたCilostazol Cocystal の調製及びその溶解特性の制御	H 29.3.23	湯浅	尾関	松永	出羽 (名工 大)	—
甲第 322号	博士 (薬学)	(よかわ さとる) 横川 慧	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	細胞間接着を介した膵島α細胞のグルカゴン分 泌調節機構の解明	H 29.3.24	肥田	平嶋	服部	山村	—
甲第 323号	博士 (薬科学)	(あまの ゆういち) 天野 祐一	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	コンフォメーション変換を用いたLSD1阻害ペプ チドの機能制御:刺激応答性リンカーの開発と 機能評価	H 29.3.24	中川	樋口	中村	佐藤	梅澤
甲第 324号	博士 (薬科学)	(はぎわら ひろみ) 萩原 宏美	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	レセプトデータベースを活用した医薬品の適正 使用に関する研究	H 28.3.31	松永	頭金	木村	林	—
甲第 325号	博士 (薬学)	(ふくしげ かおり) 福重 香	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	オーダーメイド医療を目指した新規製剤設計に 関する研究-新規siRNA送達脂質ナノキャリアの 開発と3Dプリンターを用いた錠剤の調製-	H 29.3.31	松永	尾関	平嶋	湯浅	—

報告 番号	博士の学位を授与された者			博士課程の修了等の状況		主論文名	授与 年月日	主査	副査 (指導 教員)	副査	副査	副査
	博士の専 攻分野の 名称	(ふりがな) 氏名	性 別	大学院名	研究科 (専攻)名							
乙第 195号	博士 (薬科学)	(いかわ ひでゆき) 井川 英之	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	メラニン凝集ホルモン受容体1拮抗薬に関する 合成研究およびその薬理作用	H 28.10.31	中川	樋口	中村	今川	—
乙第 196号	博士 (薬科学)	(よしだ やすこ) 吉田 康子	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	医療者と患者の間の医療専門用語の認知差を 埋めるための薬剤師の役割に関する研究	H 28.12.28	頭金	林	鈴木	牧野	—
乙第 197号	博士 (薬科学)	(たけなか とおる) 武中 徹	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	腸管における薬物吸収及び代謝の予測モデル の構築	H 29.2.28	湯浅	松永	牧野	林	—

## 2 修士学位取得者

学位番号	分野名	氏名	性別	論文題目	日付	主査	副査	副査	副査
2050	生薬学	葉 珂	男	In vitro preventive effects of goshajinkigan (牛車腎気丸) extract on muscle atrophy and its active constituents	H28.9.30	牧野	林	樋口	—
2051	薬化学	池川 祥平	男	SIRT6活性検出プローブの開発とmodulatorの探索	H29.3.24	中川	池田	長田	—
2052	薬化学	犬飼 雄哉	男	Nitronyl nitroxideの反応性を利用した新規蛍光性NOプローブの開発	H29.3.24	中川	中村	尾関	—
2053	薬化学	太田 悠平	男	Pin1活性測定を志向した求核攻撃をトリガーとする発蛍光性基質の合成と評価	H29.3.24	中川	樋口	井上	—
2054	薬化学	奥野 華	女	アンテナ部位を変化させたN-nitrosoaminophenol型NOドナーの開発	H29.3.24	中川	木村	梅澤	—
2055	薬化学	脇田 弘臣	男	CARM1 阻害剤探索における問題とその解決を目指した酵素活性検出系の構築	H29.3.24	中川	梅澤	長田	—
2056	精密有機反応学	中村 美里	女	活性酸素種を引き金として鉄毒性の減弱能を発現する分子の開発	H29.3.24	樋口	中川	中村	—
2057	薬品合成化学	竹田 圭介	男	生理活性検出を目指した化学発光性・蛍光性分子の開発	H29.3.24	中村	樋口	中川	—
2058	機能分子構造学	原 侑也	男	ニッケル/亜鉛触媒系によるエノンとエンインの[2+2+2]環化付加反応の検討	H29.3.24	池田	中村	梅澤	—
2059	機能分子構造学	古橋 俊佑	男	パラジウムおよびニッケル触媒を用いたエンインの環化-Claissen転位ドミノプロセスの検討	H29.3.24	池田	樋口	中川	—
2060	生体超分子システム解析学	木村 友香	女	ナノビーズを用いたメラノソームの細胞間移行に関する研究	H29.3.24	平嶋	尾関	井上	—
2061	生体超分子システム解析学	真野 安由美	女	GUVリボソームと細胞の集合体形成における分子間相互作用と接着形態の研究	H29.3.24	平嶋	林	奥菌	—
2062	生体超分子システム解析学	溝端 沙莉	女	マスト細胞と好中球の <i>in vitro</i> 共存培養系の確立と相互作用の解析	H29.3.24	平嶋	肥田	大澤	—
2063	コロイド・高分子物性学	佐藤 直子	女	水系媒体中でのvan der Waals引力によるヒドロゲル表面への粒子吸着	H29.3.24	山中	平嶋	佐藤	—
2064	コロイド・高分子物性学	西川 卓	男	コロイド結晶の格子面配向に対する壁面の影響	H29.3.24	山中	中川	田中	—
2065	コロイド・高分子物性学	深谷 奈央	女	低誘電率媒体中でのシリカコロイドの分散安定性	H29.3.24	山中	尾関	梅澤	—
2066	分子生物薬学	加藤 苑果	女	ヒストンバリエントH2A.Zの発現とオートファジー制御	H29.3.24	今川	肥田	佐藤	—

学位番号	分野名	氏名	性別	論文題目	日付	主査	副査	副査	副査
2067	分子生物薬学	後藤 元晴	男	TGF- $\beta$ 1誘導性の上皮間葉転換における脂肪細胞分化関連遺伝子fad104の機能解析	H29.3.24	今川	林	伊藤	—
2068	薬物送達学	青山 智彦	男	細胞内タンパク質発現調節を目指した翻訳制御因子の機能解析	H29.3.24	尾関	星野	服部	—
2069	薬物送達学	石亀 貴欣	男	金ナノ粒子をドラッグナノキャリアとした経肺投与型製剤の開発	H29.3.24	尾関	山中	佐藤	—
2070	薬物送達学	大塚 衆志	男	時空間的なタンパク質発現制御を目指したRNA結合タンパク質の解析	H29.3.24	尾関	星野	服部	—
2071	薬物送達学	布施 俊樹	男	光増感剤を利用した光刺激応答性リポソームの開発	H29.3.24	尾関	湯浅	田中	—
2072	薬物送達学	森川 善以	男	マイクロ流路システムを利用したPLGAナノ・マイクロ粒子製剤の開発	H29.3.24	尾関	松永	奥菌	—
2073	マイクロRNAゲノム創薬学	大曾根 達則	男	microRNA遺伝子情報を用いた疾患の予測・診断を目的とした二元的情報処理法の検討	H29.3.24	藤井	青山	松永	—
2074	生薬学	渡邊 智暉	男	防風通聖散のOATP2B1阻害作用に関する研究	H29.3.24	牧野	湯浅	樋口	—
2075	遺伝情報学	川島 生	男	RNA分解による抗ウイルス防御	H29.3.24	星野	肥田	長田	—
2076	遺伝情報学	田中 杏莉	女	蛋白質分解がプリオンの出現を抑制する	H29.3.24	星野	林	糸	—
2077	細胞分子薬効解析学	山越 大槻	男	マウス腹腔マクロファージにおけるTWIK-1チャンネルの機能解析	H29.3.24	今泉	肥田	佐藤	—
2078	細胞分子薬効解析学	山田 啓史	男	軟骨細胞モデルにおいてClc-3チャンネル活性は低浸透圧感受性及び炎症性メディエーター産生に寄与する	H29.3.24	今泉	林	大澤	山村
2079	細胞分子薬効解析学	山村 英斗	男	脳虚血モデル低酸素培養下での脳血管内皮細胞の増殖に対するKir2.1チャンネルの機能的役割	H29.3.24	今泉	星野	伊藤	—
2080	病態生化学	荻野 ひまり	女	メタロプロテアーゼADAMTS-3はリーリンを切断して生理活性を低下させる	H29.3.24	服部	林	田中	—
2081	病態生化学	近藤 佑多	男	筋萎縮性側索硬化症の病態解明を目指したモデルマウスの作製と解析	H29.3.24	服部	糸	井上	—
2082	病態生化学	酒井 かおり	女	リーリン機能低下が脳高次機能に及ぼす影響とそれに関わる分子機構の解析	H29.3.24	服部	今川	大澤	—
2083	薬物動態制御学	河村 繁宏	男	腎尿細管有機カチオン輸送系トランスポーターのhistamine輸送機能	H29.3.24	湯浅	頭金	大澤	—

学位番号	分野名	氏名	性別	論文題目	日付	主査	副査	副査	副査
2084	薬物動態制御学	関口 裕太郎	男	蛍光基質の利用による小腸の有機アニオン輸送系トランスポーターの機能解析	H29.3.24	湯浅	牧野	山村	—
2085	薬物動態制御学	細馬 あかね	女	ENBT1による6-mercaptopurine輸送:輸送特性と6-mercaptopurineのがん細胞取り込みにおける役割	H29.3.24	湯浅	松永	井上	—
2086	細胞情報学	川崎 文寛	男	SCF ユビキチンリガーゼによる上皮間葉転換関連遺伝子 SOX4 分解機構の解析	H29.3.24	林	平嶋	伊藤	—
2087	細胞情報学	佐藤 晃一	男	脱ユビキチン化酵素 USP28 は転写因子 Snail を安定化し、がん細胞の浸潤に寄与する	H29.3.24	林	条	今川	—
2088	神経薬理学	飯尾 彩加	女	神経障害性疼痛モデルマウスにおけるメサドンの効果の解析	H29.3.24	条	青山	山村	大澤
2089	神経薬理学	北尾 優花	女	反復社会的敗北ストレスによる痛覚閾値への影響とノルアドレナリン神経系の関与	H29.3.24	条	牧野	井上	大澤
2090	神経薬理学	中根 伸	男	ショウジョウバエの新規睡眠関連遺伝子 <i>Sik3</i> の機能解析	H29.3.24	条	服部	星野	—
2091	神経薬理学	長谷川 達也	男	ショウジョウバエの味覚・栄養による睡眠覚醒制御機構の解析	H29.3.24	条	服部	星野	—
2092	レギュラトリーサイエンス	柴北 健佑	男	P-gpによるsimvastatin acid輸送機能に対する遺伝子多型の影響	H29.3.24	頭金	湯浅	松永	—
2093	レギュラトリーサイエンス	鈴木 章裕	男	有害事象報告データベースを用いた深在性真菌症治療薬による有害事象の網羅的検討	H29.3.24	頭金	鈴木	青山	—
2094	レギュラトリーサイエンス	田近 聡幸	男	アロプリノールによるリンパ球遊走能への影響とその制御機構の解析	H29.3.24	頭金	肥田	朝霧	—
2095	レギュラトリーサイエンス	西川 良平	男	有害事象報告データベースを利用した経口抗凝固薬の有効性と安全性に関する地域差の検討	H29.3.24	頭金	木村	条	—
2096	病院薬剤学	矢萩 亮	男	DPP4阻害が勃起に与える影響についての研究	H29.3.24	木村	青山	今泉	—
2097	臨床薬学	阿武 志保	女	浮遊培養法によるヒトiPS細胞の肝細胞への分化誘導法の確立	H29.3.24	松永	青山	尾関	—
2098	臨床薬学	余 悦	女	ヒトiPS細胞由来腸管幹細胞の単離方法の確立	H29.3.24	松永	湯浅	牧野	—

### 3 講演会、研究会、シンポジウム等 (2016年1月から2016年12月)

開催日： 平成 28 年 2 月 1 日  
講演会名： 部門公開セミナー  
講師名： Prof. Antonio Molinaro  
所属： Department of Chemical Sciences, University of Naples Federico II  
演題： Microbial glycoconjugates and eukaryotic innate immunity  
場所： 分子科学研究所 山手 3 号館 2 階 共通セミナー室  
世話人： 加藤晃一

開催日： 平成 28 年 2 月 15-17 日  
講演会名： 8th Japan-Korea Seminars on Biomolecular Science: Experiments and Simulation  
場所： 岡崎コンファレンスセンター  
世話人： 青野重利、飯野亮太、加藤晃一

開催日： 平成 28 年 3 月 15 日  
講演会名： 名古屋市立大学大学院薬学研究科神経薬理学第 9 回特別セミナー  
講師名： 村山 正宜  
所属： 理化学研究所 脳科学総合研究センター  
演題： 睡眠と記憶  
世話分野： 神経薬理学分野

開催日： 平成 28 年 4 月 13 日  
講演会名： 日本薬学会東海支部特別講演会  
講師名： 中田 雅久 教授  
所属： 早稲田大学理工学術院  
演題： 生物活性多環式含歪天然物の不斉全合成  
世話分野： 薬品合成化学分野

開催日： 平成 28 年 4 月 27 日  
講演会名： 日本薬学会東海支部特別講演会  
講師名： 細谷 孝充 教授  
所属： 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所  
演題： 生命科学研究のための有機化学  
世話人： 樋口恒彦

開催日： 平成 28 年 5 月 25 日  
講演会名： 東海薬剤師生涯学習センター講座  
講師名： 坂下 真大  
所属： 名古屋市立大学薬学研究科  
演題： 移植医療における病院薬剤師の役割  
世話分野： 臨床薬学教育研究センター

開催日： 平成 28 年 6 月 2 日  
講演会名： 糖尿病イブニングセミナー春学術講演会 2016  
講師名： 野村 浩夫  
所属： 名古屋第一赤十字病院薬剤部薬剤管理情報科医薬品情報係長  
演題： 糖尿病と認知症  
講師名： 角谷 寛  
所属： 滋賀医科大学精神科  
演題： 睡眠障害と糖尿病を含めた生活習慣病～薬物療法を中心に～  
世話分野： 桜山糖尿病研究会（世話人：菊池 千草）

開催日： 平成 28 年 6 月 8 日  
講演会名： 東海薬剤師生涯学習センター講座  
講師名： 海野 けい子  
所属： 静岡県立大学 薬学部  
演題： 食品の機能性：老化およびストレスを予防する食品成分について  
世話分野： 臨床薬学教育研究センター

開催日： 平成 28 年 6 月 16 日  
講演会名： 第 161 回薬学談話会  
講師名： 肥田 重明 先生  
所属： 名古屋市立大学 教授  
演題： サイトカインによる免疫・炎症反応制御  
世話人： 石内 勘一郎

開催日： 平成 28 年 7 月 13 日  
講演会名： 東海薬剤師生涯学習センター講座  
講師名： 肥田 重明  
所属： 名古屋市立大学 薬学研究科  
演題： 免疫を制御する薬と副作用  
世話分野： 臨床薬学教育研究センター

開催日： 平成 28 年 8 月 5 日  
講演会名： 第 5 回 名市大頭脳循環セミナー  
講師名： Ivan J. Dmochowski  
所属： University of Pennsylvania  
演題： New Photochemical Probes for Breakthroughs in Biomedicine  
世話分野： 薬化学分野

開催日： 平成 28 年 8 月 10 日  
講演会名： 東海薬剤師生涯学習センター講座  
講師名： 伊藤 邦彦  
所属： 静岡県立大学 薬学部  
演題： 新規経口抗凝固薬 (NOAC) の光と陰  
世話分野： 臨床薬学教育研究センター

開催日： 平成 28 年 8 月 17 日  
講演会名： 部門公開セミナー  
講師名： Prof. Ian LIAU  
所属： Department of Applied Chemistry and Department of Biological Science and Technology, National Chiao Tung University  
演題： Too good to be true? A simple chemical strategy for specific fluorescent labeling of dopaminergic neurons in vitro and in vivo  
講師名： Prof. Hsin-Yun HSU  
所属： Department of Applied Chemistry, Institute of Molecular Science, National Chiao Tung University  
演題： smart nanoplatforms for oligonucleotide delivery and monitoring in cancer theranostics  
場所： 分子科学研究所 山手 3 号館 2 階 共通セミナー室  
世話人： 加藤晃一

開催日： 平成 28 年 9 月 4-6 日

講演会名： 第25回日本バイオイメーjing学会学術集会、公開講座  
場所： 名古屋市立大学薬学部 宮田専治記念ホール  
主催： 日本バイオイメーjing学会、名古屋市立大学大学院薬学研究科  
世話人： 加藤晃一

開催日： 平成28年9月8日  
講演会名： 名古屋市立大学大学院薬学研究科神経薬理学第10回特別セミナー  
講師名： 戸田 浩史  
所属： The University of Pennsylvania  
演題： ショウジョウバエの睡眠誘発遺伝子”nemuri”の発見  
世話分野： 神経薬学分野

開催日： 平成28年9月10日  
講演会名： 東海薬剤師生涯学習センター 薬剤師レベルアップ研修  
講師名： 大脇 真奈  
所属： 春日井市民病院  
演題： 服薬指導レベルアップ研修：患者の心理を把握する  
世話分野： 臨床薬学教育研究センター

開催日： 平成28年9月17日～18日  
講演会名： 第11回認識と形成研究会  
場所： 名古屋市立大学薬学部  
世話人： 服部光治、新美輝幸

開催日： 平成28年10月6日  
講演会名： 日本薬学会東海支部特別講演  
講師名： 三浦 ゆり  
所属： 東京都健康長寿医療センター研究所  
演題： 健康長寿とタンパク質  
世話分野： 薬化学分野

開催日： 平成28年10月8日  
講演会名： 名古屋市立大学市民公開講座  
講師名： 菊池 千草  
所属： 名古屋市立大学大学院薬学研究科臨床薬学分野  
演題： 自分の健康は自分で守ろう～生活習慣病自己管理の勧め～  
世話分野： 名古屋市立大学

開催日： 平成28年10月12日  
講演会名： 日本薬学会東海支部特別講演会  
講師名： Associate Professor Carsten Ehrhardt  
所属： Trinity College Dublin  
演題： Pharmacokinetic and pathophysiological roles of transporters in the lung  
世話分野： 薬物動態制御学分野

開催日： 平成28年10月13日  
講演会名： 日本薬学会東海支部特別講演  
講師名： 山田 健一  
所属： 九州大学大学院薬学研究院  
演題： 脂質酸化中間体の検出と創薬ターゲットとしての可能性

世話分野： 薬化学分野

開催日： 平成 28 年 10 月 19 日

講演会名： 日本薬学会東海支部特別講演会

講師名： 王 喜軍

所属： 黒竜江中医薬大学 教授・副学長

演題： Chinmedomics - The Integration of Serum Pharmacochemistry and Metabolomics to Elucidate the Scientific Value of Traditional Chinese Medicine

世話人： 牧野 利明

開催日： 平成 28 年 10 月 20 日

講演会名： 日本薬学会東海支部特別講演

講師名： 津田 正史

所属： 高知大学・総合科学系複合領域科学部門

演題： 動的核偏極を用いた生体内代謝観測の試み

世話分野： 薬化学分野

開催日： 平成 28 年 10 月 27 日

講演会名： 日本薬学会東海支部特別講演

講師名： 加藤 大

所属： 東京大学大学院薬学系研究科

演題： ナノ粒子の分析とナノ粒子を用いたバイオ計測

世話分野： 薬化学分野

開催日： 平成 28 年 10 月 28 日

講演会名： 創薬基盤科学研究所 特別講演会

講師名： 近藤 裕郷

所属： 医薬基盤研究所・創薬デザイン研究センター

演題： 創薬研究の明日を考える！

世話分野： 薬化学分野

開催日： 平成 28 年 10 月 30 日

講演会名： 東海薬学教育コンソーシアム FD 講演会

講師名： 竹内洋文先生、酒井英二先生

所属： 岐阜薬科大学

演題： 第 17 改正局方の変更点と教育上の要点

世話分野： 東海臨床薬学教育連携センター

開催日： 平成 28 年 11 月 5 日

講演会名： 東海薬剤師生涯学習センター 薬剤師レベルアップ研修

講師名： 大脇 真奈

所属： 春日井市民病院

演題： 服薬指導レベルアップ研修：患者に寄り添う指導の実践

世話分野： 臨床薬学教育研究センター

開催日： 平成 28 年 11 月 10 日

講演会名： 糖尿病イブニングセミナー秋学術講演会 2016

講師名： 山崎 家春

所属： 東京医科大学分子病理学分野

演題： 見逃せない、血糖自己穿刺採血の手技と部位が測定値に与える影響

講師名： 金崎 啓造  
所属： 金沢医科大学糖尿病・内分泌内科学  
演題： 糖尿病腎症と戦う  
世話分野： 桜山糖尿病研究会（世話人：菊池 千草）

開催日： 平成 28 年 11 月 16 日  
講演会名： 第 6 回 CSJ 化学フェスタ 2016 テーマ企画『化学者は医薬・バイオへどうアプローチすればいいのか？』  
場所： タワーホール船堀  
世話人： 岡本 晃充、田中 賢、中村 精一

開催日： 平成 28 年 11 月 17 日  
講演会名： 日本薬学会東海支部特別講演  
講師名： 飛田 成史  
所属： 群馬大学大学院理工学府  
演題： 発光分子プローブによる生体内酸素センシング  
世話分野： 薬化学分野

開催日： 平成 28 年 11 月 17 日～18 日  
講演会名： 第 38 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム  
場所： 名古屋市立大学大学院薬学研究科  
世話人： 平嶋 尚英（実行委員長）

開催日： 平成 28 年 11 月 18 日  
講演会名： 第 168 回名古屋医事法研究会  
講師名： 菊池 千草  
所属： 名古屋市立大学大学院薬学研究科臨床薬学分野  
演題： 健康サポート薬局は地域住民の健康を守ることができるのか  
世話分野： 名古屋医事法研究会

開催日： 平成 28 年 12 月 17 日  
講演会名： 東海薬剤師生涯学習センター 薬剤師レベルアップ研修  
講師名： 牧野 利明  
所属： 名古屋市立大学 薬学研究科  
演題： 薬局漢方製剤入門Ⅰ：軟膏剤  
世話分野： 臨床薬学教育研究センター

開催日： 平成 28 年 12 月 20 日  
講演会名： 第 8 回 名古屋市立大学若手研究者ランチョンセミナー  
講師名： 富田 淳  
所属： 名古屋市立大学大学院薬学研究科  
演題： ショウジョウバエを用いた睡眠研究  
世話人： 川口充康

## 4 研究業績目録

(2016年1月から2016年12月)

## 【薬化学分野】

(原報)

Takuya Arai, Akiko Ohno, Kazunori Mori, Hiroshi Kuwata, Mirei Mizuno, Kohei Imai, Shuntaro Hara, Motoko Shibamura, Masaaki Kurihara, Naoki Miyata, Hidehiko Nakagawa, Kiyoshi Fukuhara  
Inhibition of amyloid fibril formation and cytotoxicity by caffeic acid-conjugated amyloid-beta C-terminal peptides  
*Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **26**, 5468-5471 (2016).

Takuya Arai, Akiko Ohno, Kazunori Mori, Taeko Kakizawa, Hiroshi Kuwata, Toshihiko Ozawa, Motoko Shibamura, Shuntaro Hara, Seiichi Ishida, Masaaki Kurihara, Naoki Miyata, Hidehiko Nakagawa, Kiyoshi Fukuhara  
Design, synthesis, and evaluation of Trolox-conjugated amyloid-beta C-terminal peptides for therapeutic intervention in an in vitro model of Alzheimer's disease  
*Bioorg. Med. Chem.*, **24**, 4138-4143 (2016).

Mitsuyasu Kawaguchi, Shohei Ikegawa, Naoya Ieda, and Hidehiko Nakagawa  
Fluorescence Probe for Imaging Sirtuin Activity in Living Cells, Based on One-Step Cleavage of Dabcyl Quencher  
*ChemBioChem*, **17**, 1961-1967 (2016).

Yuji Hotta, Naoya Ieda, Ayako Fukumoto, Tomoya Kataoka, Yoshihiro Kawade, Yasuhiro Maeda, Hidehiko Nakagawa, and Kazunori Kimura  
Light-controlled relaxation of the rat penile corpus cavernosum using NOBL-1, a novel nitric oxide releaser  
*Investig. Clin. Urol.*, **57**, 215-220 (2016).

Naoya Ieda, Sota Yamada, Mitsuyasu Kawaguchi, Naoki Miyata, and Hidehiko Nakagawa  
(7-Diethylaminocomarin-4-yl)methyl Ester of Suberoylanilide Hydroxamic Acid as a Caged Inhibitor for Photocontrol of Histone Deacetylase Activity  
*Bioorg. Med. Chem.*, **24**, 2789-2793 (2016).

Kai Kitamura, Mitsuyasu Kawaguchi, Naoya Ieda, Naoki Miyata, and Hidehiko Nakagawa  
Visible Light-Controlled Nitric Oxide Release from Hindered Nitrobenzene Derivatives for Specific Modulation of Mitochondrial Dynamics  
*ACS Chem. Biol.*, **11**, 1271-1278 (2016).

Yukihiro Itoh, Keisuke Aihara, Paolo Mellini, Toshifumi Tojo, Yosuke Ota, Hiroki Tsumoto, Viswas Raja Solomon, Peng Zhan, Miki Suzuki, Daisuke Ogasawara, Akira Shigenaga, Tsubasa Inokuma, Hidehiko Nakagawa, Naoki Miyata, Tamio Mizukami, Akira Otaka, and Takayoshi Suzuki  
Identification of SNAIL1 Peptide-Based Irreversible Lysine-Specific Demethylase 1-Selective Inactivators  
*J. Med. Chem.*, **59**, 1531-1544 (2016).

(総説・著書・総合論文など)

Hidehiko Nakagawa  
Photocontrol of NO, H<sub>2</sub>S, and HNO Release in Biological Systems by Using Specific Caged Compounds  
*Chem. Pharm. Bull.*, **64**, 1249-1255 (2016).

Hidehiko Nakagawa  
Caged Gaseous Mediators and Their Control of Cellular Functions  
*Yakugaku Zasshi*, **136**, 29-35 (2016).

Hidehiko Nakagawa  
Photocontrollable NO-releasing compounds and their biological applications  
*J. Clin. Biochem. Nutr.*, **58**, 2-6 (2016).

(学会発表)

中川秀彦  
硫化水素・活性イオウドナー関連化合物の開発  
新学術領域酸素生物学・レドックス委員会 合同特別シンポジウム 2016, 2016年1月23日, 名古屋

奥野華、家田直弥、堀田祐志、川口充康、木村和哲、中川秀彦  
Rhodamine 骨格を有する可視光制御型 NO ドナーの合成および NO 放出能の評価  
日本酸化ストレス学会東海支部 第4回学術集会, 2016年2月6日, 鈴鹿, O-7

谷卓磨、川口充康、家田直弥、中川秀彦  
可視光制御型 HNO ドナーの開発と細胞系への応用  
日本酸化ストレス学会東海支部 第4回学術集会, 2016年2月6日, 鈴鹿, O-8

Naoya Ieda  
Development of a blue-light triggered nitric oxide releaser based on photoinduced electron transfer and its biological application  
Kick-Off Symposium in Nagoya City University 2016 Regulatory Mechanisms of Epigenetic Information and Their Clinical Applications, Feb. 29-Mar. 1, 2016, Nagoya, P-10

山内啓雅, 川口充康, 家田直弥, 中川秀彦  
フェニルグリオキサールの反応性に基づいたシトルリン検出蛍光プローブの開発  
日本薬学会第136年会, 2016年3月25-29日, 横浜, 28AB-am174

奥野華, 家田直弥, 堀田祐志, 川口充康, 木村和哲, 中川秀彦  
黄緑色光で制御可能な NO ドナーの合成、評価と血管弛緩の光制御  
日本薬学会第136年会, 2016年3月25-29日, 横浜, 28AB-am177S 【学生優秀発表賞】

谷卓磨, 川口充康, 家田直弥, 中川秀彦  
新規クマリン型光制御 HNO ドナーの設計・合成と細胞応用  
日本薬学会第136年会, 2016年3月25-29日, 横浜, 28AB-am180

下屋圭佑, 川口充康, 家田直弥, 中川秀彦  
アクリドン骨格を基盤とした光解除型 H<sub>2</sub>S ドナーの開発  
日本薬学会第136年会, 2016年3月25-29日, 横浜, 28AB-am181S

荒井卓也, 大野彰子, 森一憲, 柿澤多恵子, 石田誠一, 桑田浩, 小澤俊彦, 原俊太郎, 柴沼質子, 栗原正明, 宮田直樹, 中川秀彦, 福原潔  
AβのC末端モチーフを含有したトロロックス誘導体による Aβの細胞毒性および酸化ストレスの抑制  
日本薬学会第136年会, 2016年3月25-29日, 横浜, 28AB-am190

川口充康, 池川祥平, 家田直弥, 中川秀彦  
簡便かつ高感度な Sirtuin 活性蛍光検出系の構築  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 25-29 日, 横浜, 28S-pm02

中川秀彦  
活性イオウシグナル研究のための化学ツール開発  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 25-29 日, 横浜, S43-3

中川秀彦  
ガス状細胞情報伝達分子のケージド化合物開発と生物応用  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 25-29 日, 横浜, AL11 【学術振興賞受賞講演】

Kai Kitamura, Misuyasu Kawaguchi, Naoya Ieda, Kazuhiro Hishikawa, Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata, Hidehiko Nakagawa  
Mitochondria-Targeting Nitric Oxide Releasers Controllable with Visible Light and Modulation of Mitochondrial Dynamics  
26th IUPAC International Symposium on Photochemistry, Apr. 3-8, 2016, Osaka, 2P-07

Sota Yamada, Naoya Ieda, Misuyasu Kawaguchi, Naoki Miyata, Hidehiko Nakagawa  
Development of a Caged HDAC Inhibitors Utilizing 7-Diethylaminocoumarin-Type Photolabile Caging Group  
26th IUPAC International Symposium on Photochemistry, Apr. 3-8, 2016, Osaka, 2P-19

Hidehiko Nakagawa  
Photocontrolled release of NO and related species with small chemical tools  
9th International Conference on the Biology, Chemistry, and Therapeutic Applications of Nitric Oxide, May, 2016, Sendai, S18-1

Kai Kitamura, Misuyasu Kawaguchi, Naoya Ieda, Kazuhiro Hishikawa, Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata, Hidehiko Nakagawa  
Mitochondria-Targeting Nitric Oxide Releasers Controllable with Visible Light and Manipulation of Mitochondrial Dynamics  
9th International Conference on the Biology, Chemistry, and Therapeutic Applications of Nitric Oxide, May, 2016, Sendai, A06-5

川口充康, 池川祥平, 家田直弥, 中川秀彦  
Sirtuin 活性検出蛍光プローブの開発と細胞イメージング  
第 14 回次世代を担う有機化学シンポジウム, 2016 年 5 月 27-28 日, 東京, 2-12

川口充康, 池川祥平, 家田直弥, 中川秀彦  
Sirtuin 活性検出蛍光プローブの開発と生細胞応用  
日本ケミカルバイオロジー学会第 11 回年会, 2016 年 6 月 15-17 日, 京都, O-01

喜多村佳委, 川口充康, 家田直弥, 中川秀彦  
ミトコンドリア局在性可視光制御 NO 放出剤によるミトコンドリア断裂誘導  
生理学研究所研究会「オルガネラネットワークの制御機構とその生理的意義」, 2016 年 7 月 28-29 日, 岡崎, P-6

Takuma Tani, Mitsuyasu Kawaguchi, Naoya Ieda, Hidehiko Nakagawa  
Development of a new photocontrollable HNO donor and cellular application  
ACS National Meeting, Aug. 21-25, 2016, Philadelphia, ANYL76

Mitsuyasu Kawaguchi, Shohei Ikegawa, Naoya Ieda, Hidehiko Nakagawa  
Development of one-step sirtuin activity fluorescence probe and living cell imaging  
ACS National Meeting, Aug. 21-25, 2016, Philadelphia, ANYL84

Keisuke Shimoya, Mitsuyasu Kawaguchi, Naoya Ieda, Hidehiko Nakagawa  
Photocontrollable hydrogen sulfide releaser with an acridone moiety  
ACS National Meeting, Aug. 21-25, 2016, Philadelphia, ANYL85

Yuya Inukai, Naoya Ieda, Mitsuyasu Kawaguchi, Hidehiko Nakagawa  
Development of new fluorescent NO probe utilizing the reaction of nitronyl nitroxide  
ACS National Meeting, Aug. 21-25, 2016, Philadelphia, ANYL154

Hana Okuno, Naoya Ieda, Yuji Hotta, Mitsuyasu Kawaguchi, Kazunori Kimura, Hidehiko Nakagawa  
Nitric oxide donor controllable with yellowish green light  
ACS National Meeting, Aug. 21-25, 2016, Philadelphia, MEDI330

中川秀彦, 奥野華, 川口充康, 家田直弥  
緑黄色光吸収色素をアンテナ部位として有する可視光制御可能な NO 放出剤の開発と血管組織への応用  
第 69 回日本酸化ストレス学会, 2016 年 8 月 30-31 日, 仙台, P-65

Kai Kitamura, Mitsuyasu Kawaguchi, Naoya Ieda, Kazuhiro Hishikawa, Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata, Hidehiko Nakagawa  
Visible light controlled and mitochondria-targeting nitric oxide releaser and modulation of mitochondrial dynamics  
The 7th Nagoya/Nanjing/Shenyang Symposium of Pharmaceutical Sciences, Sep. 24-25, 2016, Nagoya, P-8

Sota Yamada, Naoya Ieda, Mitsuyasu Kawaguchi, Naoki Miyata, Hidehiko Nakagawa  
A caged HDAC inhibitor utilizing an aminocoumarin-type photolabile caging group  
The 7th Nagoya/Nanjing/Shenyang Symposium of Pharmaceutical Sciences, Sep. 24-25, 2016, Nagoya, P-9

池川祥平, 川口充康, 家田直弥, 中川秀彦  
SIRT6 活性検出プローブの開発と modulator の探索  
日本薬学会東海支部 合同学術大会 2016, 2016 年 10 月 30 日, 岐阜, D-16

泉屋有佑, 伊藤芳, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦  
Pin1 活性中心のシステイン残基を標的とした Pin1 阻害剤の開発  
日本薬学会東海支部 合同学術大会 2016, 2016 年 10 月 30 日, 岐阜, D-17

谷卓磨, 川口充康, 家田直弥, 中川秀彦  
光制御型 HNO 放出試薬の開発とその細胞応用  
日本薬学会東海支部 合同学術大会 2016, 2016 年 10 月 30 日, 岐阜, D-18 【ベストプレゼン賞】

中川秀彦 【招待講演】  
ガス状分子のケージド化合物による生体応答の光制御  
第 14 回 がんとハイポキシア研究会, 2016 年 11 月 4-5 日, 岐阜

山田創太, 家田直弥, 川口充康, 宮田直樹, 中川秀彦  
可視光で制御可能なケージド HDAC 阻害剤の開発  
第 14 回 がんとハイポキシア研究会, 2016 年 11 月 4-5 日, 岐阜, P-26

川口充康, 池川祥平, 家田直弥, 中川秀彦

Sirtuin 蛍光プローブの開発と生細胞イメージングへの応用

第 14 回 がんとハイポキシア研究会, 2016 年 11 月 4-5 日, 岐阜, P-27

犬飼雄哉, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦

クマリン構造を母核としたニトロニルニトロキシド誘導体の合成と一酸化窒素検出能の評価

第 47 回 中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 2016 年 11 月 5-6 日, 豊橋, 1P24

【精密有機反応学分野】

(原報)

Masahide Shibata, Shuhei Koeda, Tomoyasu Noji, Keisuke Kawakami, Yuya Ido, Yuichi Amano, Naoki Umezawa, Tsunehiko Higuchi, Takehisa Dewa, Shigeru Itoh, Nobuo Kamiya, and Toshihisa Mizuno  
Design of new extraction surfactants for membrane proteins from peptide-gemini surfactants (PG-surfactants)"  
*Bioconjugate Chem.*, **27(10)**, 2469-2479 (2016).

Akira Muramatsu, Yuta Shimizu, Yuko Yoshikawa, Wakao Fukuda, Naoki Umezawa, Yuhei Horai, Tsunehiko Higuchi, Shinsuke Fujiwara, Tadayuki Imanaka, Kenichi Yoshikawa  
Naturally occurring branched-chain polyamines induce a crosslinked meshwork structure in a giant DNA  
*J. Chem. Phys.*, **145**, 235103 (2016).

(総説・著書・総合論文など)

樋口 恒彦  
クライトン「生物無機化学」.  
塩谷光彦 監訳 (担当第 21 章)  
東京化学同人 第 21 章 金属と神経変性疾患, 307-321 (2016).

特許出願

出願日：平成 28 年 6 月 14 日

出願番号：特願 2016-117807 号

名称：チエノピリジン誘導体およびその使用

発明者：一條秀憲、長野哲雄、樋口恒彦、他 10 名

特許出願人：国立大学法人東京大学、公立大学法人名古屋市立大学、国立大学法人名古屋工業大学、国立大学法人名古屋大学

(学会発表)

Naoki Umezawa, Yuhei Horai, Tsunehiko Higuchi  
Solid-phase synthesis of structurally diverse polyamines and specificity on their interaction with DNA duplex  
第 8 回武田科学振興財団薬科学シンポジウム, 2016 年 1 月 21-22 日 (吹田) .

Yuichi Amano, Naoki Umezawa, Tsunehiko Higuchi  
Stimuli-responsive linkers to control peptide function: linker development and control of LSD1 inhibitory activity  
第 8 回武田科学振興財団薬科学シンポジウム, 2016 年 1 月 21-22 日 (吹田) .

國枝 一輝, 田口 知世, 加藤 信樹, 梅澤 直樹, 樋口 恒彦  
o-キノジメタンの  $8\pi$  電子環状反応を利用した Benzocyclooctadiene 合成法の開発  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 28 日 (横浜) ; 28AB-am098.

齋藤 俊輔, 大竹 廣雄, 梅澤 直樹, 加藤 信樹, 廣部 雅昭, 樋口 恒彦  
亜酸化窒素の還元とカップルする金属ポルフィリン触媒アルケン二量化反応  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 28 日 (横浜) ; 28U-am03.

Tsunehiko Higuchi (招待講演)

Iron Porphyrin Alcoholate and Manganese Porphyrin Thiolate As Element-Substituted Analogs of Heme Thiolate complex

The 229th Meeting of The Electrochemical Society (ECS). 2016年5月29日-6月2日 (San Diego, California, U.S.A.) .

中村 圭佑, 天野 祐一, 新木 悠介, 梅澤 直樹, 樋口 恒彦  
ペプチドの活性および物性のコントロールをめざした、刺激応答性リンカーの開発  
第62回日本薬学会東海支部 総会・大会. 2016年7月9日 (名古屋) ; C13.

井鍋 佳菜子, 梅澤 直樹, 樋口 恒彦  
ヘム-チオラート錯体及び類縁体のスピン状態変換に関する研究  
第62回日本薬学会東海支部 総会・大会. 2016年7月9日 (名古屋) ; C14.

寺前 将太, 小林 由布子, 大久保 恵理奈, 青柳 忍, 加藤 信樹, 梅澤 直樹, 樋口 恒彦  
ルテニウムポルフィリンの酸化触媒能に及ぼす $\beta$ 位臭素基の効果  
第62回日本薬学会東海支部 総会・大会. 2016年7月9日 (名古屋) ; C15.

鈴木 潤, 井鍋 佳菜子, 白川 慶典, 梅澤 直樹, 加藤 信樹, 樋口 恒彦  
ヘム-チオラート錯体のスピン状態変化とその酸化還元特性に及ぼす影響  
第49回酸化反応討論会. 2016年10月14-15日 (徳島) ; P-33.

寺前 将太, 小林 由布子, 大久保 恵理奈, 青柳 忍, 加藤 信樹, 梅澤 直樹, 樋口 恒彦  
ルテニウムポルフィリンの環臭素化と酸化触媒能に及ぼす $\beta$ 位臭素基の効果  
第49回酸化反応討論会. 2016年10月14-15日 (徳島) ; P-34.

## 【薬品合成化学分野】

(原報)

Shunsuke Sugiyama, Yuki Yoshino, Sei Kuriyama, Masahiro Inoue, Keigo Komine, Kazunori Otsuka, Aki Kohyama, Hiroyuki Yamakoshi, Chikashi Ishioka, Masamitsu Tanaka, Yoshiharu Iwabuchi, Hiroyuki Shibata  
A curcumin analog, GO-Y078, effectively inhibits angiogenesis through actin disorganization.

*Anti-Cancer Agents Med. Chem.*, **16**, 633–647 (2016).

Syusuke Egoshi, Yousuke Takaoka, Hiroaki Saito, Yuuki Nukadzuka, Kengo Hayashi, Yasuhiro Ishimaru, Hiroyuki Yamakoshi, Kosuke Dodo, Mikiko Sodeoka, Minoru Ueda

Dual function of coronatine as a bacterial virulence factor against plants: possible COI1–JAZ-independent role

*RSC Advances*, **6**, 19404–19412 (2016).

Koji Fukuda, Yoshihiko Uehara, Eiko Nakata, Masahiro Inoue, Kazuhiro Shimazu, Taichi Yoshida, Hiroaki Kanda, Hiroshi Nanjo, Yoshio Hosoi, Hiroyuki Yamakoshi, Yoshiharu Iwabuchi, Hiroyuki Shibata

A diarylpentanoid curcumin analog exhibits improved radioprotective potential in the intestinal mucosa.

*Int. J. Radiat. Biol.*, **92**, 388–394 (2016).

Hiroyuki Yamakoshi, Yuki Sawayama, Yoshihiro Akahori, Marie Kato, Seiichi Nakamura

Total syntheses of (+)-marrubiin and (–)-marrulibacetal.

*Org. Lett.*, **18**, 3430–3433 (2016).

Jun Ando, Miwako Asanuma, Kosuke Dodo, Hiroyuki Yamakoshi, Satoshi Kawata, Katsumasa Fujita, Mikiko Sodeoka

Alkyne-tag SERS screening and identification of small-molecule-binding sites in protein.

*J. Am. Chem. Soc.*, **138**, 13901–13910 (2016).

Aki Kohyama, Michihiro Fukuda, Shunsuke Sugiyama, Hiroyuki Yamakoshi, Naoki Kanoh, Chikashi Ishioka, Hiroyuki Shibata, Yoshiharu Iwabuchi

Reversibility of the thia-Michael reaction of cytotoxic C5-curcuminoid and structure–activity relationship of bis-thiol-adducts thereof.

*Org. Biomol. Chem.*, **14**, 10683–10687 (2016).

(総説・著書・総合論文など)

山越 博幸

アルキンが拓く低分子化合物の生細胞イメージング.

「化学の要点シリーズ 18 基礎から学ぶケミカルバイオロジー」, 日本化学会編, 共立出版, 東京, pp. 130–131 (2016).

山越 博幸

マスターキーでアクセス アクアミリンアルカロイドの不斉全合成.

化学, **71**, 62–63 (2016).

(学会発表)

有馬 竜平, 赤堀 禎紘, 山越 博幸, 中村 精一

シラシロシド E-1 CDE 環部改良合成法の開発  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 28 日 (横浜) ; 28AB-pm037.

近藤 秀明, 山越 博幸, 中村 精一【優秀発表賞】  
ジアゾ化合物の酸化的環化反応による多置換ジヒドロフランの合成.  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 29 日 (横浜) ; 29M-am06S.

澤山 侑季, 山越 博幸, 赤堀 禎紘, 中村 精一  
鎮痙作用を示すジテルペノイド・マルリブアセタールの全合成.  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 29 日 (横浜) ; 29U-pm09S.

陰 未来, 高田 峰辰, 山越 博幸, 中村 精一  
酸化/付加環化連続反応によるオクタヒドロフェナントレン骨格構築法の開発  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 29 日 (横浜) ; 29N-pm12S.

陰 未来, 高田 峰辰, 山越 博幸, 中村 精一  
新規イソベンゾフラン発生法に基づく多環式化合物合成法の開発  
第 62 回日本薬学会東海支部総会・大会, 2016 年 7 月 9 日 (名古屋) ; B15.

陰 未来, 高田 峰辰, 山越 博幸, 中村 精一  
酸化/付加環化連続反応による多環式骨格の一段階構築法の開発  
第 33 回有機合成化学セミナー, 2016 年 9 月 7 日 (ニセコ) ; P26.

Keisuke Suzuki, Hiroyuki Yamakoshi, Seiichi Nakamura  
Stereoselective Construction of Bridged Polycyclic Systems via a Polyene Cyclization Reaction  
第 7 回 名古屋・南京・瀋陽 薬学学術シンポジウム, 2016 年 9 月 24 日 (名古屋) ; O-7.

中村 精一【招待講演】  
新規合成ブロックの創製を基盤とする多環式天然物合成  
第 47 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 2016 年 11 月 5 日 (豊橋) ; 1A07.

鈴木 恵介, 山越 博幸, 中村 精一  
架橋多環式メロテルペノイド・バークレーオン類の合成研究  
第 47 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 2016 年 11 月 6 日 (豊橋) ; 2A01.

近藤 秀明, 木村 文香, 山越 博幸, 中村 精一  
 $\alpha$ -ジアゾエステルの酸化的環化反応によるジヒドロフラン誘導体の合成.  
第 42 回反応と合成の進歩シンポジウム, 2016 年 11 月 8 日 (静岡) ; 2P-21.

陰 未来, 高田 峰辰, 山越 博幸, 中村 精一  
新規イソベンゾフラン発生法を基盤とする縮環化合物合成法の開発  
第 6 回 CSJ 化学フェスタ 2016, 2016 年 11 月 16 日 (東京) ; P7-041.

## 【生体超分子システム解析学分野】

(原報)

Satoru Yokawa, Tadahide Furuno, Takahiro Suzuki, Yoshikazu Inoh, Ryo Suzuki, Naohide Hirashima  
Effect of cell adhesion molecule 1 expression on intracellular granule movement in pancreatic  $\alpha$  cells.  
*Cell Biochem. Biophys.*, **74**, 391-398 (2016).

Satoshi Tadokoro, Tetsuhiro Shibata, Yoshikazu Inoh, Toshiro Amano, Mamoru Nakanishi, Naohide Hirashima,  
Naoko Utsunomiya-Tate  
Phosphorylation of syntaxin-3 at Thr 14 negatively regulates exocytosis in RBL-2H3 mast cells.  
*Cell Biol. Int.*, **40**, 589-596 (2016).

Satoshi Tadokoro, Naohide Hirashima, Naoko Utsunomiya-Tate  
Effect of complexin II on membrane fusion between liposomes containing mast cell SNARE proteins.  
*Biol. Pharm. Bull.*, **39**, 446-449 (2016).

(総説・著書・総合論文など)

鈴木 亮

IgE 受容体による多彩な抗原認識とアレルギー応答制御機構.  
アレルギー・免疫, **277**, 32-39 (2016).

(学会発表)

大倉 字海, 八木 孝樹, 平嶋 尚英, 田中 正彦  
腸管グリア細胞におけるカルシニューリン欠損がもたらす消化・吸収異常.  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 27 日 (横浜); 27AB-pm221.

奥田 梨花, 鈴木 亮, 平嶋 尚英  
GUV liposome 集合体における分子間相互作用と接着形態の解析.  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 28 日 (横浜); 28AB-pm376.

田所 哲, 平嶋 尚英, 楯 直子  
マスト細胞の SNARE 依存性の膜融合における complexin II の clamp 効果.  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 28 日 (横浜); 28AB-pm380.

大嶽 修一, 宮地 克真, 鈴木 亮, 平嶋 尚英  
改変好塩基球を用いた特異的腫瘍認識による抗腫瘍効果.  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 29 日 (横浜); 29AB-am226.

大倉 字海, 八木 孝樹, 平嶋 尚英, 田中 正彦  
グリア細胞におけるカルシニューリン欠損が小腸の変性・炎症と消化・吸収不良をもたらす.  
第 62 回日本薬学会東海支部大会, 2016 年 7 月 9 日 (名古屋); D11.

田中 正彦, 八木 孝樹, 藤田 真弥, 田中 順一, 大倉 字海, 平嶋 尚英  
カルシニューリン B $\alpha$  欠損腸管グリア細胞の機能障害と小腸異常.  
第 39 回日本神経科学大会, 2016 年 7 月 28 日 (横浜); P1-189.

頭金 正博, 鈴木 匡, 伊東 真紀, 平嶋 尚英  
東海地区での新しい実務実習評価の共有を目指すワークショップ.  
第1回日本薬学教育学会大会, 2016年8月27-28日(京都); P-022.

田中 正彦, 西川 心, 平嶋 尚英  
単一細胞エレクトロポレーションを用いた初代培養神経細胞への小分子及び巨大分子の導入.  
第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2016年11月17日(名古屋); Pos-10.

真野 安由美, 奥田 梨花, 鈴木 亮, 平嶋 尚英  
GUV liposome 集合体での GUV 間相互作用と接着形態の解析.  
第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2016年11月17日(名古屋); Pos-12.

井上 悠, 長谷川 靖司, 宮地 克真, 山田 貴亮, 中田 悟, 田中 正彦, 鈴木 亮, 平嶋 尚英  
創薬における三次元培養皮膚の応用性について.  
第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2016年11月17日(名古屋); Pos-17.

伊納 義和, 田所 哲, 平嶋 尚英, 中西 守, 古野 忠秀  
正電荷リポソームによるマスト細胞活性化の抑制とそのメカニズムの解明.  
第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2016年11月17日(名古屋); Pos-19.

鈴木 亮, 服部 幸希, 望月 雄司, 平嶋 尚英  
分泌顆粒局在型  $Ca^{2+}$ チャネル Orai-2 によるアレルギー制御機構.  
第39回日本分子生物学会年会, 2016年12月1日(横浜); 2P-0622.

溝端 沙莉, 平嶋 尚英, 鈴木 亮  
*In vitro* 共存培養系によるマスト細胞と好中球の相互作用の追究.  
第39回日本分子生物学会年会, 2016年12月1日(横浜); 2P-0624.

田中 正彦, 大倉 字海, 山本 康介, 平嶋 尚英  
グリア細胞におけるカルシニューリン欠損が小腸の変性と炎症を引き起こす.  
第39回日本分子生物学会年会, 2016年12月2日(横浜); 3P-0596.

## 【コロイド・高分子物性学分野】

(原報)

Tohru Okuzono, Kana Odai, Tatsuhiro Masuda, Akiko Toyotama, Junpei Yamanaka  
Numerical study of cluster formation in binary charged colloids  
*Physical Review E* **94**, 012609(9) (2016).

Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, Junpei Yamanaka  
Spontaneous Formation of Eutectic Crystal Structures in Binary and Ternary Charged Colloids due to Depletion Attraction  
*Scientific Reports* **6**, 23292(9) (2016).

Ai Murakado, Akiko Toyotama, Masaaki Yamamoto, Ryota Nagano, Tohru Okuzono, Junpei Yamanaka  
Thermoreversible crystallization of charged colloids due to adsorption/desorption of ionic surfactants  
*Journal of Colloid and Interface Science* **465**, 200–207 (2016).

Yukihiro Sugao, Sachiko Onda, Akiko Toyotama, Yoshihiro Takiguchi, Tsutomu Sawada, Shigeo Hara, Suguru Nishikawa, Junpei Yamanaka  
Gelled colloidal crystals as tunable optical filters for spectrophotometers  
*Japanese Journal of Applied Physics* **55**, 087301-1-6 (2016).

Junpei Yamanaka, Yoshihisa Suzuki, Jun Nozawa, Tsutomu Sawada  
In-situ observation of colloidal crystallization  
*Progress in Crystal Growth and Characterization of Materials* **62**, 413-416 (2016).

Yoshihisa Suzuki, Yoshiaki Hattori, Jun Nozawa, Satoshi Uda, Akiko Toyotama, Junpei Yamanaka  
Adsorption, desorption, surface diffusion, lattice defect formation, and kink incorporation processes of particles on growth interfaces of colloidal crystals with attractive interactions  
*Crystals* **6**, 80 (2016)

豊玉彰子, 松野宏美, 小森和紀, 奥菌透, 山中淳平  
枯渇引力による荷電コロイドの共晶形成  
日本結晶成長学会誌 **43**(2), 71-77, (2016)

(総説・著書・総合論文など)

大岩頭, 奥菌透, 松野俊一, 岡隆史, 有田亮太郎  
東京大学工学教程 基礎系 数学 ベクトル解析  
東京大学工学教程編纂委員会, 丸善出版, pp.15-30 (2016).

豊玉彰子  
枯渇引力による多成分荷電コロイドの共晶形成  
*C&I Communications* **41** (3), 29 (2016).

山中淳平, 奥菌透, 豊玉彰子  
微粒子の自己集合による複雑構造の形成-多成分コロイドのクラスターと共晶構造  
化学 **71**(10),66,(2016).

富田友紀, 豊玉彰子, 奥藪透, 山中淳平  
顕微鏡泳動法によるコロイド会合体の荷電解析  
材料表面の親水・疎水の評価と制御設計 (2016), 第2章, 第9節

山中淳平, 富田友紀, 岡地真奈美, 豊玉彰子, 奥藪透  
コロイド微小重力実験の展望  
Proceedings of The Thirtieth Space Utilization Symposium (2016).

(学会発表)

Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, Junpei Yamanaka  
Spontaneous Formation of Eutectic Crystal Structures in Binary and Ternary Charged Colloids due to Depletion Attraction  
6th International Colloids Conference, 2016年6月19-22日 (ドイツ・ベルリン)

Junpei Yamanaka, Yuki Nakamura, Manami Okachi, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono  
Controlled clustering of charged colloidal particles by additions of ionic surfactants  
6th International Colloids Conference, 2016年6月19-22日 (ドイツ・ベルリン)

Suguru Nishikawa, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, Junpei Yamanaka  
Gel immobilized colloidal crystals and their application for strain sensing  
The 18th International Conference on Crystal Growth and Epitaxy, 2016年8月7-12日 (名古屋)

Junpei Yamanaka, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono  
Controlled crystallization of colloidal particles due totuning of charge by adsorption of ionic surfactant  
The 18th International Conference on Crystal Growth and Epitaxy, 2016年8月7-12日 (名古屋)

Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, Junpei Yamanaka  
Spontaneous Formation of Eutectic Crystal Structures in Binary and Ternary Charged Colloids due to Depletion Attraction  
The 18th International Conference on Crystal Growth and Epitaxy, 2016年8月7-12日 (名古屋)

Junpei Yamanaka, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono  
Fabrication of 3D Colloidal Crystals of Titania and Gold Particles  
The 14th International Conference of Near-Field Optics, Nanophotonics and Related Techniques, 2016年9月4-8日 (浜松)

Tohru Okuzono, Kana Odai, Tatsuhiko Masuda, Akiko Toyotama, Junpei Yamanaka  
Numerical study of cluster formation in oppositely charged binary colloids  
4th International Soft Matter Conference, 2016年9月12-16日 (フランス・グルノーブル)

山中淳平, 富田友紀, 岡地真奈美, 豊玉彰子, 奥藪透  
荷電コロイド粒子のクラスター形成  
第67回コロイドおよび界面化学討論会, 2016年9月22日 (旭川)

豊玉彰子, 奥藪透, 山中淳平  
枯渴引力によるコロイド共晶構造の形成  
第67回コロイドおよび界面化学討論会, 2016年9月24日 (旭川)

関友崇, 奥菌透, 豊玉彰子, 山中淳平  
塩基拡散中の荷電コロイドダイナミクス  
第 67 回コロイドおよび界面化学討論会, 2016 年 9 月 24 日 (旭川)

佐藤直子, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平 【ポスター賞】  
荷電高分子ヒドロゲルへの同符号荷電コロイド粒子の吸着  
第 67 回コロイドおよび界面化学討論会, 2016 年 9 月 24 日 (旭川)

青山柚里奈, 富田友紀, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平  
イオン性界面活性剤の吸着挙動を利用した荷電コロイドの温度誘起結晶化  
第 67 回コロイドおよび界面化学討論会, 2016 年 9 月 24 日 (旭川)

深谷奈央, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平  
低誘電率媒体中での荷電コロイドの分散安定性  
第 67 回コロイドおよび界面化学討論会, 2016 年 9 月 24 日 (旭川)

西川卓, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平  
荷電コロイドの結晶化に対する粒子-壁面間の相互作用の影響  
第 67 回コロイドおよび界面化学討論会, 2016 年 9 月 24 日 (旭川)

Junpei Yamanaka, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono  
Colloidal crystallization  
ESA Topical team Meeting on Macromolecular crystallization 2016 年 12 月 6 日 (イタリア・ミラノ)

## 【生命分子構造学分野】

(原報)

Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, and Katsuyuki Nishimura

Membrane-induced dichotomous conformation of amyloid  $\beta$  with the disordered N-terminal segment followed by the stable C-terminal  $\beta$  structure

*PLOS ONE* **11**, e0146405 (2016).

Supaporn Seetaha, Maho Yagi-Utsumi, Takumi Yamaguchi, Kentaro Ishii, Supa Hannongbua, Kiattawee Choowongkamon, and Koichi Kato

Application of site-specific spin labeling for NMR detecting inhibitor-induced conformational change of HIV-1 reverse transcriptase

*ChemMedChem*. **11**, 363-366 (2016).

Tadashi Satoh, Takayasu Toshimori, Gengwei Yan, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato

Structural basis for two-step glucose trimming by glucosidase II involved in ER glycoprotein quality control

*Sci. Rep.* **6**, Article number: 20575 (2016).

Ratsupa Thammaphorn, Kentaro Ishii, Maho Yagi-Utsumi, Susumu Uchiyama, Supa Hannongbua, and Koichi Kato

Mass spectrometric characterization of HIV-1 reverse transcriptase interactions with non-nucleoside reverse transcriptase inhibitors

*Biol. Pharm. Bull.* **39**, 450-454 (2016).

Rintaro Inoue, Takumi Takata, Norihiko Fujii, Kentaro Ishii, Susumu Uchiyama, Nobuhiro Sato, Yojiro Oba, Kathleen Wood, Koichi Kato, Noriko Fujii, and Masaaki Sugiyama

New insight into the dynamical system of  $\alpha$ B-crystallin oligomers

*Sci. Rep.* **6**, Article number: 29208 (2016).

Hiromi Ito, Hiroyuki Kaji, Akira Togayachi, Parastoo Azadi, Mayumi Ishihara, Rudolf Geyer, Christina Galuska, Hildegaard Geyer, Kazuaki Kakehi, Mitsuhiro Kinoshita, Niclas G. Karlsson, Chunsheng Jin, Koichi Kato, Hirokazu Yagi, Sachiko Kondo, Nana Kawasaki, Noritaka Hashii, Daniel Kolarich, Kathrin Stavenhagen, Nicolle H. Packer, Morten Thaysen-Andersen, Miyako Nakano, Naoyuki Taniguchi, Ayako Kurimoto, Yoshinao Wada, Michiko Tajiri, Pengyuan Yang, Weiqian Cao, Hong Li, Pauline M. Rudd, and Hisashi Narimatsu

Comparison of analytical methods for profiling N- and O-linked glycans from cultured cell lines : HUPO Human Disease Glycomics/Proteome Initiative multi-institutional study

*Glycoconjugate J.* **33**, 405-415 (2016).

Masaaki Sugiyama, Hirokazu Yagi, Kentaro Ishii, Lionel Porcar, Anne Martel, Katsuaki Oyama, Masanori Noda, Yasuhiro Yunoki, Reiko Murakami, Rintaro Inoue, Nobuhiro Sato, Yojiro Oba, Kazuki Terauchi, Susumu Uchiyama, and Koichi Kato

Structural characterization of the circadian clock protein complex composed of KaiB and KaiC by inverse contrast-matching small-angle neutron scattering

*Sci. Rep.* **6**, Article number: 35567 (2016).

Tadashi Satoh, Takayasu Toshimori, Masanori Noda, Susumu Uchiyama, and Koichi Kato

Interaction mode between catalytic and regulatory subunits in glucosidase II involved in ER glycoprotein quality control

*Protein Sci.* **25**, 2095-2101 (2016).

Hirokazu Yagi, Chu-Wei Kuo, Takayuki Obayashi, Satoshi Ninagawa, Kay-Hooi Khoo, and Koichi Kato  
Direct mapping of additional modifications on phosphorylated O-glycans of o-dystroglycan by mass spectrometry analysis in conjunction with knocking out of causative genes for dystroglycanopathy  
*Mol. Cell Proteomics* **15**, 3424-3434 (2016).

Reiko Murakami, Risa Mutoh, Kentaro Ishii, and Masahiro Ishiura  
Circadian oscillations of KaiA-KaiC and KaiB-KaiC complex formations in an in vitro reconstituted KaiABC clock oscillator  
*Genes to Cells* **21**, 890-900 (2016).

(総説・著書・総合論文など)

立川仁典, 神谷由紀子, 加藤晃一  
業績紹介：糖の CD スペクトルに現れる H/D 同位体効果の発現機構を解明  
“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.29, p1 (2016).

加藤晃一, 内山 進, 佐藤匡史  
業績紹介：プロテアソーム  $\alpha 7$  サブユニット 14 量体の  $\alpha 6$  による解体  
“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.29, p2 (2016).

Zhu Tong  
新学術領域「動的秩序と機能」第 4 回国際シンポジウム Poster Presentation Award 受賞報告  
“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.29, p10 (2016).

加藤晃一  
第 13 回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム「次世代生命科学における糖鎖研究」報告  
“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.29, p14 (2016).

Maho Yagi-Utsumi, Takumi Yamaguchi, Ryo Kitahara, and Koichi Kato  
NMR explorations of biomolecular systems with rapid conformational exchanges  
*Molecular Science of Fluctuations Toward Biological Functions*  
(M.Terazima, M.Kataoka, R.Ueoka, and Y.Okamoto ed.), Springer (Japan), pp.87-103 (2016).

佐藤匡史, 山口拓実, 加藤晃一  
業績紹介：小胞体品質管理に関わるグルコシダーゼ II による糖鎖プロセッシング機構の構造基盤  
“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.31, p4 (2016).

加藤晃一  
本領域のさらなる発展を期して  
“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.32, p1 (2016).

加藤晃一  
加藤グループの谷中冴子さんが第 32 回井上研究奨励賞を受賞  
“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.32, p9 (2016).

加藤晃一  
国際活動報告：日韓国際共同研究へ向けて  
“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.32, p11 (2016).

加藤晃一, 内山 進

加藤グループの谷中冴子さんと内山グループの石井健太郎さんが 80 回日本生化学会中部支部支部会にて奨励賞を受賞

“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.36, p6 (2016).

杉山正明, 内山 進, 加藤晃一

業績紹介:  $\alpha$ B クリスタリン会合体による動的システムに対する洞察

“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.37, p1 (2016).

加藤晃一

The 17th International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems 報告

“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.37, p4 (2016).

Arunima Sikdar

Okazaki Institute for Integrative Bioscience Summer School 2016 印象記

“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.37, p6 (2016).

Hirokazu Yagi and Koichi Kato

Functional roles of glycoconjugates in the maintenance of stemness and differentiation process of neural stem cells

*Glycoconjugate J.* in press (2016).

Ayako Furukawa, Tsuyoshi Konuma, Saeko Yanaka, and Kenji Sugase

Quantitative analysis of protein–ligand interactions by NMR

*Progress in Nuclear Magnetic Resonance Spectroscopy* 96, 47 (2016).

谷中冴子

谷中冴子助教に第 32 回井上研究奨励賞

分子研レターズ Vol.74, p17-18 (2016).

山本浩史, 加藤晃一

バンコク訪問

分子研レターズ Vol.74, p20 (2016).

加藤晃一, 谷中冴子, 矢木 - 内海真穂

NMR 構造生物学がもたらす新たな創薬研究のツール

*MEDCHEM NEWS* 26, 195-200 (2016).

加藤晃一

活動報告「第 25 回日本バイオイメーキング学会学術集会」の開催

“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.38, p4 (2016).

杉山正明, 内山 進, 寺内一姫, 加藤晃一

業績紹介: 超分子質量分析と中性子小角散乱を利用した時計タンパク質複合体の構造解析

“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.39, p1 (2016).

山口拓実

2016 年ノーベル化学賞受賞 Jean-Pierre Sauvage 博士講演会報告

“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.40, p11 (2016).

加藤晃一, 飯野亮太, 村田和義

加藤グループの與語理那さんと飯野グループの石渡大貴さんと村田グループの宋致弘さんが OIIB リトリート 2016 にてポスター賞を受賞

“Dynamical Ordering & Integrated Functions” Newsletter Vol.40, p12 (2016).

(学会発表)

Hirokazu Yagi 【招待講演】

Functional analysis of causative gene products of  $\alpha$ -dystroglycanopathy associated with the formation of laminin-binding glycans

The 3<sup>rd</sup> International Symposium on Glyco-Neuroscience, 2016 年 1 月 15 日 (淡路)

Hirokazu Yagi and Koichi Kato

Functional analysis of causative gene products of  $\alpha$ -dystroglycanopathy associated with the formation of laminin-binding glycans

The 3<sup>rd</sup> International Symposium on Glyco-Neuroscience, 2016 年 1 月 14-15 日 (淡路) ; P-19.

Mitsutaka Ogawa, Shogo Sawaguchi, Kyosuke Takeshita, Toyoaki Murohara, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, Koichi Furukawa, and Tetsuya Okajima

Extracellular O-GlcNAc regulates Dll4-dependent Notch signaling in the endothelial cells and BBB/BRB maintenance

The 3<sup>rd</sup> International Symposium on Glyco-Neuroscience, 2016 年 1 月 14-15 日 (淡路) ; P-47.

矢木宏和 【招待講演】

分子、細胞、組織レベルにおける糖鎖の機能解析

日本大学理工学部インフォーマルセミナー, 2016 年 1 月 22 日 (東京)

Saeko Yanaka 【招待講演】

The analysis of structural dynamics using NMR for the understanding of the protein functions and for designing drugs

The 12<sup>th</sup> SOKENDAI Life Science Retreat, 2016 年 1 月 25 日 (掛川)

加藤晃一 【招待講演】

糖鎖の構造生物学

第 57 回構造生物応用研究会, 2016 年 2 月 4 日 (東京)

Tadashi Satoh, Tong Zhu, Takayasu Toshimori, Kousuke Suzuki, Gengwei Yan, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato 【招待講演】

Structural insights into N-glycan-mediated fate-determination of glycoproteins in cells

Pure and Applied Chemistry International Conference (PACCON) 2016, 2016 年 2 月 11 日 (Bangkok)

Kunihiro Kuwajima, Mahesh S. Chandak, Maho Yagi-Utsumi, Takumi Yamaguchi, Takashi Nakamura, and Koichi Kato 【招待講演】

The H/D-exchange kinetics of a fully unfolded protein studied by the DMSO-quenched and 2D NMR techniques  
8<sup>th</sup> Japan-Korea Seminars on Biomolecular Science: Experiments and Simulation, 2016 年 2 月 15 日 (岡崎)

Takumi Yamaguchi, Yan Gengwei, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato 【招待講演】

Design and creation of Lewis X-expressing glycoclusters toward functional analyses of oligosaccharides in

membrane systems

8<sup>th</sup> Japan-Korea Seminars on Biomolecular Science: Experiments and Simulation, 2016年2月16日 (岡崎)

Saeko Yanaka, Kouhei Tsumoto, and Kenji Sugase 【招待講演】

Affinity improvement of antibody through mutational modification of the conformational dynamics

8<sup>th</sup> Japan-Korea Seminars on Biomolecular Science: Experiments and Simulation, 2016年2月17日 (岡崎)

Tadashi Satoh, Koya Inagaki, Maho Yagi-Utsumi, Toshiya Kozai, Tong Zhu, Satoru G. Itoh, Hisashi Okumura, Hironari Kamikubo, Takayuki Uchihashi, and Koichi Kato 【招待講演】

Structural insights into the working mechanisms of multi-domain enzymes involved in ER protein quality control

8<sup>th</sup> Japan-Korea Seminars on Biomolecular Science: Experiments and Simulation, 2016年2月17日 (岡崎)

谷中冴子 【招待講演】

溶液 NMR を用いた蛋白質試料の測定と解析

2015年度 NMR 集合研修, 2016年2月22日 (岡崎)

Takumi Yamaguchi 【招待講演】

Chemical synthesis and modification of oligosaccharides toward controlling their biofunctions

DU-JAIST Indo-Japan Symposium on Chemistry of Functional Molecules/ Materials, 2016年2月26日 (New Delhi, India) ; IL-10.

Koichi Kato 【基調講演】

Structural views of functional glycans of pharmaceutical interest

6<sup>th</sup> International Symposium on “Current Trends in Drug Discovery & Research”, 2016年2月27日 (Lucknow)

Arunima Sikdar, Chihong Song, Toshiya Kozai, Kentaro Ishii, Maho Yagi-Utsumi, Susumu Uchiyama, Takayuki Uchihashi, Kazuyoshi Murata, Tadashi Satoh, and Koichi Kato

Structural insights into molecular assembly of an archaeal homolog of proteasome assembly chaperone and its partner protein

平成27年度 日本生物物理学会 中部支部講演会, 2016年2月29日 (岡崎) ; T15.

年森隆泰, 佐藤匡史, 野田勝紀, Tong Zhu, 内山 進, 加藤晃一

小胞体グルコシダーゼ II の糖鎖プロセッシング機構の構造基盤

平成27年度 日本生物物理学会 中部支部講演会, 2016年2月29日 (岡崎) ; T18.

小財稔矢, 佐藤匡史, Arunima Sikdar, 矢木宏和, 矢木-内海真穂, 内橋貴之, 安藤敏夫, 加藤晃一

高速 AFM による 20S プロテアソーム関連タンパク質のダイナミクス観察

平成27年度 日本生物物理学会 中部支部講演会, 2016年2月29日 (岡崎) ; P09.

山口拓実 【招待講演】

NMR と分子シミュレーションによる糖鎖の三次元構造ダイナミクスの描像

蛋白研セミナー「構造を基盤とする蛋白質科学における未解決問題」, 2016年3月2日 (東京)

Rintaro Inoue, Takumi Takata, Norihiko Fujii, Kentaro Ishii, Susumu Uchiyama, Nobuhiro Sato, Yojiro Oba, Kathleen Wood, Koichi Kato, Noriko Fujii, and Masaaki Sugiyama 【招待講演】

Dynamic quaternary structure of  $\alpha$ -crystallin

The 7<sup>th</sup> Japan-Taiwan Joint Meeting on Neutron and X-ray Scattering, 2016年3月12日 (大阪)

Tadashi Satoh, Arunima Sikdar, Kazuyoshi Murata, Toshiya Kozai, Kentaro Ishii, Masanori Noda, Hiroki

Kawamura, Hirokazu Yagi, Maho Yagi-Utsumi, Susumu Uchiyama, Takayuki Uchihashi, and Koichi Kato 【招待

講演】

Structural insights into molecular assembly in the proteasomal systems

The 7<sup>th</sup> Japan-Taiwan Joint Meeting on Neutron and X-ray Scattering, 2016年3月12日 (大阪)

Saeko Yanaka, Kenji Sugase, Kouhei Tsumoto, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato

Structural biology approaches to improve antibody functions

6<sup>th</sup> Yonsei-IMS Joint Workshops “Multilateral approaches for investigating biomolecular structures and functions”,  
2016年3月14日 (Seoul)

Tong Zhu, Toshiya Kozai, Takayasu Toshimori, Hironari Kamikubo, Takayuki Uchihashi, Takumi Yamaguchi,  
Tadashi Satoh, and Koichi Kato

Structural insights into the molecular mechanisms underlying glycoproteins quality control mediated by terminal  
glucosylation

6<sup>th</sup> Yonsei-IMS Joint Workshops “Multilateral approaches for investigating biomolecular structures and functions”,  
2016年3月14日 (Seoul)

Koichi Kato and Saeko Yanaka 【招待講演】

Structural study of glycoproteins using antibodies as model systems

KIAS Seminar, 2016年3月15日 (Seoul)

村上怜子, 矢木宏和, 石井健太郎, 柚木康弘、石浦正寛, 加藤晃一

藍色細菌の時計関連タンパク質 SasA が生物時計によって発振される時間情報を出力する分子機構の解  
明

超異分子学会, 2016年3月19日 (京都)

山口拓実, Zhu Tong, 佐藤匡史, 加藤晃一

安定同位体標識モノグルコシル化糖鎖の調製と NMR 立体構造解析

日本化学会 第96春季年会, 2016年3月24日 (京田辺) ; 1C3-58.

Yasuhiro Yunoki, Kentaro Ishii, Reiko Murakami, Masanori Noda, Hirokazu Yagi, Rintaro Inoue, Masaaki  
Sugiyama, Susumu Uchiyama, and Koichi Kato

Conformational and stoichiometric characterization of protein complexes by small-angle neutron scattering in  
conjunction with native mass spectrometry

日本化学会 第96春季年会, 2016年3月27日 (京田辺) ; 4C4-44.

加藤晃一 【招待講演】

糖鎖の生命分子構造学

第371回 CBI 学会講演会, 2016年4月23日 (大阪)

佐藤匡史, Tong Zhu, 年森隆泰, Gengwei Yan, 山口拓実, 上久保裕生, 内橋貴之, 加藤晃一  
グルコース残基を目印としたタンパク質品質管理機構の構造基盤

第80回 日本生化学会中部支部例会・シンポジウム, 2016年5月21日 (津) ; P31.

谷中冴子, 菅瀬謙治, 加藤晃一, 津本浩平 【奨励賞受賞】

動的構造解析を通じた抗体の高機能化

第80回 日本生化学会中部支部例会・シンポジウム, 2016年5月21日 (津) ; P32.

石井健太郎, 加藤晃一, 内山進 【奨励賞受賞】

タンパク質ーリガンド複合体の超分子質量分析

第80回 日本生化学会中部支部例会・シンポジウム, 2016年5月21日 (津) ; P33.

Koichi Kato 【招待講演】

Structural views of glycoprotein quality control in cells

2<sup>nd</sup> KU-IMS Symposium, 2016年6月3日 (Bangkok)

玉木良平, 福谷洋介, 池上健太郎, 矢木真穂, 加藤晃一, 松波宏明, 養王田正文

嗅覚受容体輸送タンパク質 RTP の機能構造解析

第16回日本蛋白質科学会年会, 2016年6月7日 (福岡)

佐藤匡史, Tong Zhu, 年森隆泰, 山口拓実, 加藤晃一 【招待講演】

糖鎖を目印としたタンパク質品質管理機構の構造基盤

第16回日本蛋白質科学会年会, 2016年6月9日 (福岡)

山田秀成, 谷中冴子, 陳明皓, 川崎由貴 【パネリスト】

若手育成・男女共同参画合同ワークショップ パネルディスカッション

第16回日本蛋白質科学会年会, 2016年6月9日 (福岡)

加藤晃一 【招待講演】

生命分子の動的秩序形成におけるミクロ-マクロ相関の探査と設計原理の探求

平成28年度全体班会議, 2016年6月12日 (長浜)

Yuji Masuda, Yasushi Saeki, Saeko Yanaka, Hidehiko Kawai, Iwao Kukimoto, Koichi Kato, Keiji Tanaka and Chikahide Masutani

Mechanism of Lysine 48-linked Multiple Ubiquitin Chain Synthesis by a HECT Ubiquitin Ligase

FASEB Science Research Conference (Ubiquitin & Cellular Regulation), 2016年6月12-17日 (Montana)

蜷川 暁, 岡田 也, 住友嘉樹, 堀本 賢, 鈴木 匡, 武田俊一, 佐久間哲史, 山本 卓, 神谷由紀子, 加藤晃一, 森 和俊

分解執行局域における新展開

第68回日本細胞生物学会大会・日本ケミカルバイオロジー学会第11回大会合同大会, 2016年6月15-17日 (京都) ; AW-4.P1-4.S16-4.

加藤晃一 【招待講演】

多彩な糖鎖の構造・ダイナミクス・相互作用の分子科学

第43回生体分子科学討論会, 2016年6月24日 (名古屋) ; 招待2.

服部良一, 大木 出, 山口拓実, Ying Zhang, 古板恭子, 池上貴久, 小林直宏, 深田はるみ, 白川昌

宏, 加藤晃一, 亀田倫史, 田中好幸, 藤原敏道, 児嶋長次郎

タンパク質の化学修飾を用いた安定同位体標識および常磁性金属標識による NMR 解析

第43回生体分子科学討論会, 2016年6月24日 (名古屋) ; 一般13.

榮 慶丈, 山口拓実, 佐藤匡史, 谷中冴子, 加藤晃一, 岡本祐幸

レプリカ交換分子動力学シミュレーションによる抗体及びFc受容体内の糖鎖分子の解析

第43回生体分子科学討論会, 2016年6月25日 (名古屋) ; 一般19.

Soichiro Kitazawa, Takuro Wakamoto, Teppei Ikeya, Tomoshi Kameda, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, Christian Roumestand, Nicola J. Baxter, Mike P. Williamson, and Ryo Kitahara

NMR snapshots of a fluctuating ubiquitin structure

EUROMAR2016, 2016年7月6日 (Aarhus・Denmark)

梶野 愛, 鈴木達哉, 谷中冴子, Tong Zhu, 佐藤匡史, 山口拓実, 加藤晃一  
酵素化学法による  $^{13}\text{C}$  標識 GM9 糖鎖の合成と動的構造解析  
第 62 回 日本薬学会東海支部大会, 2016 年 7 月 9 日 (名古屋) ; B14.

本田怜奈, 矢木宏和, 佐藤匡史, 矢木真穂, 加藤晃一  
血液凝固因子の輸送に関わるアミノ酸配列の同定  
第 62 回 日本薬学会東海支部大会, 2016 年 7 月 9 日 (名古屋) ; F3.

加藤晃一【招待講演】  
糖鎖の生命分子構造学の探査・創生・展開  
生体機能関連化学部会若手の会 第 28 回サマースクール, 2016 年 7 月 15 日 (西浦温泉)

鈴木達哉, 梶野 愛, Zhu Tong, 佐藤匡史, 谷中冴子, 山口拓実, 加藤晃一  
安定同位体標識高マンノース型糖鎖の化学-酵素合成と NMR 立体構造解析  
生体機能関連化学部会若手の会 第 28 回サマースクール, 2016 年 7 月 15 日 (西浦温泉)

Koichi Kato【招待講演】  
Platform for Integrative Biological Sciences  
28<sup>th</sup> International Carbohydrate Symposium, 2016 年 7 月 17 日 (New Orleans)

Koichi Kato【基調講演】  
Structural views of glycan-dependent determination of glycoprotein fates in cells  
28<sup>th</sup> International Carbohydrate Symposium, 2016 年 7 月 19 日 (New Orleans)

佐藤匡史, 加藤晃一【招待講演】  
糖鎖認識を介したタンパク質品質管理機構の構造基盤  
平成 28 年度 日本応用糖質科学会 東日本シンポジウム, 2016 年 7 月 22 日 (東京)

矢木真穂【招待講演】  
タンパク質の構造ダイナミクスと分子集合メカニズムの理解を目指して  
分子研若手の会, 2016 年 7 月 22 日 (岡崎)

加藤晃一【招待講演】  
バイオ医薬品の構造解析: 基礎と応用  
技術情報協会セミナー, 2016 年 8 月 5 日 (東京)

梶野 愛  
社会が私たちに求めているものは何か? ~未来を支える薬剤師としてのプロフェッショナルを考える~  
日本薬学会 第 6 回学生ワークショップ, 2016 年 8 月 6-7 日 (大阪)

Koichi Kato【招待講演】  
Dynamic ordering of biomolecular and artificial systems  
OIIIB Summer School 2016, 2016 年 8 月 19 日 (岡崎)

Saeko Yanaka, Rina Yogo, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato  
Understanding the Interactions in Serum Environment using NMR  
the 17<sup>th</sup> International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems, 2016 年 8 月 22 日 (京都) ;  
Poster 124.

Hirokazu Yagi and Koichi Kato

Stable Isotope Labeling of Glycoproteins Expressed in Tobacco and Silkworms using Immunoglobulin G  
the 17<sup>th</sup> International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems, 2016年 8月 23日 (京都) ; Poster 437.

Maho Yagi-Utsumi, Katsuyuki Nishimura, and Koichi Kato

NMR Characterization of Conformational Transition of Amyloid- $\beta$  Promoted in Membrane Environments  
the 17<sup>th</sup> International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems, 2016年 8月 25日 (京都) ;  
Poster 246.

Soichiro Kitazawa, Tomoshi Kameda, Kumo Ayumi, Maho Yagi-Utsumi, Nicola J. Baxter, Kato Koichi, Mike P. Williamson, and Ryo Kitahara

Structure of the Alternative State of Ubiquitin determined by High-Pressure NMR Spectroscopy  
the 17<sup>th</sup> International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems, 2016年 8月 25日 (京都) ;  
Poster 282.

Takuro Wakamoto, Soichiro Kitazawa, Teppei Ikeya, Tomoshi Kameda, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, Christian Roumestand, Nicola J. Baxter, P. Mike Williamson, and Ryo Kitahara

Structure and Dynamics of the Locally Disordered State of Ubiquitin Studied by High Pressure NMR Spectroscopy  
Structure of the Alternative State of Ubiquitin determined by High-Pressure NMR Spectroscopy the 17<sup>th</sup> International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems, 2016年 8月 25日 (京都) ; Poster 285 .

Takumi Yamaguchi, Tatsuya Suzuki, Megumi Kajino, Tong Zhu, Tadashi Satoh, Saeko Yanaka, Ying Zhang, Sayoko Yamamoto, Yukiko Kamiya, and Koichi Kato

Paramagnetism-Assisted NMR Evaluation of Dynamic Conformations of Oligosaccharides the 17<sup>th</sup> International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems, 2016年 8月 22日 (京都) ; Poster 460.  
2016年 8月 26日 (京都) ; Oral 26aD-1.

Maho Yagi-Utsumi, Katsuyuki Nishimura, and Koichi Kato 【招待講演】

Interactions of Amyloidogenic Proteins with Membranes and Molecular Chaperones  
the 17<sup>th</sup> International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems, 2016年 8月 26日 (京都) ;  
Oral 26aE-3.

Koichi Kato 【招待講演】

Structural views of glycofunctions of biological and pharmaceutical interest  
The 5<sup>th</sup> International Symposium on Drug Discovery and Design by NMR, 2016年 8月 29日 (横浜)

鈴木達哉, 梶野 愛, Zhu Tong, 佐藤匡史, 谷中冴子, 山口拓実, 加藤晃一  
化学-酵素合成法による安定同位体標識高マンノース型 GM9 糖鎖の調製と NMR 立体構造解析  
第 35 回 日本糖質学会年会, 2016年 9月 3日 (高知) ; P-061.

佐藤匡史, Zhu Tong, 年森隆泰, 梶野 愛, Yan Gengwei, 鈴木達哉, 谷中冴子, 山口拓実, 上久保祐生, 内橋貴之, 加藤晃一

グルコース残基を目印とした小胞体品質管理システムの構造的な理解  
第 35 回 日本糖質学会年会, 2016年 9月 3日 (高知) ; 3C-08.

矢木宏和, 高倉大輔, Lubka T. Roumenina, Wolf Herman Fridman, Catherine Sautès-Fridman, 川崎ナナ, 加藤晃一

ヒト血清由来の可溶性 Fc $\gamma$  レセプター IIIb の部位特異的な N 型糖鎖の構造解析

第 35 回 日本糖質学会年会, 2016 年 9 月 3 日 (高知) ; P-064.

佐藤匡史, Zhu Tong, 年森隆泰, Yan Gengwei, 山口拓実, 上久保祐生, 内橋貴之, 加藤晃一  
グルコース残基を目印とした糖タンパク質プロセッシング機構の構造基盤

第 25 回 日本バイオイメージング学会学術集会, 2016 年 9 月 5 日 (名古屋) ; P47.

姫田美咲, 柘植信吾, 矢木宏和, 加藤晃一

キャリア依存的な LewisX 糖鎖修飾を担う特異的なゴルジ体の局在

第 25 回 日本バイオイメージング学会学術集会, 2016 年 9 月 5 日 (名古屋) ; P34.

Koichi Kato, Takumi Yamaguchi, and Tadashi Satoh 【招待講演】

Structural basis of glycoprotein-fate determination in cell

The 16<sup>th</sup> KIAS Conference on Protein Structure and Function, 2016 年 9 月 23 日 (Seoul)

Shogo Sawaguchi, Mitsutaka Ogawa, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, and Tetsuya Okajima

Extracellular O-GlcNAc regulates Delta-like 4 mediated Notch signaling and vascular development in mammals

第 89 回 日本生化学会, 2016 年 9 月 25 日 (仙台) ; 1T08-07 (1P-046).

谷中冴子, 齋藤 明, 山下哲郎 【講師・パネリスト】

生化学若い研究者の会フォーラム 都市と地方～これからの研究環境選びを考える～

第 89 回 日本生化学会, 2016 年 9 月 26 日 (仙台) ; 2F09.

Koichi Kato 【招待講演】

Carbohydrate dynamics that determine protein fates and functions

IGER International Symposium on Science of Molecular Assembly and Biomolecular Systems 2016, 2016 年 9 月 30 日 (名古屋)

Ryo Kitahara, Soichiro Kitazawa, Takuro Wakamoto, Teppei Ikeya, Tomoshi Kameda, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, Christian Roumestand, Nicola J. Baxter, and Mike P. Williamson

High pressure NMR reveals a fluctuating ubiquitin structure

The 42<sup>nd</sup> Naito Conference, 2016 年 10 月 5 日 (札幌) ; A-7, PS[I]-21.

Saeko Yanaka, Rina Yogo, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato

NMR characterization of antibody interactions in serum

The 42<sup>nd</sup> Naito Conference, 2016 年 10 月 5 日 (札幌) ; PS[I]-59.

Koichi Kato 【招待講演】

Structural basis for dynamic orchestration of proteasomes

The 42<sup>nd</sup> Naito Conference, 2016 年 10 月 6 日 (札幌) ; C-4.

Maho Yagi-Utsumi, Tadashi Satoh, and Koichi Kato

Structural basis for interactions of molecular chaperones with natively unstructured proteins involved in neurodegenerative diseases

The 42<sup>nd</sup> Naito Conference, 2016 年 10 月 6 日 (札幌) ; PS[II]-58.

Tadashi Satoh, Tong Zhu, Takayuki Toshimori, Megumi Kajino, Tatsuya Suzuki, Saeko Yanaka, Takumi Yamaguchi, Hironori Kamikubo, Takayuki Uchihashi, and Koichi Kato

Structural basis for intracellular quality control of glycoproteins mediated by the glycan tags

The 42<sup>nd</sup> Naito Conference, 2016 年 10 月 6 日 (札幌) ; PS[II]-60.

山口拓実【招待講演】

糖鎖の分子科学：化学・生物学・物理学を横断して

第3回「動的秩序と機能」若手研究会，2016年10月11日（加賀）

本田怜奈、矢木宏和、蜷川 暁、佐藤匡史、矢木真穂、加藤晃一積荷受容体タンパク質複合体による血液凝固因子の輸送機構の解明

第3回「動的秩序と機能」若手研究会，2016年10月12日（加賀）；29

鈴木達哉、Gengwei Yan、谷中冴子、山口拓実、加藤晃一NMRと分子動力学計算を用いた非天然型糖鎖の動的構造解析

第3回「動的秩序と機能」若手研究会，2016年10月12日（加賀）；30

石井健太郎、野田勝紀、宗京香織、内山 進水素-重水素交換質量分析によるチトクロームCと抗チトクロームC抗体のエピトープ、パラトープ、構造変化の解析

第3回「動的秩序と機能」若手研究会，2016年10月12日（加賀）；31

與語理那、谷中冴子、矢木宏和、杉山正明、加藤晃一中性子小角散乱法を用いた溶液中でのタンパク質間相互作用に伴う抗体の構造変化の解析

第3回「動的秩序と機能」若手研究会，2016年10月12日（加賀）；32

Gengwei Yan, Takumi Yamaguchi, Saeko Yanaka, Tatsuya Suzuki, Makoto Fujita, and Koichi Kato

Creation of self-assembled glycoclusters for characterizing sugar-sugar interactions

2nd International Symposium on Center of Excellence for Innovative Material Sciences Based on Supramolecule, 2016年10月26日（金沢）；P54.

Koichi Kato【招待講演】

Structural insights into proteasome orchestration mechanisms

The 9<sup>th</sup> Korea-Japan Seminars on Biomolecular Sciences: Experiments and Simulations, 2016年11月14日（Seoul）

Maho Yagi-Utsumi, Tadashi Satoh, and Koichi Kato【招待講演】

Structural basis for interactions of molecular chaperones with intrinsically disordered proteins

The 9<sup>th</sup> Korea-Japan Seminars on Biomolecular Sciences: Experiments and Simulations, 2016年11月14日（Seoul）

Saeko Yanaka, Rina Yogo, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato【招待講演】

Characterization of antibody interactions in serum environments

The 9<sup>th</sup> Korea-Japan Seminars on Biomolecular Sciences: Experiments and Simulations, 2016年11月15日（Seoul）

Takumi Yamaguchi【招待講演】

Biophysical and chemical approaches to dynamic conformations of oligosaccharides

CARBO- XXXI International Conference on "New Frontiers in Carbohydrate Chemistry and Biology" University of Delhi (Delhi, India), 2016年11月15日；PL-13.

矢木宏和

細胞膜上の糖鎖の機能解明のための糖鎖クラスターの設計と創生

第38回 生体膜と薬物の相互作用シンポジウム，2016年11月17日（名古屋）

Maho Yagi-Utsumi 【依頼講演】

Structural views of dynamical ordering of biomolecules

Okazaki Institute for Integrative Bioscience Retreat 2016, 2016年11月21-22日(吉良吉田)

Rina Yogo, Saeko Yanaka, Hirokazu Yagi, Masaaki Sugiyama, Takayuki Uchihashi, and Koichi Kato 【ベストポスター賞受賞】

Exploration of dynamical structures and interactions of antibodies

Okazaki Institute for Integrative Bioscience Retreat 2016, 2016年11月21-22日(吉良吉田) ; P21.

Tatsuya Suzuki, Megumi Kajino, Saeko Yanaka, Tong Zhu, Tadashi Satoh, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato

Exploration of dynamical structures and interactions of oligosaccharides

Okazaki Institute for Integrative Bioscience Retreat 2016, 2016年11月21-22日(吉良吉田) ; P20.

金 明美, 吉田早希, 小財稔矢, 内橋貴之, 杉山正明, 矢木宏和, 加藤晃一 【奨励賞受賞】

2つの異なる転移活性ドメインを有する糖転移酵素による糖鎖伸長機構の解析

糖鎖科学中部拠点 第13回「若手の力」フォーラム, 2016年11月26日(岐阜) ; O-4 (B).

Shogo Sawaguchi, Mitsutake Ogawa, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, and Tetsuya Okajima

Extracellular O-GlcNAc regulates Delta-like 4 mediated Notch signaling and vascular development in mammals

糖鎖科学中部拠点 第13回「若手の力」フォーラム, 2016年11月26日(岐阜) ; O-5 (B), P-10.

柘植信吾, 姫田美咲, 矢木宏和, 加藤晃一

キャリアータンパク質特異的な LewisX 糖鎖修飾機構の解析

糖鎖科学中部拠点 第13回「若手の力」フォーラム, 2016年11月26日(岐阜) ; O-8 (B).

鈴木達哉, Gengwei Yan, 谷中冴子, 矢木宏和, 山口拓実, 加藤晃一

ルイス X 糖鎖の構造改変および NMR と分子動力学計算を用いた動的構造解析

糖鎖科学中部拠点 第13回「若手の力」フォーラム, 2016年11月26日(岐阜) ; O-11 (B).

Toshiya Kozai, Tadashi Satoh, Arunima Sikdar, Hirokazu Yagi, Maho Yagi-Utsumi, Takayuki Uchihashi, Toshio Ando, and Koichi Kato

高速 AFM による 20S プロテアソーム関連タンパク質の動態観察

Dynamics observation of the 20S proteasome-related proteins using High-Speed AFM

第54回日本生物物理学会年会, 2016年11月27日(つくば) ; 3Pos014.

Saeko Yanaka, Rina Yogo, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato

NMR を用いた血清環境での相互作用解析

NMR approach for understanding protein interactions in serum environments

第54回日本生物物理学会年会, 2016年11月27日(つくば) ; 3Pos055.

磯田裕也, 矢木宏和, 佐藤匡史, 小山(柴田)真美, 榊田和宏, 佐藤光男, 加藤晃一, 飯田 茂

Fc $\gamma$  受容体との相互作用における IgG1-Fc の 296 位に存在するアミノ酸残基の重要性

第39回日本分子生物学会年会, 2016年11月30日(横浜) ; 1P-0819.

柚木康弘, 杉山正明, 矢木宏和, 石井健太郎, 大山克明, Lionel Porcar, Anne Martel, 野田勝紀, 村上

怜子, 井上倫太郎, 佐藤伸浩, 大場洋次郎, 寺内一姫, 内山 進, 加藤晃一

中性子小角散乱法と未変性質量分析法による時計タンパク質複合体の構造解析

第39回日本分子生物学会年会, 2016年12月1日(横浜) ; 2LBA-024.

矢木真穂 【アウトリーチ活動】

「身近な化学反応で学ぶ！タンパク質のかたちとはたらき」

出前授業（矢作北中学校），2016年12月2日（岡崎）

柚木康弘，杉山正明，矢木宏和，石井健太郎，大山克明，Lionel Porcar，Anne Martel，野田勝紀，村上  
怜子，井上倫太郎，佐藤伸浩，大場洋次郎，寺内一姫，内山 進，加藤晃一【優秀発表賞受賞】

未変性質量分析法と中性子小角散乱法を利用した時計タンパク質複合体の構造解析

第4回 将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会，2016年12月5日（名  
古屋）；7.

鈴木達哉，梶野 愛，谷中冴子，Tong Zhu，佐藤匡史，山口拓実，加藤晃一

化学・酵素合成を用いた糖鎖の安定同位体標識およびNMRと分子動力学計算を組み合わせた動的立体  
構造解析

第4回 将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会，2016年12月5日（名  
古屋）；36.

山口拓実【招待講演】

常磁性金属プローブを活用した生体分子の構造解析

平成28年度 錯体化学若手の会・北陸支部勉強会，2016年12月9日（金沢）

Kriangsak Faikhruea, Tatsuya Suzuki, Saeko Yanaka, Takumi Yamaguchi, Panuwat Padungros, Tirayut  
Vilaivan and Koichi Kato

Structural Analyses of Pyrrolidinyl Peptide Nucleic Acid (PNA) and Tethered Oligosaccharide

総研大アジア冬の学校2016，2016年12月15日（岡崎）；P-9.

加藤晃一【招待講演】

生命分子システムの秩序形成のダイナミクス

次世代脳プロジェクト，2016年12月19日（国立）

## 【分子生物薬学分野】

(原報)

Natsuki Ochiai, Makoto Nishizuka, Shigehiro Osada, Masayoshi Imagawa  
Fad24, a positive regulator of adipogenesis, is required for S phase re-entry of C2C12 myoblasts arrested in G0 phase and involved in p27<sup>Kip1</sup> expression at the protein level.  
*Biol. Pharm. Bull.*, **39**, 807-814 (2016).

Daiki Katoh, Makoto Nishizuka, Shigehiro Osada, Masayoshi Imagawa  
FAD104, a regulator of adipogenesis and osteogenesis, interacts with the C-terminal region of STAT3 and represses malignant transformation of melanoma cells.  
*Biol. Pharm. Bull.*, **39**, 849-855 (2016).

Makoto Nishizuka, Wataru Horinouchi, Eri Yamada, Natsuki Ochiai, Shigehiro Osada, Masayoshi Imagawa  
"selected as a featured article in FEBS Letters"  
KCNMA1, a pore-forming  $\alpha$ -subunit of BK channels, regulates insulin signalling in mature adipocytes.  
*FEBS Lett.*, **590**, 4372-4380 (2016).

(総説・著書・総合論文など)

今川 正良  
脂肪細胞分化初期の分子機構及び新規分化制御因子の有する多彩な生理機能に関する研究.  
薬学雑誌, **136**, 649-658 (2016).

(学会発表)

長田 茂宏, 新美 有希, 山口 桃子, 中村 真也, 今川 正良 (27R-am03)  
ヒストン脱アセチル化酵素 HDAC9 とハンチントン病関連因子の相互作用  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 26 日 - 29 日 (横浜) .

後藤 元晴, 加藤 大輝, 長田 茂宏, 西塚 誠, 今川 正良 (28O-pm12)  
脂肪細胞分化関連因子 fad104 は上皮間葉転換を制御する  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 26 日 - 29 日 (横浜) .

西塚誠, 長田茂宏, 今川正良 (29AB-am197)  
KCNMA1 のチャンネル活性制御剤がインスリンシグナルに与える影響  
日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 26 日 - 29 日 (横浜) .

駒田莉奈, 西塚誠, 長田茂宏, 今川正良 (E1)  
低分子量 G タンパク質 RhoE の上皮間葉転換ならびに脂肪細胞分化過程における発現検討  
第 62 回 日本薬学会東海支部大会, 2016 年 7 月 9 日 (名古屋) .

澤田妙子, 中村真也, 今川正良, 長田茂宏 (E2)  
ヒストン脱アセチル化酵素とハンチントン病関連因子 HAP1 の相互作用  
第 62 回 日本薬学会東海支部大会, 2016 年 7 月 9 日 (名古屋) .

成田沙智世, 中野友香, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良 (D4)

白色脂肪組織ならびに脂肪細胞分化過程における各種カリウムチャネルの発現  
第 62 回 日本薬学会東海支部大会, 2016 年 7 月 9 日 (名古屋) .

長田茂宏 (演題 10)

ヒストン脱アセチル化酵素 HDAC9 の基質および相互作用因子の探索  
名市大エピジェネティクス研究会 リトリート 2016, 2016 年 9 月 15 日 - 16 日 (知多郡) .

長田茂宏 【招待講演】

肝化学発がん過程における腫瘍マーカー発現とエピジェネティクス制御因子  
第 7 回名市大若手研究者ランチョンセミナー, 2016 年 10 月 25 日 (名市大) .

後藤元晴, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良 【ベストプレゼン賞】 (D-4)

がん細胞の上皮間葉転換における脂肪細胞分化促進因子 *fad104* の役割  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2016, 2016 年 10 月 30 日 (岐阜) .

小島舞子, 今川正良, 長田茂宏 (F-16)

アルギニンメチル化酵素 CARM1 スプライシングバリエーションの発現  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2016, 2016 年 10 月 30 日 (岐阜) .

中野友香, 成田沙智世, 長田茂宏, 西塚誠, 今川正良 【ベストプレゼン賞】 (F-18)

脂肪細胞分化過程における各種カリウムチャネルの発現と役割の検討  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2016, 2016 年 10 月 30 日 (岐阜) .

西塚誠, 中野友香, 成田沙智世, 長田茂宏, 今川正良 (B2-05)

脂肪細胞におけるカリウムチャネルの役割  
第 38 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2016 年 11 月 17 - 18 日 (名古屋) .

長田茂宏, 澤田妙子, 中村真也, 今川正良 (2P-0216)

Interaction of huntingtin associated protein 1 with histone deacetylases  
第 39 回日本分子生物学会年会, 2016 年 11 月 30 日 - 12 月 2 日 (横浜) .

Makoto Nishizuka, Wataru Horinouchi, Eri Yamada, Shigehiro Osada, Masayoshi Imagawa (P1638)

KCNMA1 contributes to the regulation of insulin signaling in mature adipocytes.  
American Society for Cell Biology (ASCB) Annual Meeting, 2016 年 12 月 3 - 7 日 (San Francisco) .

Motoharu Goto, Makoto Nishizuka, Shigehiro Osada, and Masayoshi Imagawa (P1981)

The role of *fad104*, a positive regulator for adipogenesis, in TGF- $\beta$ 1-induced epithelial to mesenchymal transition.  
American Society for Cell Biology (ASCB) Annual Meeting, 2016 年 12 月 3 - 7 日 (San Francisco) .

今川正良 【招待講演】

脂肪細胞分化制御因子が有する多彩な生理機能  
日本化学会東海支部三重地区講演会「分子生物化学の最前線」2016 年 12 月 9 日 (津) .

## 【薬物送達学分野】

(原報)

Masafumi Otsuka, Yusuke Maeno, Toshiro Fukami, Motoki Inoue, Tatsuaki Tagami, Tetsuya Ozeki,  
Solid dispersions of efonidipine hydrochloride ethamolate with improved physicochemical and pharmacokinetic properties prepared with microwave treatment, *Eur. J. Pharm. Biopharm.*, 108, 25-31(2016).

Tetsuya Nishiyama, Tetsuo Ogata, Tetsuya Ozeki,  
Preparation of bitter taste-masking granules of lafutidine for orally disintegrating tablets using water-insoluble/soluble polymer combinations, *J. Drug Deliv. Sci. Technol.*, 32, Part A, 38-42(2016).

Moeko Taki, Tatsuaki Tagami, Kaori Fukushige and Tetsuya Ozeki,  
Fabrication of nanocomposite particles using a two-solution mixing-type spray nozzle for use in an inhaled curcumin formulation, *Int. J. Pharm.*, 511, 104-110(2016).

Daisuke Nakane, Tatsuaki Tagami, Tomohiro Inomata, Yuki Ichikawa, Akiko Nakada, Tetsuya Ozeki and Hideki Masuda,  
Dissolution of water-insoluble curcumin by femtosecond-laser ablation in the presence of cyclodextrins and its cytotoxic bioactivity against lung cancer cells, *Chemistry Letters*, 45(9), 1072-1074(2016).

Moeko Taki, Tatsuaki Tagami and Tetsuya Ozeki,  
Preparation of polymer-blended quinine nanocomposite particles by spray drying and assessment of their bitterness-masking effect using a taste sensor, *Drug Dev. Ind. Pharm.*, Aug 3: 1-8(2016)

Sachi Miyahara, Tatsuaki Tagami, Rina Wakabayashi, Itaru Miyazaki, Norikazu Murata, Yoshifumi Takahashi, Hiroshi Ohkubo, and Tetsuya Ozeki\*,  
Manufacturing control using an X-ray scanning system of drugs in opaque packages and assessment of the effects of irradiation on drug integrity, *J. Pharm. Machinery and Eng.*, 25(2), 18-24(2016).

Takayuki Terukina, Yoshihito Naito, Tatsuaki Tagami, Yoshinori Morikawa, Yoko Henmi, Widyasri Prananingrum, Tetsuo Ichikawa, Tetsuya Ozeki,  
The effect of the release behavior of simvastatin from different PLGA particles on bone regeneration in vitro and in vivo: comparison of simvastatin-loaded PLGA microspheres and nanospheres, *Journal of Drug Delivery Science and Technology*, 33, 136-142(2016).

(総説・著書・総合論文など)

田上 辰秋、尾関 哲也、剤形の進歩：経肺投与経路を利用したインスリン吸入製剤と DDS 技術、*Drug Delivery System*, 31(5), 292-299(2016)

(学会発表)

<国内学会>

尾関哲也 【特別講演】

粉末ナノ粒子の設計：スプレードライヤーの応用

2016 年度日本薬剤学会粉体プロセスフォーカスグループ合宿討論会、大阪コロナホテル、大阪、2016 年 12 月 1, 2 日 (講演は 1 日)

森千絵未, 星川晃宏, 太根将史, 布施俊樹, 福重香, 田上辰秋, 尾関哲也  
EPA リン脂質誘導体クリルオイルナノ粒子の設計と抗がん効果  
第 38 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 愛知県名古屋市, 2016 年 11 月 17 日～18 日 (口頭発表)

福重香, 田上辰秋, 尾関哲也  
カチオニックリポソームをベースとした siRNA 粉末吸入剤の調製とヒアルロン酸被覆による製剤安定性・吸入特性に関する検討  
第 38 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 愛知県名古屋市, 2016 年 11 月 17 日～18 日 (口頭発表)

田上辰秋, 安藤裕太, 尾関哲也  
ホスホリパーゼ A2 高感度応答リポソーム吸入剤の放出メカニズムに関する検討  
第 38 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 愛知県名古屋市, 2016 年 11 月 17 日～18 日 (口頭発表)

尾関哲也 【招待講演】  
経肺投与型製剤の進歩ーインスリン吸入剤を主に  
第 5 回日本クスリと糖尿病学会学術集会、シンポジウム 1 糖尿病治療薬開発を支える創剤技術の最前線、神戸国際会議場、兵庫、2016 年 10 月 29、30 日 (講演は 29 日)

小川恵美, 林直美, 福重香, 田上辰秋, 酒井紀人, 尾関哲也  
3D プリンターを用いた小児アセトアミノフェン錠剤に関する研究  
第 33 回製剤と粒子設計シンポジウム, 長野県長野市, 2016 年 10 月 27 日～28 日 (口頭発表)

小川恵美, 林直美, 福重香, 田上辰秋, 酒井紀人, 尾関哲也  
ダブルヘッド搭載熱溶解積層型 3D プリンターによるコンポジット錠剤の調製  
製剤機械技術学会第 26 回大会, 大阪府豊中市, 2016 年 10 月 13 日～14 日 (ポスター発表)

竹内堂朗, 斎田雄基, 田上辰秋, 尾関哲也  
セラノスティクスに向けた金ナノクラスター封入りポソームの開発  
平成 28 年度粉体工学会 機能性ナノ・マイクロ粒子の設計とプロセス制御に関するワークショップ, 富山県魚津市, 2016 年 9 月 5 日 (口頭発表)

森川善以, 田上辰秋, 尾関哲也  
NanoAssemblr プラットフォームを利用した PLGA ナノ粒子の粒子設計と in vitro 評価  
平成 28 年度粉体工学会 機能性ナノ・マイクロ粒子の設計とプロセス制御に関するワークショップ, 富山県魚津市, 2016 年 9 月 5 日 (口頭発表)

小川恵美, 福重香, 田上辰秋, 横山清子, 尾関哲也  
熱溶解積層方式 3D プリンターを用いた錠剤の調製とプリンター条件が錠剤の成形性に与える影響  
第 41 回製剤・創剤セミナー, 兵庫県淡路市, 2016 年 8 月 25 日～26 日 (ポスター発表)

田上辰秋, 福重香, 尾関哲也  
機能性リポソームの粉体化と物性検討, 第 52 回夏期シンポジウム  
兵庫県神戸市, 2016 年 8 月 8 日～9 日 (口頭発表)

布施俊樹, 田上辰秋, 尾関哲也  
近赤外線レーザー応答性 Doxorubicin/Laserphyrin 共封入りポソーム製剤の開発  
第 32 回日本 DDS 学会学術集会, 静岡県静岡市, 2016 年 6 月 30 日～7 月 1 日 (口頭発表)

森川善以, 田上辰秋, 尾関哲也

ナノアSEMBラーによるマイクロ流体技術を用いたクルクミン含有 PLGA ナノ粒子の開発  
第 32 回日本 DDS 学会学術集会, 静岡県静岡市, 2016 年 6 月 30 日~7 月 1 日 (口頭発表)

太根将史, 田上辰秋, 尾関哲也

アミノ基修飾  $\beta$  シクロデキストリンを用いたリモートローディング法によるリポソーム封入技術に関する検討

日本薬剤学会第 31 年会, 岐阜県岐阜市, 2016 年 5 月 19 日~21 日 (口頭発表)

吉村元靖, 三宅正晃, 戸田正文, 加藤雄介, 深水啓朗, 尾関哲也

Cilostazol Cocrystal の調製と溶解特性

日本薬剤学会第 31 年会, 岐阜県岐阜市, 2016 年 5 月 19 日~21 日 (口頭発表)

竹内堂朗, 小内ゆい, 斎田雄基, 田上辰秋, 尾関哲

蛍光イメージング用金ナノクラスターの調製における保護物質の影響とリポソーム製剤化

日本薬剤学会第 31 年会, 岐阜県岐阜市, 2016 年 5 月 19 日~21 日 (口頭発表)

<国際学会>

Tetsuya Ozeki, Akihiro Hoshikawa, Tatsuaki Tagami

Effective preparation of gold nanoparticle-based high density lipoprotein-like nanoparticles under different reducing conditions

2016 AAPS Annual Meeting and Exposition, Colorado Convention Center, Denver, Colorado, the United States of America, 13-17 November 2016 (ポスター発表)

Takao Takeuchi, Tatsuaki Tagami, Tetsuya Ozeki

Preparation of siRNA-spiked gold nanoparticles with high density and the anti-angiogenic effects in vitro

2016 AAPS Annual Meeting and Exposition, Colorado Convention Center, Denver, Colorado, the United States of America, 13-17 November 2016 (ポスター発表)

Tatsuaki Tagami, Yuta Ando, Tetsuya Ozeki

Novel pulmonary formulation with ultra-sensitivity against phospholipase A2

2016 Controlled Release Society Annual Meeting, Seattle, Washington, the United States of America, July 17-20, 2016 (ポスター発表)

Tetsuya Ozeki 【Plenary Lecture】

Formulation Design of Composite Nano-particles by Using a Spray Drier Equipped with a Unique Spray Nozzle and Their Pharmaceutical Applications

20th International Drying Symposium (IDS 2016), Nagarakawa Convention Center, Gifu, Japan, August 7-10 (presentation: Aug. 9), 2016

## 【生薬学分野】

(原報)

Toru Konishi, Masaaki Minami, Zhixia Jiang, Tetsuya Arai, Toshiaki Makino  
Antibacterial activity of Shin'iseihaito (Xin Yi Qing Fei Tang) against *Streptococcus pneumoniae*  
*Pharmacogn. J.* **8**, 20-23 (2016).

Toshiaki Suzuki, Keisuke Miyamoto, Naomi Yokoyama, Mayuko Sugi, Akina Kagioka, Yuka Kitao, Takumi Adachi, Masahiro Ohsawa, Hajime Mizukami, Toshiaki Makino  
Processed aconite root and its active ingredient neoline may alleviate oxaliplatin-induced peripheral neuropathic pain.  
*J. Ethenopharmacol.* **186**, 44-52 (2016).

Masaaki Minami, Tohru Konishi, Zhixia Jiang, Tetsuya Arai, Toshiaki Makino  
Effect of shin'iseihaito (xinyiqingfeitang) on murine allergic reaction induced by nasal sensitization  
*J. Tradit. Comp. Med.* **6**, 252-256 (2016).

Tsukasa Fueki, Megumi Sumino, Toshiaki Makino, Takanori Matsuoka, Masashi Beppu, Koichiro Tanaka, Takao Namiki  
Quick and easy preparation method for decoctions of Kampo formula (part 3) – Extracting efficiency of the IPCD method for volatile compounds –  
*Tradit. Kampo Med.* **3**, 157-161 (2016).

Tsukasa Fueki, Koki Chiba, Toshiaki Makino, Takanori Matsuoka, Tadaaki Satou, Kazuo Koike, Koichiro Tanaka, Megumi Sumino, Takao Namiki  
Quick and easy preparation method for decoctions of Kampo formula (part 4) – the IPCD method on Rhubarb and Aconite root –  
*Tradit. Kampo Med.* **3**, 170-173 (2016).

Kan'ichiro Ishiuchi, Wen-Ping Jiang, Yukio Fujiwara, Jin-Bin Wu, Susumu Kitanaka  
Serralongamines B-D, three new *Lycopodium* alkaloids from *Lycopodium serratum* var. *longipetiolatum*, and their inhibitory effects on foam cell formation in macrophages.  
*Bioorg Med Chem Lett.* **26**, 2636-40 (2016).

笛木司、牧野利明、松岡尚則、別府正志、須永隆夫、田中耕一郎、並木隆雄  
宋代の煮散法にヒントを得た簡便かつ成分抽出効率良好な煎薬調製法の開発（第2報）－生薬残渣の簡便な分離法－  
*日本東洋医学雑誌* **67**, 114-122 (2016).

太田美里、御影雅幸  
薬用に供するショウガの発芽及び生育条件～土壌、マルチ・敷き藁の有無、施肥量について  
*薬用植物研究* **38**, 11-19 (2016).

(総説・著書・総合論文など)

牧野利明  
漢方薬の新しい使われ方  
『現代医療に置ける漢方薬 改訂第2版』（共著）日本生薬学会監修（木内文之、小林義典、三巻祥

浩、森田博史、牧野利明、鳥居塚和生編) in p. 97-109、(株)南江堂、2016、全162ページ。

牧野利明

漢方薬理・最前線～当帰芍薬散④

*phil 漢方* **59**, 9-11 (2016).

牧野利明

漢方薬理・最前線～桂枝茯苓丸①

*phil 漢方* **60**, 9-11 (2016).

牧野利明

漢方薬理・最前線～桂枝茯苓丸②

*phil 漢方* **62**, 9-11 (2016).

三巻 祥浩, 小林 義典, 牧野 利明

生薬学担当教員による漢方教育に対する取り組み

*薬学雑誌* **136**, 397-398 (2016).

牧野利明

漢方の国際化時代における漢方教育のあり方

*薬学雑誌* **136**, 411-415 (2016).

太田美里、安食菜穂子、川原信夫、合田幸広、垣内信子、御影雅幸：漢方薬抽出自動包装機を用いた煎剤の品質に関する最近の研究（1）

*漢方の臨床* **63**, 215-221 (2016)

太田美里、安食菜穂子、吉光美稚代、田中愛、飯島優香、川原信夫、合田幸広、垣内信子、御影雅幸  
漢方薬抽出自動包装機を用いた煎剤の品質に関する最近の研究（2）

*漢方の臨床* **63**, 911-919 (2016).

太田美里

北京滞在記（1）～中国に流通する甘草と飲片の調製

*和漢薬* **752**, 12-15 (2016).

太田美里

北京滞在記（2）～中国と日本の生薬の刻み方及び煎じ方の違い

*和漢薬* **754**, 11-14 (2016).

太田美里

北京滞在記（3）～中薬注射剤の工場を見学して

*和漢薬* **756**, 5-7 (2016).

太田美里

北京滞在記（4）～生薬学と中薬学

*和漢薬* **758**, 13-16 (2016).

太田美里

北京滞在記（5）～中国で生薬の実験を始めるにあたり

*和漢薬* **760**, 10-13 (2016).

太田美里  
北京滞在記（6）～中医薬学概論を受講して（前編）  
*和漢薬* **762**, 10-13 (2016).

太田美里  
北京滞在記（7）～中医薬学概論を受講して（後編）  
*和漢薬* **764**, 8-11 (2016).

太田美里  
北京滞在記（8）～中国での生薬学研究  
*和漢薬* **765**, 9-12 (2016).

（学会発表）

牧野利明  
今さら聞けない生薬・漢方薬  
WWA シンポジウム, 2016年1月10日（蒲郡）

牧野利明  
世界の中の漢方医学  
東海漢方協議会入門講座, 2016年2月14日（名古屋）

Toshiaki Makino  
Difference of Japanese traditional Kampo medicine and traditional Chinese medicine, and the marker compounds for quality control of crude drugs  
香港大学中医薬学院特別セミナー, 2016年2月18日（香港）.

Toshiaki Makino  
Difference of Japanese traditional Kampo medicine and traditional Chinese medicine, and the marker compounds for quality control of crude drugs  
香港浸会大学中医薬学院特別セミナー, 2016年2月19日（香港）.

Toshiaki Makino  
Introduction of Nagoya City University and Japanese traditional Kampo medicine compared with traditional Chinese medicine  
黒竜江中医薬大学特別セミナー, 2016年3月2日（哈尔滨）.

太田美里  
采用本草和现代科学的中药炮制研究  
黒竜江中医薬大学特別セミナー, 2016年3月2日（哈尔滨）.

牧野利明  
今さら聞けない生薬・漢方薬  
東百会, 2016年3月20日（名古屋）.

石内勘一郎、藤原章雄、姜文平、呉金濱、北中進  
*Lycopodium serratum* var. *longipetiolatum* より単離した新規アルカロイドの構造とマクロファーグ泡沫化阻害活性  
日本薬学会第136年会, 2016年3月28日（横浜）.

矢作忠弘、渥美総孝、三宅克典、石内勘一郎、森永紀、伏見裕利、大山雅義、森川敏生、有田正規、田中謙、牧野利明

歴代成書にある生薬の効能に関する記載のデータベース化

日本薬学会第136年会, 2016年3月28日(横浜) .

Toshiaki Makino

Concept on active ingredients of crude drugs used in Kampo Medicine

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日(Ginowan, Okinawa) .

Toshiaki Makino

Anti-allergic effect of Shoseiryuto (小青竜湯) and Byakkokankeishito (白虎加桂枝湯) and the roles of each components – the roles of peony root (芍薬) and gypsum (石膏) in these formulas

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日(Ginowan, Okinawa) .

牧野利明

漢方エキス製剤の特徴を知り、服薬指導に生かす

第18回国際東洋医学会学術大会薬剤師向け漢方講座, 2016年4月17日(宜野湾市、沖縄) .

Masaaki Minami, Toru Konishi, Toshiaki Makino

Effect of Yin Qiao San against *Streptococcus pneumoniae* murine model by microarray analysis

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日(Ginowan, Okinawa) .

Ke Ye, Tomoaki Ishida, Yuki Kishida, Keisuke Hagihara, Tomonori Abe, Takeshi Nikawa, Hidetoshi Hayashi, Toshiaki Makino

*In vitro* preventive effect of the extract of goshajinkigan (牛車腎気丸) on muscle atrophy and its active constituents

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日(Ginowan, Okinawa) .

Tomoaki Ishida, Yuki Kishida, Keisuke Hagihara, Toshiaki Makino

Effect of goshajinkigan (牛車腎気丸) on muscle atrophy in senescence-accelerated mice and its active constituents

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日(Ginowan, Okinawa) .

Toshiaki Suzuki, Keisuke Miyamoto, Naomi Yokoyama, Mayuko Sugi, Akina Kagioka, Takumi Adachi, Masahiro Ohsawa, Hajime Mizukami, Toshiaki Makino (Poster Awarded)

Processed aconite root (附子) and its active ingredient neoline may alleviate oxaliplatin-induced peripheral neuropathic pain

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日(Ginowan, Okinawa) .

Fuzi Zhang, Kanichiro Ishiuchi, Akinori Sugiyama, Masahiro Ohsawa, Toshiaki Makino

Comparison of Chrysanthemi Flos (菊花) derived from *Chrysanthemum morifolium* and *C. indicum* about the agonistic activity on PPAR- $\gamma$  and their active ingredients

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日(Ginowan, Okinawa) .

Toru Konishi, Masaaki Minami, Yuto Kubo, Zhixia Jiang, Tetsuya Arai, Toshiaki Makino

Effects of Shin'iseihaito (辛夷清肺湯) on allergic sinusitis induced by ovalbumin in mice

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日(Ginowan, Okinawa) .

Rie Iijima, Kan'ichiro Ishiuchi, Toshiaki Makino

Screening of crude drugs used in Japanese traditional Kampo medicine that have inhibitory effect of organic anion transporting peptide (OATP)-2B1

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日 (Ginowan, Okinawa) .

Misato Ota, Masayuki Mikage, Toshiaki Makino, Shao-Qing Cai

Studies on processed licorice (1) – Herbological and chemical studies of roasted licorice (炙甘草) and honey-roasted licorice (蜜炙甘草)

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日 (Ginowan, Okinawa) .

Yasutaka Nagachi, Misato Ota, Yoshiaki Tabuchi, Shao-Qing Cai, Toshiaki Makino

Studies on processed licorice (2) - Comparison of the immunostimulatory effects among licorice (甘草) samples with or without heat-processing and pre-treatment with honey in cultured intestinal epithelial cells

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日 (Ginowan, Okinawa) .

Tsukasa Fueki, Toshiaki Makino, Megumi Sumino, Takanori Matsuoka, Masashi Beppu, Koichiro Tanaka, Takao Namiki

The development of IPCD method - Quick and easy preparation method for decoctions of Kampo formula inspired by the method of boiling powdered crude drugs in the Song period of China -

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日 (Ginowan, Okinawa) .

Toshiaki Makino

Controlled vocabulary on Japanese Kampo crude drugs

The 6th meeting of ISO/TC249/WG5 “Terminology and Informatics”, 2016年6月7日 (Rome, Italy) .

Toshiaki Makino

Controlled vocabulary on Japanese Kampo formulas and the indication codes for the products

The 6th meeting of ISO/TC249/WG5 “Terminology and Informatics”, 2016年6月7日 (Rome, Italy) .

牧野利明

漢方とくすり

名古屋市男女平等参画推進センター講座, 2016年5月31日 (名古屋) .

牧野利明

臨床生薬学

2016年度医学生のための漢方医学セミナー, 2016年8月3日 (大津) .

南正明、小西徹、牧野利明

黄色ブドウ球菌感染症に対する辛夷清肺湯の抗感染症効果の臨床的検討  
第33回和漢医薬学会大会, 2016年8月28日 (東京) .

牧野利明

漢方処方の中での生薬の役割

第33回和漢医薬学会大会ランチョンセミナー, 2016年8月29日 (東京) .

牧野利明

甘草の副作用、偽アルドステロン症の真の原因物質の探索  
信濃町漢方勉強会, 2016年8月30日 (東京) .

牧野利明

生薬・漢方薬の薬能に対する科学的アプローチ

第10回日本東洋医学会九州地区専門医制度教育委員会, 2016年9月4日(博多)。

牧野利明

生薬・漢方薬研究での LC/MS の有用性

第41回日本医用マスペクトル学会年会, 2016年9月15日(名古屋)。

牧野利明

生薬学と医療薬学の融合～「臨床生薬学の紹介」～

山梨大学サイエンス漢方研究会, 2016年9月21日(甲府)。

Ke Ye, Kan'ichiro Ishiuchi, Tomoaki Ishida, Yuki Kishida, Keisuke Hagihara, Tomonori Abe, Takeshi Nikawa, Hidetoshi Hayashi, Toshiaki Makino

*In vitro* preventive effect of the extract of goshajinkigan (牛車腎気丸) on muscle atrophy and its active constituents

第7回名古屋・南京・瀋陽薬学学術シンポジウム, 2016年9月24日(名古屋)。

Fuzi Zhang, Tomoyasu Murakami, Kan'ichiro Ishiuchi, Akinori Sugiyama, Masahiro Ohsawa, Toshiaki Makino  
Comparison of the capitulum from *Chrysanthemum morifolium* and *C. indicum* about the agonistic activity on peroxisome proliferator-activated receptor- $\gamma$  and their active constituents

第7回名古屋・南京・瀋陽薬学学術シンポジウム, 2016年9月24日(名古屋)。

Shengli Gao, Toshiaki Makino

Ginsenosides, the ingredients of root of *Panax ginseng*, are not absorbed *via* sodium-glucose transporter 1 (SGLT1) but inhibit it

第7回名古屋・南京・瀋陽薬学学術シンポジウム, 2016年9月24日(名古屋)。

Chuan Ting Tian, Tsuyoshi Ohkita, Kan'ichiro Ishiuchi, Osamu Morinaga, Toshiaki Makino

Pathogenic agents of licorice-induced pseudoaldosteronism

第7回名古屋・南京・瀋陽薬学学術シンポジウム, 2016年9月24日(名古屋)。

小西徹、南正明、牧野利明

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌に対する辛夷清肺湯及びその構成生薬の抗菌活性の検討

日本生薬学会第63回年会, 2016年9月25日(富山)。

中山和香、石内勘一郎、Orawan Monthakantrirat、牧野利明

ヒカゲノカズラ科植物由来新規アルカロイドの構造

日本生薬学会第63回年会, 2016年9月25日(富山)。

牧野利明

医療用漢方エキス製剤の特徴と問題点

皮膚科漢方研究会, 2016年9月25日(名古屋)。

牧野利明

加工ブシの神経障害性疼痛への応用とその有効成分

第15回日本臨床中医薬学会学術大会, 2016年10月8日(京都)。

牧野利明

加熱加工によるハチミツからの免疫賦活活性物質

科学技術振興機構 健康・医療 新技術説明会, 2016年10月18日(東京)。

牧野利明

漢方エキス製剤の特徴を知り、服薬指導に生かす

平成28年度日本東洋医学会関西支部例会, 2016年10月23日(神戸)。

笛木司、牧野利明、松岡尚則、別府正志、須永隆夫、田中耕一郎、千葉浩輝、佐藤忠章、小池一男、角野めぐみ、並木隆雄

宋代の煮散法にヒントを得た簡便かつ成分抽出効率良好な煎薬調製法(IPCD法)の開発

日本東洋医学会関東甲信越部会, 2016年10月23日(新潟)。

太田美里

海外の医薬調査3(中国における中薬調剤の実情と中薬製剤)

医療教育研究所, e-ラーニング薬剤師生涯研修 メディカルナレッジ, 2016年12月9日(東京)。

太田美里

海外の医薬調査4(中国における薬用植物資源と流通する生薬)

医療教育研究所, e-ラーニング薬剤師生涯研修 メディカルナレッジ, 2016年12月9日(東京)。

牧野利明

漢方の基礎基礎知識を学び、実際に漢方製剤を作ってみよう!

薬局漢方製剤入門1. 軟膏剤(紫雲膏)

公立大学連携薬剤師レベルアップ研修(実習・演習コース), 2016年12月17日(名古屋)。

## 【衛生化学分野】

(学会発表)

小川翔大、山本龍二、伊藤佐生智、堀田康弘、大原直也、小川賢二、八木哲也、前田伸司、藤原永年、山崎利雄、西森 敬、後藤義孝、肥田重明、小野寄菊夫、瀧井猛将

*Mycobacterium avium* の酸性環境下で誘導されるアルギニンデイミナーゼの解析

第 89 回日本細菌学会 2016 年 3 月 23-25 日 (大阪)

小川翔大、高見篤郎、富田陽香、徳田美季、伊藤佐生智、林大介、山本三郎、肥田重明、小野寄菊夫、瀧井猛将

結核ワクチン BCG Tokyo172 サブタイプ間のレドックス関連遺伝子の発現誘導の解析

日本薬学会 第 136 年会 2016 年 3 月 26-28 日 (横浜)

伊藤佐生智、村瀬千鶴子、瀧井猛将、小野寄菊夫、肥田重明

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL10 の血液凝固抑制の作用機序の解析及びその責任領域の同定

日本薬学会 第 136 年会 2016 年 3 月 26-28 日 (横浜)

瀧井猛将、小川翔大、山本龍二、伊藤佐生智、堀田康弘、大原直也、小川賢二、八木哲也、前田伸司、藤原永年、山崎利雄、西森敬、後藤義孝、肥田重明、小野寄菊夫

*Mycobacterium avium* の酸性環境下で誘導されるアルギニンデイミナーゼの解析

第 89 回 日本細菌学会総会 2016 年 3 月 23-25 日 (大阪)

小林正都、伊藤佐生智、肥田重明

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 (SSL) のリンパ球活性化に対する影響

第 28 回微生物シンポジウム 2016 年 9 月 2, 3 日 (名古屋)

栗坂知里、奥輝明、伊藤佐生智、辻勉

好中球 MMP-9 を阻害する細菌由来 SSL5 タンパク質の結合性

第 17 回 Pharmaco-Hematology シンポジウム 2016 年 9 月 3, 4 日 (東京)

伊藤佐生智、肥田重明

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL10 の血液凝固因子との相互作用の解析

フォーラム 2016 : 衛生薬学・環境トキシコロジー 2016 年 9 月 10, 11 日 (東京)

Saotomo Itoh, Shigeaki Hida Staphylococcal superantigen-like 3 binds to and inhibits TLR2

第 7 回名古屋・南京・瀋陽 薬学学術シンポジウム 2016 年 9 月 24, 25 日 (名古屋)

Chifumi Fujii, Tomio Matsumura, Shigeaki Hida, Nagisa Okada, and Shun'ichiro Taniguchi

Novel roles of ASC in cancer cell migration

第 75 回日本癌学会学術集会 2016 年 10 月 6-8 日 (横浜)

伊藤佐生智、辻勉、肥田重明

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL3 は toll like receptor 2 のアンタゴニストである

第 38 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム 2016 年 11 月 17-18 日 (名古屋)

## 【遺伝情報学分野】

(原報)

Hussein H. Aly, Junya Suzuki, Koichi Watashi, Kazuaki Chayama, Shin-ichi Hoshino, Makoto Hijikata, Takanobu Kato, and Takaji Wakita (2016) RNA exosome complex regulates stability of Hepatitis B Virus's X-mRNA transcript in a Non-Stop mediated (NSD) RNA quality control mechanism. **J Biol Chem** 291, 15958-15974.

Yamagishi, R., Tsusaka T., Mitsunaga H., Maehata T., and Hoshino, S. (2016) The STAR protein QKI-7 recruits PAPD4 to regulate post-transcriptional polyadenylation of target mRNAs. **Nucl Acids Res** 44, 2475-2490.

(学会発表)

星野真一：人工キメラ遺伝子 ZFN 安定発現系の構築：臨床応用を目的とした人工合成 mRNA 安定化剤のスクリーニング、AMED B 型肝炎創薬実用化等研究事業 班会議、2016 年 12 月 26 日 (東京国際フォーラム)

星野真一：mRNA 分解による抗ウイルス防御、第 39 回日本分子生物学会年会シンポジウム『転写後制御を通じた病原体-宿主の攻防戦略』、2016 年 11 月 30 日 (横浜)

野木森拓人、永井貴広、細田直、星野真一：細胞内における人工合成 mRNA の安定化および発現効率化、第 39 回日本分子生物学会年会、2016 年 12 月 1 日 (横浜)

Yamagishi, R., Sekido, Y., Hoshino, S.: The Star protein QKI-7 recruits PAPD4 to regulate polyadenylation of its target mRNA, The 75<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 2016 年 10 月 6 日-8 日 (横浜)

Iwaoka, R., Aoki, K., Hosoda, N., Hoshino, S., Wakiyama, M.: MicroRNA-Ago-TNRC6 complex-mediated translational activation, EMBO/EMBL symposium 'The complex life of mRNA', 2016 年 10 月 5 日-8 日 (ドイツ、ハイデルベルク)

星野真一：mRNA ポリ A 鎖調節とストレス顆粒形成、第 1 回 RNA 顆粒/RNA タンパク質複合体研究会、2016 年 7 月 16-17 日 (岡崎市) 【招待講演】

稲垣佑都、細田直、星野真一：脊髄小脳変性症の原因因子 Ataxin-2 は標的 mRNA のポリ A 鎖を安定化する、第 1 回 RNA 顆粒/RNA タンパク質複合体研究会、2016 年 7 月 16-17 日 (岡崎市)

堀田昂志、山岸良多、細田直、星野真一：脊髄小脳変性症の原因因子 Ataxin-2 によるストレス顆粒形成のメカニズム、第 62 回日本薬学会東海支部大会、2016 年 7 月 9 日 (名古屋)

古舘和也、山岸良多、星野真一：統合失調症関連因子 QKI-7 は p27kip1 mRNA のポリ A 鎖伸長を制御する、第 62 回日本薬学会東海支部大会、2016 年 7 月 9 日 (名古屋)

永井貴広、野木森拓人、細田直、星野真一：自然免疫制御システム OAS-RNaseL による外来性 RNA 分解制御、第 62 回日本薬学会東海支部大会、2016 年 7 月 9 日 (名古屋)

稲垣佑都、細田直、星野真一：脊髄小脳変性症の原因因子 Ataxin-2 は標的 mRNA のポリ A 鎖を安定化する、第 62 回日本薬学会東海支部大会、2016 年 7 月 9 日 (名古屋)

星野真一：「mRNA 分解の分子機構（mRNA 分解研究の新展開）」愛知県がんセンター特別招聘セミナー、2016年5月17日（名古屋）【招待講演】

Ryoichi Sawazaki\*<sup>1</sup>, Shunsuke Imai\*<sup>2</sup>, Mariko Yokogawa<sup>1</sup>, Yoko Usui<sup>1</sup>, Takeru Sagae<sup>1</sup>, Shin-ichi Hoshino<sup>3</sup>, Ichio Shimada<sup>2</sup>, Masanori Osawa<sup>1</sup>: Structural Characterization of PABP Multimerization on Poly(A) Tail, The XXVIIth International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems, 2016年8月21-26日（京都）

## 【細胞分子薬効解析学分野】

(原報)

Mizutani H, Yamamura H, Muramatsu M, Hagihara Y, Suzuki Y, Imaizumi Y

Modulation of  $\text{Ca}^{2+}$  oscillation and melatonin secretion by  $\text{BK}_{\text{Ca}}$  channel activity in rat pinealocytes.  
Am J Physiol Cell Physiol, **310(9)**, C740-7 (2016).

Hirata T, Terai T, Yamamura H, Shimonishi M, Komatsu T, Hanaoka K, Ueno T, Imaizumi Y, Nagano T, Urano Y

Protein-coupled fluorescent probe to visualize potassium ion transition on cellular membranes.  
Anal Chem, **88(5)**, 2693-700 (2016).

Yamamura H, Suzuki Y, Yamamura H, Asai K, Imaizumi Y

Hypoxic stress up-regulates Kir2.1 expression and facilitates cell proliferation in brain capillary endothelial cells.  
Biochem Biophys Res Commun, **476(4)**, 386-92 (2016).

Suzuki Y, Ohya S, Yamamura H, Giles WR, Imaizumi Y

A new splice variant of large-conductance  $\text{Ca}^{2+}$ -activated  $\text{K}^+$  (BK) channel  $\alpha$  subunit alters human chondrocyte function.  
J Biol Chem, **291(46)**, 24247-60 (2016).

(学会発表)

鈴木 良明、大矢 進、山村 寿男、Wayne R. Giles、今泉 祐治

大コンダクタンス  $\text{Ca}^{2+}$ 活性化  $\text{K}^+$ (BK)チャネルのエクソン2の役割.  
酸素生物学・ダイニングコード合同若手会議, 2016年1月26-28日(千葉) ; P13.

川崎 桂輔、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治

平滑筋  $\text{Ca}^{2+}$ マイクロドメインにおける Mitofusin の生理機能と病態での変化.  
酸素生物学・ダイニングコード合同若手会議, 2016年1月26-28日(千葉) ; P15.

山村 英斗、鈴木 良明、山村 寿男、浅井 清文、今泉 祐治

低酸素培養下におけるウシ脳血管内皮細胞は Kir2.1 発現上昇を介してストア作動性  $\text{Ca}^{2+}$ 流入を増大させる.  
酸素生物学・ダイニングコード合同若手会議, 2016年1月26-28日(千葉) ; P17.

萩原 由実子、山村 寿男、西村 歌織、鈴木 良明、今泉 祐治

TMEM16A と TMEM16B によって構成されるヘテロ  $\text{Ca}^{2+}$ 活性化 Cl-チャネルの機能解析.  
第89回日本薬理学会年会, 2016年3月9日(横浜) ; 1-SO-18. 【学生優秀発表賞】

古川 奈美、山村 寿男、鈴木 良明、今泉 祐治

門脈圧亢進症モデルマウスの門脈平滑筋における TMEM16A チャネルの機能解析.  
第89回日本薬理学会年会, 2016年3月9日(横浜) ; 1-SO-32.

野田 さゆり、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治

気管支平滑筋における  $\text{BK}_{\gamma}$ サブユニットによる  $\text{BK}_{\text{Ca}}$ チャネル機能制御機構の解明.  
第89回日本薬理学会年会, 2016年3月9日(横浜) ; 1-YO-15.

佐伯 尚紀、鈴木 良明、山村 寿男、竹島 浩、今泉 祐治  
血管平滑筋細胞のカベオラ・Ca<sup>2+</sup>マイクロドメインを介したジャンクトフィリン2と大コンダクタンスCa<sup>2+</sup>活性化K<sup>+</sup>チャネルとの分子間相互作用の解明.  
第89回日本薬理学会年会, 2016年3月9日(横浜); 1-YO-37.

山田 茜、大羽 輝弥、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治  
マウス気道上皮繊毛細胞における繊毛運動制御に対するCl<sup>-</sup>チャネル活性の寄与.  
第89回日本薬理学会年会, 2016年3月9日(横浜); 1-O-20.

川崎 桂輔、藤井 将人、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治  
一発の活動電位により細胞死を引き起こす改変遺伝子導入培養細胞系を用いたK<sub>2P</sub>チャネル作用薬の新規スクリーニング法の開発.  
第89回日本薬理学会年会, 2016年3月11日(横浜); 3-O-03.

山村 英斗、鈴木 良明、山村 寿男、浅井 清文、今泉 祐治  
ウシ脳血管内皮細胞において低酸素培養はKir2.1発現上昇を介してストア作動性Ca<sup>2+</sup>流入を増大させる.  
第89回日本薬理学会年会, 2016年3月11日(横浜); 3-O-80.

山村 寿男、川崎 桂輔、鈴木 良明、今泉 祐治  
小胞体-ミトコンドリア機能連関と平滑筋カルシウムシグナリング.  
第89回日本薬理学会年会, 2016年3月11日(横浜); 3-S-07-2.

鈴木 良明、大矢 進、山村 寿男、Wayne R. Giles、今泉 祐治  
新規プライスバリエント体を用いたBKチャネル $\alpha$ サブユニット exon2の機能解析.  
第89回日本薬理学会年会, 2016年3月11日(横浜); 3-P-115.

鈴木 良明、大矢 進、山村 寿男、Wayne R. Giles、今泉 祐治  
軟骨細胞株における新規BKチャネルプライスバリエント体の機能解析.  
日本薬学会第136年会, 2016年3月27日(横浜); 27P-am04.

山田 啓史、栗田 卓、山村 寿男、鈴木 良明、今泉 祐治  
ヒト由来軟骨肉腫細胞株(OUMS-27)における容量依存性Cl<sup>-</sup>チャネルの機能解析.  
日本薬学会第136年会, 2016年3月27日(横浜); 27P-am05S.

山村 寿男、近藤 るびい、古川 奈美、鈴木 良明、今泉 祐治  
門脈圧亢進症モデルマウスの門脈平滑筋におけるTMEM16Aチャネルの発現低下.  
日本薬学会第136年会, 2016年3月27日(横浜); 27P-am6.

堤 香菜子、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治  
Two-pore-domain K<sup>+</sup>チャネルTASK1、TALK2のヘテロ2量体形成の解明.  
日本薬学会第136年会, 2016年3月29日(横浜); 29AB-pm036S. 【優秀発表賞】

佐伯 尚紀、鈴木 良明、山村 寿男、竹島 浩、今泉 祐治  
血管平滑筋細胞のカベオラを中心とするCa<sup>2+</sup>マイクロドメイン形成におけるジャンクトフィリン2機能の解明.  
第129回日本薬理学会近畿部会, 2016年6月24日(広島); B-17.

川崎 桂輔、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治  
Mitofusinによるミトコンドリア酸素・カルシウム制御機構の解明.

オルガネラネットワークの制御機構とその生理的意義, 2016年7月28-29日(愛知) ; P10.

佐伯 尚紀、鈴木 良明、山村 寿男、竹島 浩、今泉 祐治  
血管平滑筋細胞において筋小胞体とカベオラの近接化により  $\text{Ca}^{2+}$ マイクロドメインを形成するジャンクトフィリン2機能の解明.  
生理学研究所オルガネラ研究会 2016「オルガネラネットワークの制御機構とその生理的意義」, 2016年7月28-29日(岡崎) ; P-9.

佐伯 尚紀、鈴木 良明、山村 寿男、竹島 浩、今泉 祐治  
血管平滑筋においてカベオラとジャンクトフィリン2が形成する  $\text{Ca}^{2+}$ マイクロドメイン機構の解明.  
第58回日本平滑筋学会総会, 2016年8月18-19日(仙台) ; YA-16. 【優秀演題賞】

山田 啓史、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治  
軟骨細胞において低浸透圧応答に関与する  $\text{Cl}^-$ チャネルの機能解析.  
次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2016, 2016年8月24日(仙台) ; Y2-5.

山村 英斗、鈴木 良明、山村 寿男、浅井 清文、今泉 祐治  
低酸素ストレス負荷脳血管内皮細胞の細胞増殖に対する Kir2.1 の役割.  
次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2016, 2016年8月24日(仙台) ; Y4-3.

野田 さゆり、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治  
マウス気管支平滑筋における  $\text{Ca}^{2+}$ 活性化  $\text{K}^+$ チャネル修飾サブユニット  $\gamma 1$  の生理機能解明.  
生体機能と創薬シンポジウム 2016, 2016年8月25-26日(仙台) ; P-C6. 【ポスター優秀発表賞】

山村 寿男、大城 隼也、近藤 るびい、古川 奈美、鈴木 良明、今泉 祐治  
門脈平滑筋における TMEM16A チャネルの生理機能と門脈圧亢進症での発現変化.  
生理学研究所研究会 2016「心臓・血管系の包括的な機能統合研究」, 2016年10月24日(福岡) ; O-10.

佐伯 尚紀、鈴木 良明、山村 寿男、竹島 浩、今泉 祐治  
血管平滑筋細胞においてカベオラと結合膜構造が構築する  $\text{Ca}^{2+}$ マイクロドメインのナノイメージング解析.  
第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2016年11月17日(名古屋) ; B1-03. 【優秀発表賞】

山越 大槻、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治  
2ポアドメイン  $\text{K}^+$ チャネルによるマウス腹腔マクロファージの膜電位形成.  
第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2016年11月17日(名古屋) ; Pos-8.

堤 香菜子、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治  
2ポアドメイン  $\text{K}^+$ チャネルのヘテロ2量体形成によるチャネル特性の変化.  
第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2016年11月17日(名古屋) ; Pos-16.

萩原 由実子、山村 寿男、西村 歌織、鈴木 良明、今泉 祐治  
松果体の  $\text{Ca}^{2+}$ 活性化  $\text{Cl}^-$ チャネルとして構成する TMEM16A/B ヘテロ二量体.  
第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2016年11月18日(名古屋) ; B2-07.

山田 啓史、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治  
軟骨細胞において CIC3 チャネルは低浸透圧応答に関与する.  
第130回日本薬理学会近畿部会, 2016年11月19日(京都) ; C04. 【優秀発表賞】

古川 奈美、山村 寿男、近藤 るびい、鈴木 良明、今泉 祐治  
肝硬変由来門脈圧亢進症モデルマウスの門脈平滑筋における TMEM16A チャンネルの発現及び機能低下.  
第 130 回日本薬理学会近畿部会, 2016 年 11 月 19 日 (京都) ; C13.

松木 克仁、加藤 大樹、竹本 将士、鈴木 良明、山村 寿男、大矢 進、竹島 浩、今泉 祐治  
血管平滑筋の細胞内  $\text{Ca}^{2+}$  動員機構制御に対する 3 型リアノジン受容体の関与.  
第 26 回日本循環薬理学会、2016 年 12 月 2 日 (松本) ; YIA-06.

山村 英斗、鈴木 良明、山村 寿男、浅井 清文、今泉 祐治  
脳虚血時を想定した低酸素ストレス負荷脳血管内皮細胞の細胞増殖に対する Kir2.1 の機能的役割.  
第 26 回日本循環薬理学会, 2016 年 12 月 2 日 (松本) ; YIA-07.

【病態生化学分野】

(原報)

Sato, Y., Kobayashi, D., Kohno, T., Kidani, Y., Prox, J., Becker-Pauly, C., and **Hattori, M.** Determination of cleavage site of Reelin between its sixth and seventh repeat and contribution of meprin metalloproteases to the cleavage. **J. Biochem.** 159, 305-312 (2016)

Mizukami, T., Kohno, T., and **Hattori, M.** CUB and Sushi multiple domains 3 regulates dendrite development. **Neurosci. Res.** 110, 11-17 (2016)

Sakai, K., Shoji, H., Kohno, T., Miyakawa, T., and **Hattori, M.** Mice that lack the C-terminal region of Reelin exhibit behavioral abnormalities related to neuropsychiatric disorders. **Sci. Rep.** 6, 28636 (2016)

Nakamura, K., Beppu, M., Sakai, K., Yagyu, H., Matsumaru, S., Kohno, T., and **Hattori, M.** The C-terminal region of Reelin is necessary for proper positioning of a subset of Purkinje cells in the postnatal cerebellum. **Neuroscience** 336, 20-29 (2016)

Ichianagi N, Fujimori K, Yano M, Ishihara-Fujisaki C, Sone T, Akiyama T, Okada Y, Akamatsu W, Matsumoto T, Ishikawa M, Nishimoto Y, Ishihara Y, Sakuma T, Yamamoto T, Tsuiji H, Suzuki N, Warita H, Aoki M, Okano H. Establishment of In Vitro FUS-Associated Familial Amyotrophic Lateral Sclerosis Model Using Human Induced Pluripotent Stem Cells. **Stem Cell Reports.** 6(4):496-510 (2016).

(総説・著書・総合論文など)

河野孝夫、服部光治  
「巨大分泌タンパク質リーリンによる神経細胞移動の制御機構」  
**生化学** 88, 105-113. (2016)

Gitler AD and Tsuiji H.  
There has been an awakening: Emerging mechanisms of C9orf72 mutations in FTD/ALS.  
**Brain Res.** 1647:19-29 (2016).

(学会発表)

水上智晴、河野孝夫、服部光治  
精神疾患関連遺伝子 CSMD3 は神経細胞の樹状突起形成に寄与する  
日本生化学会中部支部会 2016年5月21日 三重大学

山影祐子、河野孝夫、服部光治  
アミロイドβペプチドが分泌タンパク質リーリンに及ぼす影響の解明  
日本生化学会中部支部会 2016年5月21日 三重大学

荻野ひまり、久永有紗、近藤佑多、築地仁美、河野孝夫、服部光治  
ADAMTS-3 は脳でリーリン不活化を担う主要なプロテアーゼである  
日本生化学会中部支部会 2016年5月21日 三重大学 【奨励賞受賞】

Ginga Umemoto, Shinichi Nakagawa, Rei Yoshimoto, Minoru Yoshida, Mitsuharu Hattori, Hitomi Tsuiji  
A splicing inhibitor Spliceostatin A causes nuclear export of long non-coding RNA Gomafu  
The 21st Annual Meeting of the RNA Society 2016年6月30日 京都

Hitomi Tsuiji, Ikuyo Inoue, Asako Furuya, Mari Takeuchi, Yuko Yamakage, Mitsuharu Hattori, Koji Yamanaka  
Interneuron degeneration in TDP-43 transgenic mice displaying impaired memory  
The 21st Annual Meeting of the RNA Society 2016年6月29日 京都

Himari Ogino, Arisa Hisanaga, Takao Kohno, Mitsuharu Hattori.  
Reelin is inactivated by a secreted metalloproteinase ADAMTS-3 in embryonic cerebral cortex.  
FENS 2016 2016年7月3日-7月6日 コペンハーゲン (デンマーク)

酒井かおり、昌子浩孝、河野孝夫、宮川剛、服部光治  
リーリン機能低下が脳高次機能に及ぼす影響の解析  
日本薬学会東海支部会 2016年7月9日 名古屋 (愛知県) 【学生優秀発表賞受賞】

Hitomi Tsuiji, Ikuyo Inoue, Asako Furuya, Mari Takeuchi, Yuko Yamakage, Mitsuharu Hattori, Koji Yamanaka  
Interneuron degeneration in TDP-43 transgenic mice displaying impaired memory  
第39回 日本神経科学大会 2016年7月20日 横浜 (神奈川県)

Kaori Sakai, Hiroataka Shoji, Takao Kohno, Tsuyoshi Miyakawa, and Mitsuharu Hattori  
Mice that lack the C-terminal region of Reelin exhibit behavioral abnormalities related to neuropsychiatric disorders  
Gordon Research Conference, Neurobiology of Brain Disorders 2016年8月8、9日ジローナ (スペイン)

Himari Ogino, Arisa Hisanaga, Takao Kohno, Mitsuharu Hattori.  
Reelin is cleaved and inactivated by a secreted metalloproteinase ADAMTS-3 in the brain  
Gordon Research Conference, Neurobiology of Brain Disorders 2016年8月10-11日ジローナ (スペイン)

酒井かおり、昌子浩孝、河野孝夫、宮川剛、服部光治  
リーリン機能低下が脳高次機能に及ぼす影響の解析  
第15回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィオーラム 2016年9月10日大阪 【優秀発表賞受賞】

梅本銀河、中川真一、吉田稔、服部光治、築地仁美  
long non-coding RNA Gomafu の核内繫留機構の解析  
第15回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィオーラム 2016年9月11日大阪

山影祐子、荻野ひまり、河野孝夫、服部光治  
リーリンの切断抑制によるアルツハイマー病治療効果の解明  
日本生化学会大会 2016年9月25日 仙台

荻野ひまり、久永有紗、近藤佑多、築地仁美、河野孝夫、服部光治  
ADAMTS-3 は大脳皮質と海馬におけるリーリン機能を負に制御する  
日本生化学会大会 2016年9月25日 仙台

Hitomi Tsuiji, Ikuyo Inoue, Asako Furuya, Mari Takeuchi, Yuko Yamakage, Mitsuharu Hattori, Koji Yamanaka  
Interneuron degeneration in TDP-43 transgenic mice displaying impaired memory  
11th Brain Research Conference 2016年11月10日-11月11日 Paradise Point San Diego, CA

Yuko Yamakage, Himari Ogino, Takao Kohno, Mitsuharu Hattori

Does inhibition of Reelin processing ameliorate Alzheimer's disease?  
Neuroscience2016      2016年11月15日      San Diego, CA

Kaori Sakai, Hirotaka Shoji, Takao Kohno, Tsuyoshi Miyakawa, and Mitsuharu Hattori  
Mice that lack the C-terminal region of Reelin exhibit behavioral abnormalities related to neuropsychiatric disorders.  
Neuroscience2016      2016年11月15日      San Diego, CA

水上智晴、周春雨、池田和貴、嶋中雄太、新井洋由、有田誠、服部光治  
脳構造形成に必須な分泌タンパク質リーリンの脳内脂質に対する機能の解明  
第39回日本分子生物学会年会      2016年11月30日 横浜（神奈川）

加藤路尚、宮本智美、河野孝夫、服部光治  
分泌タンパク質リーリンの不活性化を担うADAMTSプロテアーゼ群に関する解析  
第39回日本分子生物学会年会      2016年12月2日 横浜（神奈川）

## 【薬物動態制御学分野】

(原報)

Tomoya Yasujima, Kosuke Saito, Rick Moore, Masahiko Negishi  
Phenobarbital and insulin reciprocate activation of the nuclear receptor constitutive androstane receptor through the insulin receptor.  
*J. Pharmacol. Exp. Ther.*, **357**, 367-374 (2016).

Nao Kodama, Takahiro Iwao, Takahiro Katano, Kinya Ohta, Hiroaki Yuasa, Tamihide Matsunaga  
Characteristic analysis of intestinal transport in enterocyte-like cells differentiated from human induced pluripotent stem cells.  
*Drug Metab. Dispos.*, **44**, 1662-1667 (2016).

(学会発表)

宇佐美侖奈, 古川純士, 保嶋智也, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭  
ENBT1の核酸塩基輸送機能におけるR402アミノ酸残基の役割.  
日本薬学会第136年会, 2016年3月27日 - 29日 (横浜) .

庄司大介, 保嶋智也, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭  
PCFTに対するphloretinの阻害効果.  
日本薬学会第136年会, 2016年3月27日 - 29日 (横浜) .

鈴木祐稀, 保嶋智也, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭  
OATP2A1による6-carboxyfluorescein輸送に対するpHの影響.  
日本薬学会第136年会, 2016年3月27日 - 29日 (横浜) .

加藤寿和乃, 大津千尋, 太田欣哉, 北森一哉, 林 弥生, 小崎康子  
SHRSP5/Dmcrラット小腸におけるネスプリン1の発現は高脂肪食摂取によって抑制される.  
日本薬学会第136年会, 2016年3月27日 - 29日 (横浜) .

保嶋智也, 根岸正彦 【招待講演】  
インスリンシグナルを介した核内受容体CARの制御メカニズム.  
日本薬学会第136年会, 2016年3月27日 - 29日 (横浜) .

保嶋智也, 三村佳久, 井上勝央, 太田欣哉, 湯浅博昭  
ラット小腸での尿酸動態におけるsodium dependent nucleobase transporter 1 (SNBT1) の役割.  
日本薬剤学会第31年会, 2016年5月19日 - 21日 (岐阜) .

鈴木香帆, 片野貴大, 太田欣哉, 保嶋智也, 壁谷知樹, 小玉菜央, 岩尾岳洋, 松永民秀, 湯浅博昭  
ヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞モデルにおける小腸特異的葉酸トランスポーター機能の検証.  
日本薬剤学会第31年会, 2016年5月19日 - 21日 (岐阜) .

片山めぐみ, 保嶋智也, 太田欣哉, 湯浅博昭  
HepG2細胞におけるurate輸送の解析.  
日本薬剤学会第31年会, 2016年5月19日 - 21日 (岐阜) .

湯浅博昭, 水野加奈子, 保嶋智也, 太田欣哉

核酸塩基類似薬物の腸管吸収機構：ヒトとラットとの比較.

日本薬剤学会第31年会, 2016年5月19日 - 21日 (岐阜) .

近 佐和子, 山田知美, 岸本久直, 白坂善之, 太田欣哉, 湯浅博昭, 井上勝央

配糖体加水分解酵素に対するセロトニンの影響.

日本薬剤学会第31年会, 2016年5月19日 - 21日 (岐阜) .

Takahiro Yamashiro, Tomoya Yasujima, Kinya Ohta, Katsuhisa Inoue, Hiroaki Yuasa

The inhibitory effect of flavonoids on PCFTs: comparison between human PCFT and rat PCFT.

The 7th Nagoya/Nanjing/Shenyang Symposium of Pharmaceutical Sciences, Sept. 24 - 25, 2016 (Nagoya, Japan).

Tomoya Yasujima, Yoshihisa Mimura, Kinya Ohta, Katsuhisa Inoue, Hiroaki Yuasa

Atenolol transport by plasma membrane monoamine transporter (SLC29A4) and its inhibition by flavonoids contained in apple juice.

The 7th Nagoya/Nanjing/Shenyang Symposium of Pharmaceutical Sciences, Sept. 24 - 25, 2016 (Nagoya, Japan).

菱川洋輔, 湯浅博昭, 保嶋智也

小腸における担体介在性ATP輸送の評価.

第31回日本薬物動態学会年会, 2016年10月13日 - 15日 (松本) .

細馬あかね, 保嶋智也, 太田欣哉, 湯浅博昭

Equilibrative nucleobase transporter 1 (ENBT1) による6-mercaptopurineの輸送解析

第31回日本薬物動態学会年会, 2016年10月13日 - 15日 (松本) .

山城貴弘, 保嶋智也, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

ヒトとラットにおけるPCFTのフラボノイド類感受性種差.

第31回日本薬物動態学会年会, 2016年10月13日 - 15日 (松本) .

中村恭子, 関口裕太郎, 保嶋智也, 太田欣哉, 湯浅博昭

消化管における各種医薬品の吸収を担うOATP2B1に対するコーヒーの影響.

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2016, 2016年10月30日 (岐阜) .

井上勝央, 古川純士, 湯浅博昭 【招待講演】

トランスポーターと代謝酵素の協奏的作用を利用した細胞特異的薬物ターゲティング.

第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2016年11月17日 - 18日 (名古屋) .

山城貴弘, 保嶋智也, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

PCFTにおけるフラボノイド類感受性に関与するアミノ酸残基の解析.

第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2016年11月17日 - 18日 (名古屋) .

三村佳久, 保嶋智也, 井上勝央, 太田欣哉, 湯浅博昭

atenololの消化管吸収に関与するトランスポーターの同定とフラボノイド類の効果の解析.

第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2016年11月17日 - 18日 (名古屋) .

## 【病態解析学分野】

(原報)

Suzuki M, Cao K, Kato S, Komizu Y, Mizutani N, Tanaka K, Arima C, Tai MC, Yanagisawa K, Togawa N, Shiraishi T, Usami N, Taniguchi T, Fukui T, Yokoi K, Wakahara K, Hasegawa Y, Mizutani Y, Igarashi Y, Inokuchi JI, Iwaki S, Fujii S, Satou A, Matsumoto Y, Ueoka R, Tamiya-Koizumi K, Murate T, Nakamura M, Kyogashima M, Takahashi T. Targeting CERS6-dependent Metastasis-prone Phenotype in Lung Cancer Cells. *J Clin Invest.* 126, 254-265, (2016).

Almaden JV, Liu YC, Yang E, Otero DC, Birnbaum H, Davis-Turak J, Asagiri M, David M, Goldrath AW, Hoffmann A. B-cell survival and development controlled by the coordination of NF- $\kappa$ B family members RelB and cRel. *Blood.* 127, 1276-1286, (2016).

Fujita T, Soontrapa K, Ito Y, Iwaisako K, Moniaga CS, Asagiri M, Majima M, Narumiya S. Hepatic stellate cells relay inflammation signaling from sinusoids to parenchyma in mouse models of immune-mediated hepatitis. *Hepatology.* 63, 1325-1339, (2016).

Zhao C, Ichimura A, Qian N, Iida T, Yamazaki D, Noma N, Asagiri M, Yamamoto K, Komazaki S, Sato C, Aoyama F, Sawaguchi A, Kakizawa S, Nishi M, Takeshima H. Mice lacking the intracellular cation channel TRIC-B have compromised collagen production and impaired bone mineralization. *Sci Signal.* 9, ra49, (2016).

Semba H, Takeda N, Isagawa T, Sugiura Y, Honda K, Wake M, Miyazawa H, Yamaguchi Y, Miura M, Jenkins DM, Choi H, Kim JW, Asagiri M, Cowburn AS, Abe H, Soma K, Koyama K, Katoh M, Sayama K, Goda N, Johnson RS, Manabe I, Nagai R, Komuro I. HIF-1 $\alpha$ -PDK1 axis-induced active glycolysis plays an essential role in macrophage migratory capacity. *Nat Commun.* 7, 11635, (2016).

Sanagawa A, Iwaki S, Asai M, Sakakibara D, Norimoto H, Sobel BE, Fujii S. Sphingosine 1-phosphate induced by hypoxia increases the expression of PAI-1 in HepG2 cells via HIF-1 $\alpha$ . *Mol Med Rep.* 14, 1841-1848, (2016).

Goto Y, Aoyama M, Sekiya T, Kakita H, Waguri-Nagaya Y, Miyazawa K, Asai K, Goto S. CXCR4(+) CD45(-) Cells are Niche Forming for Osteoclastogenesis via the SDF-1, CXCL7, and CX3CL1 Signaling Pathways in Bone Marrow. *Stem Cells.* 34, 2733-2743, (2016).

(学会発表)

Mineyoshi Aoyama, Yoshiaki Nagaya, Kiyofumi Asai. Neuroprotective erythropoietin (EPO) from astrocyte was suppressed by inflammatory cytokine tumor necrosis factor  $\alpha$  (TNF $\alpha$ ). 第 89 回日本薬理学会年会, 2016.3.9-11, (横浜).

Yohei Kawaguchi, Yuko Waguri-Nagaya, Naoe Tatematsu, Masaaki Kobayashi, Hideyuki Goto, Masahiro Nozaki, Kenji Ikuta, Mineyoshi Aoyama, Kiyofumi Asai, Takanobu Otsuka. The JAK inhibitor (Tofacitinib) inhibits TNF-induced gliostatin/thymidine phosphorylase expression in human fibroblast-like synoviocytes. Annual European Congress of Rheumatology (EULAR2016), 2016.6.8-11, ExCel London (London, United Kingdom).

Kenji Ikuta, Yohei Kawaguchi, Yuko Waguri-Nagaya, Naoe Tatematsu, Masaaki Kobayashi, Hideyuki Goto, Masahiro Nozaki, Mineyoshi Aoyama, Kiyofumi Asai, Takanobu Otsuka. Sp1 interference prevents joint destruction of RA through inhibitory effects of gliostatin and matrix metalloproteinase-3. Annual European

Congress of Rheumatology (EULAR2016), 2016.6.8-11, ExCel London (London, United Kingdom).

Naoe Tatematsu, Yuko Waguri-Nagaya Y, Yohei Kawaguchi, Kenji Ikuta, Masaaki Kobayashi, Hideyuki Goto, Masahiro Nozaki, Mineyoshi Aoyama, Kiyofumi Asai, Takanobu Otsuka. Sp1 inhibitor modulates the autocrine action of gliostatin/thymidine phosphorylase (GLS/TYMP) in rheumatoid fibroblast-like synoviocytes. Annual European Congress of Rheumatology (EULAR2016), 2016.6.8-11, ExCel London (London, United Kingdom).

川口洋平, 永谷祐子, 立松 尚衛, 小林正明, 後藤英之, 野崎正浩, 青山峰芳, 浅井清文, 大塚隆信. グリオスタチン発現抑制はリウマチ滑膜細胞に対するJAK阻害剤の新規作用機序である. 第31回日本整形外科基礎学術集会, 2016.10.13-14, (福岡).

立松 尚衛, 永谷祐子, 川口洋平, 生田憲史, 小栗雄介, 小林正明, 野崎正浩, 青山峰芳, 浅井清文, 大塚隆信. 関節リウマチ線維芽細胞様滑膜細胞に置いてグリオスタチンによって誘導されたMMPsはSp 1 阻害剤によって抑制される. 第31回日本整形外科基礎学術集会, 2016.10.13-14, (福岡).

Satoshi Fujii, Akimasa Sanagawa, Soichiro Iwaki, Moyoko Asai, Daisuke Sakakibara, Hiroaki Norimoto. The role of the HIF-1 $\alpha$ /HuR pathway in increased expression of PAI-1 induced by sphingosine 1-phosphate in HepG2 cells rendered hypoxic. XXIIIrd International Congress on Fibrinolysis & Proteolysis and XVIth International Workshop on Molecular and Cellular Biology of Plasminogen Activation, 2016.10.18, (Shizuoka).

大前沙織, 竹入雅敏, 野間成人, 藤 浩明, 祝迫恵子, 朝霧成挙. 破骨細胞の骨吸収における新規制御分子の同定. 第 39 回日本分子生物学会年会, 2016 年 11 月 30 日 ~ 12 月 2 日 (横浜).

大前沙織, 野間成人, 藤 浩明, 藤田伴子, 祝迫恵子, 湊長博, 疋田正喜, 朝霧成挙. The role of a new RANK-binding protein in macrophage-to-osteoclast differentiation. 第 45 回日本免疫学会学術集会, 2016 年 12 月 5 日 ~ 12 月 7 日 (宜野湾).

趙 向東, 祝迫恵子, 野間成人, 大前沙織, 藤 浩明, 朝霧成挙, 池野嘉信, 政野裕紀, 河本 宏, 上本伸二. Reconstruction of the hepatic artery in mouse liver transplantation: impact on patterns of immunologic tolerance. 第 45 回日本免疫学会学術集会, 2016 年 12 月 5 日 ~ 12 月 7 日 (宜野湾).

## 【細胞情報学分野】

(原報)

Ken-ichi Nakashima, Hiroki Tanabe, Yoshiaki Fujii-Kuriyama, Hidetoshi Hayashi, Makoto Inoue  
Atranorin and lecanoric acid antagonize TCDD-induced xenobiotic response element-driven activity, but not  
xenobiotic response element-independent activity.

*J. Nat. Med.*, **70(3)**, 476-482 (2016), DOI 10.1007/s11418-016-0983-3.

Yuki Kawarada, Yasumichi Inoue, Fumihiko Kawasaki, Keishi Fukuura, Koichi Sato, Takahito Tanaka, Yuka Itoh,  
Hidetoshi Hayashi

TGF- $\beta$  induces p53/Smads complex formation in the PAI-1 promoter to active transcription.

*Sci. Rep.*, **6**, 35483 (2016), DOI: 10.1038/srep35483.

(総説・著書・総合論文など)

Yasumichi Inoue, Yuka Itoh, Koichi Sato, Fumihiko Kawasaki, Chihiro Sumita, Takahito Tanaka, Daisuke  
Morishita, Hidetoshi Hayashi

Regulation of epithelial-mesenchymal transition by E3 ubiquitin ligases and deubiquitinase in cancer.

*Curr. Cancer Drug Targets*, **16(2)**, 110-118 (2016), DOI: 10.2174/1568009616666151112122126.

Satoshi Sakai, Chiharu Miyajima, Chiharu Uchida, Yuka Itoh, Hidetoshi Hayashi, Yasumichi Inoue  
Tribbles-related protein family members as regulators or substrates of the ubiquitin-proteasome system in cancer  
development.

*Curr. Cancer Drug Targets*, **16(2)**, 147-156 (2016), DOI: 10.2174/1568009616666151112122645.

(学会発表)

井上靖道, 宮嶋ちはる, 鈴木千晶, 伊藤友香, 林 秀敏

細胞がん化におけるTRB1の生理機能とがん分子標的としての可能性

日本薬学会第136年会. 2016年3月27日(横浜); 28T-am08.

都築香里, 伊藤友香, 井上靖道, 林 秀敏

pseudokinase TRB1によるインスリンを介した糖代謝関連因子の新たな発現制御機構

日本薬学会第136年会. 2016年3月27日(横浜); 27S-pm18.

井上靖道

脱ユビキチン化酵素によるEMT関連転写因子Snailの発現制御

第20回日本がん分子標的治療学会学術集会. 2016年5月31日(別府); P7-2.

田中孝仁, 西尾愛梨紗, 井上靖道, 隅田ちひろ, 伊藤友香, 林 秀敏

Loxl2によるTGF- $\beta$ 誘導性上皮間葉転換制御の解析

第62回日本薬学会東海支部大会. 2016年7月4日(名古屋); G11.

鈴木千晶, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 岩中広美, 伊藤友香, 林 秀敏

細胞がん化におけるTRB1の生理機能とがん分子標的としての可能性

第62回日本薬学会東海支部大会. 2016年7月4日(名古屋); G12.

都築香里, 伊藤友香, 井上靖道, 林 秀敏

pseudokinase TRB1による糖代謝関連遺伝子の発現制御

第62回日本薬学会東海支部大会. 2016年7月4日(名古屋); G13.

中平桂子, 石井陽子, 伊藤友香, 山田莉香子, 加藤一雲, 井上靖道, 水谷隆治, 林 秀敏

TGF- $\beta$ によるUDPグルクロン酸転移酵素UGT1A1の転写制御機構の解析

第62回日本薬学会東海支部大会. 2016年7月4日(名古屋); G15.

福浦啓史, 井上靖道, 永尾優始, 伊藤友香, 林 秀敏

メチルトランスフェラーゼSET8のTGF- $\beta$ 応答性転写調節における作用機構

フォーラム2016: 衛生薬学・環境トキシコロジー. 2016年9月10-11日(東京); P-072.

山田莉香子, 加藤一雲, 伊藤友香, 井上靖道, 林 秀敏

UDPグルクロン酸転移酵素UGT1A1の発現制御における転写因子HNF4 $\alpha$ の機能

フォーラム2016: 衛生薬学・環境トキシコロジー. 2016年9月10-11日(東京); P-073.

Yasumichi Inoue, Hidetoshi Hayashi

Regulation of EMT-related transcriptional factor Snail expression by the deubiquitinating enzyme (DUB).

第75回日本癌学会学術総会. 2016年10月7日(横浜); P-2078.

川崎文寛, 隅田ちひろ, 田中孝仁, 井上靖道, 伊藤友香, 林 秀敏

上皮間葉転換(EMT)関連転写因子Sox4の分解制御

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2016. 2016年10月30日(岐阜); F-5.

佐藤晃一, 井上靖道, 伊藤友香, 林 秀敏

脱ユビキチン化酵素によるEMT関連転写因子Snailタンパクの発現制御

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2016. 2016年10月30日(岐阜); F-15.

井上靖道, 西尾愛梨紗, 田中孝仁, 隅田ちひろ, 伊藤友香, 林 秀敏

リジルオキシダーゼLoxl2によるTGF- $\beta$ 誘導性上皮間葉転換制御

第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム. 2016年11月17-18日(名古屋); Pos-06.

伊藤友香, 鈴木美沙紀, 楽 怡, 井上万由美, 井上靖道, 斎藤昌之, 林 秀敏

TGF- $\beta$ による遺伝子発現制御を介した白色脂肪細胞の脂肪滴消失機構

第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム. 2016年11月17-18日(名古屋); Pos-14.

大久保 翼, 伊藤彰悟, 川地志緒里, 井上靖道, 伊藤友香, 林 秀敏

ATF4によるCDKインヒビターp21発現制御機構の解析と小胞体ストレスチェックポイントにおけるその役割

第39回日本分子生物学会年会. 2016年12月1日(横浜); 2P-0424.

佐藤晃一, 井上靖道, 伊藤友香, 駒田雅之, 林 秀敏

脱ユビキチン化酵素USP28はSnailを安定化し、がん細胞の浸潤に寄与する

第39回日本分子生物学会年会. 2016年12月2日(横浜); 3P-0387.

鈴木千晶, 井上靖道, 三田村佳奈, 伊藤友香, 林 秀敏

転写共役因子TAZによるp53活性制御機構の解析

第39回日本分子生物学会年会. 2016年12月2日(横浜); 3P-0403.

都築香里, 伊藤友香, 井上靖道, 林 秀敏

pseudokinase TRB1によるインスリンを介した糖新生関連酵素の発現制御機構  
第39回日本分子生物学会年会. 2016年12月2日 (横浜) ; 3P-0411.

田中孝仁, 西尾愛梨紗, 井上靖道, 隅田ちひろ, 伊藤友香, 林 秀敏

Lox12によるTGF- $\beta$ 誘導性上皮間葉転換の制御の解析  
第39回日本分子生物学会年会. 2016年12月2日 (横浜) ; 3P-0689.

## 【神経薬理学分野】

(原報)

Yamamoto, S., Ono, H., Kume, K. & Ohsawa, M. *J. Pharmacol. Sci.* 130, 189–93 (2016)

Yamamoto, S., Suzuki, Y., Ono, H., Kume, K. & Ohsawa, M. *Eur. J. Pharmacol.* 793, 66–75 (2016)

Funato Hiromasa, Miyoshi Chika, Fujiyama Tomoyuki, Kanda Takeshi, Sato Makito, Wang Zhiqiang, Ma Jing, Nakane Shin, Tomita Jun, Ikkyu Aya, Kakizaki Miyo, Hotta-Hirashima Noriko, Kanno Satomi, Komiya Haruna, Asano Fuyuki, Honda Takato, Kim Staci J, Harano Kanako, Muramoto Hiroki, Yonezawa Toshiya, Mizuno Seiya, Miyazaki Shinichi, Connor Linzi, Kumar Vivek, Miura Ikuo, Suzuki Tomohiro, Watanabe Atsushi, Abe Manabu, Sugiyama Fumihiro, Takahashi Satoru, Sakimura Kenji, Hayashi Yu, Liu Qinghua, Kume Kazuhiko, Wakana Shigeharu, Takahashi Joseph S, Yanagisawa Masashi. *Nature* 539, 378–383 (2016)

Sakano Daisuke, Choi Sungik, Kataoka Masateru, Shiraki Nobuaki, Uesugi Motonari, Kume Kazuhiko, Kume Shoen. *Stem Cell Reports* 7, 95–109 (2016)

(総説・著書・総合論文など)

Ohsawa, M., Murakami, T. & Kume, K. *Yakugaku Zasshi* 136, 687–92 (2016)

坂豪祐, 富田淳 & 糸和彦. ショウジョウバエの睡眠時間制御機構.  
*生体の科学* 67, 530-40 (2016)

(学会発表)

山田彬博、大澤匡弘、糸和彦、井本敬二、古江秀昌  
第 94 回日本生理学会年会、2016 年 3 月 28 日～30 日 (静岡)

Kume K. Sleep regulating genes in *Drosophila*,  
新学術領域「記憶ダイナミズム」班会議、2016 年 6 月 27 日 (静岡)

Junya Maruoka, Shinya Kato, Kei-ichiro Ishikura, Kazuhiko Kume, Masahiro Ohsawa.  
第 46 回日本神経精神薬理学会年会、2016 年 7 月 2 日～3 日 (韓国)

Keisuke Miyamoto, Kei-ichiro Ishikura, Kazuhiko Kume, Masahiro Ohsawa.  
10th FENS Forum of Neuroscience、2016 年 7 月 2 日～6 日 (コペンハーゲン)

Junya Maruoka, Shinya Kato, Kei-ichiro Ishikura, Kazuhiko Kume, Masahiro Ohsawa.  
The 30th CINP world congress、2016 年 7 月 3 日～5 日 (韓国)

糸 和彦

睡眠の生理機能と薬物の影響。

日本睡眠学会第 41 回 定期学術集会 シンポジウム、2016 年 7 月 7 - 8 日 (東京)

糸 和彦

夜のホルモン～メラトニン～

第9回 桜山睡眠研究会 教育講演、2016年10月13日（愛知）

中川 寛之,山口 翔,小林 里帆,富田 淳,糸 和彦

新規睡眠遺伝子の解析

第9回分子高次機能研究会,2016年8月25-27日（愛知）

坂 豪祐,富田 淳,糸 和彦

睡眠制御回路の解析

第9回分子高次機能研究会,2016年8月25-27日（愛知）

富田 淳,坂 豪祐,糸 和彦

睡眠恒常性維持機構の解析

第9回分子高次機能研究会,2016年8月25-27日（愛知）

Ayaka Iio, Kei-ichiro Ishikura, Keisuke Miyamoto, Kazuhiko Kume, Masahiro Ohsawa.

The 16th World Congress on Pain、2016年9月25日～30日（神奈川）

Kei-ichiro Ishikura, Kazuhiko Kume, Masahiro Ohsawa.

The 16th World Congress on Pain、2016年9月25日～30日（神奈川）

坂 豪祐、中根 伸、富田 淳、糸 和彦、

第23回日本時間生物学会学術大会,2016年11月12日-13日（名古屋）

中川 寛之、中根 伸、小林 里帆、富田 淳、船戸弘正、柳沢 正史、糸 和彦、

第23回日本時間生物学会学術大会,2016年11月12日-13日（名古屋）

長谷川 達也、富田 淳、糸 和彦、

第23回日本時間生物学会学術大会,2016年11月12日-13日、（名古屋）

富田 淳、坂 豪祐、糸 和彦、

第23回日本時間生物学会学術大会,2016年11月12日-13日、（名古屋）

Masahiro Ohsawa,Junya Maruoka, Kazuhiko Kume.

平成28年度領域班会議、2016年11月16日-17日（静岡）

宮本啓補、石倉啓一郎、糸和彦、大澤匡弘

第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム、2016年11月17日～18日（愛知）

飯尾彩加、石倉啓一郎、糸和彦、大澤匡弘

第130回日本薬理学会近畿部会、2016年11月20日（京都）

丸岡純也、糸和彦、大澤匡弘。

第130回日本薬理学会近畿部会、2016年11月20日（京都）

## 【医薬品安全性評価学分野】

(原報)

Okemoto, K., Maekawa, K., Tajima, Y., Tohkin, M., Saito, Y.

Cross-Classification of Human Urinary Lipidome by Sex, Age, and Body Mass Index

*PLoS ONE*, 11 (12), e0168188 (2016)

Hasunuma, T., Tohkin, M., Kaniwa, N., Jang, I.-J., Yimin, C., Kaneko, M., Saito, Y., Takeuchi, M., Watanabe, H., Yamazoe, Y., Uyama, Y., Kawai, S.

Absence of ethnic differences in the pharmacokinetics of moxifloxacin, simvastatin, and meloxicam among three East Asian populations and Caucasians

*British Journal of Clinical Pharmacology*, 81 (6), 1078-1090 (2016)

Narita, T., Ri, M., Kinoshita, S., Yoshida, T., Totani, H., Ashour, R., Masaki, A., Ito, A., Kusumoto, S., Ishida, T., Komatsu, H., Osabe, M., Tohkin, M., Iida, S.

Identification of Circulating Serum microRNAs As Novel Biomarkers Predicting Disease Progression and Sensitivity to Bortezomib Treatment in Multiple Myeloma

*Blood*, 128, 22, 4408 (2016)

Osabe, M., Tohkin, M., Hirayama, N.

In silico analysis of interactions between HLA-B\*58:01 and allopurinol-related compounds

*Chem-Bio Informatics Journal*, 16, 1-4 (2016)

(総説・著書・総合論文など)

頭金正博

研究者が考える NDB オープンデータの利用法

社会保険旬報 2660, 23-24 (2016)

頭金正博

医療情報データベースを用いた副作用検出アルゴリズムの構築

医薬ジャーナル 52(8), 69-73. (2016)

頭金正博

医薬品のグローバル開発におけるレギュラトリーサイエンスの役割

日薬理誌, 148 (1), 18-21 (2016)

(学会発表)

Tomoko Narita, Masaki Ri, Shiori Kinoshita, Takashi Yoshida, Haruhito Totani, Reham Ashour, Ayako Masaki, Asahi Ito, Shigeru Kusumoto, Takashi Ishida, Hirokazu Komatsu, Makoto Osabe, Masahiro Tohkin and Shinsuke Iida

Identification of Circulating Serum microRNAs As Novel Biomarkers Predicting Disease Progression and Sensitivity to Bortezomib Treatment in Multiple Myeloma

第 58 回米国血液学会議 The American Society of Hematology 2016 (2016.12) (San Diego, California, USA)

Toshiyuki Tajika, Makoto Osabe, Masahiro Tohkin

The effect of allopurinol on human Treg migration factors

第 45 回日本免疫学会学術集会 (2016.12) (沖縄)

Karin Tamura, Makoto Osabe, Masahiro Tohkin

The establishment of in vitro evaluation system for the HLA-B\*57:01-dependent cutaneous toxicity caused by abacavir

第 45 回日本免疫学会学術集会 (2016.12) (沖縄)

伊藤友香、安部賀央里、小林牧由、頭金正博

Na<sup>+</sup>/グルコース共輸送担体 2 (SGLT2) 阻害薬の薬剤応答性の民族差調査

第 37 回日本臨床薬理学会学術総会 (2016.12) (米子)

小林牧由、伊藤友香、安部賀央里、頭金正博

糖尿病薬ジペプチジルペプチダーゼ 4 (DPP4) 阻害薬の有効性において民族差が生じる要因

第 37 回日本臨床薬理学会学術総会 (2016.12) (米子)

福澤和輝、西川良平、武藤樹也、頭金正博

医薬品副作用データベースを利用した糖尿病治療薬 SGLT2 阻害薬の安全性と有効性の評価

第 37 回日本臨床薬理学会学術総会 (2016.12) (米子)

山下彩花、堀雄史、川上純一、木村通男、平松達雄、大江和彦、國方淳、横井英人、近藤勝弘、木村和哲、頭金正博

医療情報データベースを用いた無顆粒球症検出アルゴリズムの汎用性に関する検討

第 37 回日本臨床薬理学会学術総会 (2016.12) (米子)

Ri M, Okemoto K, Maekawa K, Ito A, Kusumoto S, Ishida T, Osabe M, Nakajima M, Sekine A, Ueda R, Tohkin M, Miyata N, Saito Y, Iida S

Serum lipid metabolomics can predict sensitivity to bortezomib treatment in multiple myeloma

第 78 回日本血液学会学術集会 (2016.10) (横浜)

植松紘規、岡本秀人、長部誠、頭金正博

次世代シーケンサーを用いた HLA 解析法の確立

日本薬学会東海支部合同学術大会 2016 (2016.10) (岐阜)

槇野隆太、井口祐美子、長部誠、頭金正博

特異体質性副作用に関連した HLA 結合ペプチドの探索

日本薬学会東海支部合同学術大会 2016 (2016.10) (岐阜)

石原佳奈、安部賀央里、頭金正博

The importance of the applicability domain in prediction QSAR model for chemical-induced hepatomegaly

CBI 学会 2016 年大会 (2016.10) (東京)

安部賀央里、田村空彌、頭金正博

Prediction for chemical-induced hepatomegaly and computational analysis of feature motifs

CBI 学会 2016 年大会 (2016.10) (東京)

岡本秀人、長部誠、平沢真、頭金正博

HLA クラス II が関与する特異体質性副作用の評価系を用いた Ximelagatran による免疫性副作用の発症機構の解析

第 25 回日本組織適合性学会大会 (2016.10) (札幌)

長部誠、岡本秀人、植松紘規、頭金正博  
次世代シーケンサーを用いる簡便な HLA 解析法の確立  
第 25 回日本組織適合性学会大会 (2016.10) (札幌)

柴北健佑、長部誠、富吉紘史、頭金正博  
ABCB1 変異型による P 糖タンパク質排出機能の低下  
日本薬物動態学会第 31 回年会 (2016.10) (松本)

長部誠、頭金正博【招待講演】  
アロプリノールによる制御性 T 細胞遊送因子を介した皮膚免疫機能感作  
日本薬物動態学会第 31 回年会 (2016.10) (松本)

福澤和輝、西川良平、牧野隼及、頭金正博  
医薬品副作用データベースを利用した糖尿病治療薬 SGLT2 阻害薬の安全性と有効性の評価  
第 26 回日本医療薬学会年会 (2016.9) (京都)

西川良平、小川喜寛、頭金正博  
有害事象報告データベース (FAERS) を用いた新規経口抗凝固薬の有効性と安全性におけるアジア地域と非アジア地域の比較  
第 26 回日本医療薬学会年会 (2016.9) (京都)

榊原由子、安部賀央里、石原佳奈、頭金正博【優秀発表賞】  
食器や食品の包装容器に由来する化学物質の毒性試験データベースの構築  
第 2 回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9) (東京)

高橋祐太、山下彩花、安田卓、木村通男、堀雄史、川上純一、頭金正博  
医療情報データベースを活用した副作用としての甲状腺機能低下症の検出に関する研究  
第 2 回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2016.9) (東京)

頭金正博、鈴木匡、伊東真紀、安部賀央里、平嶋尚英  
東海地区での新しい実務実習評価の共有を目指すワークショップ「薬学実務実習に関するガイドライン」に準拠した新しい実務実習評価の検討  
第 1 回日本薬学教育学会大会 (2016.8) (京都)

岡本秀人、長部誠、平沢真、頭金正博  
HLA クラス II が関与するリンパ球活性化における Ximelagatran の影響  
第 43 回日本毒性学会学術年会 (2016.6) (名古屋)

長部誠、田近聡幸、頭金正博  
アロプリノールによる制御性 T 細胞遊送因子への影響  
第 43 回日本毒性学会学術年会 (2016.6) (名古屋)

安部賀央里、田村空彌、頭金正博  
反復投与毒性試験データベースを活用した機械学習法による化学物質誘発性肝肥大の予測  
第 43 回日本毒性学会学術年会 (2016.6) (名古屋)

長部誠、柴田郁弥、安部賀央里、石原佳奈、田村空彌、頭金正博  
毒性試験データベースを用いた化学物質によって誘発される肝肥大と薬物代謝酵素誘導との関連性に関する研究

日本薬学会第 136 年会 (2016.3) (横浜)

斎藤嘉朗、佐井君江、今任拓也、頭金正博、渡邊裕司  
日中韓台の添付文書構造と薬物動態・副作用情報の比較  
日本薬学会第 136 回年会 (2016.3) (横浜)

**頭金正博【招待講演】**

薬学部におけるレギュラトリーサイエンス教育の現状  
日本薬学会第 136 回年会 (2016.3) (横浜)

## 【病院薬学分野】

(原報)

Yamamoto S, Hotta Y, Maeda K, Kataoka T, Maeda Y, Hamakawa T, Sasaki S, Yasui T, Asai K, Kimura K  
Mineralocorticoid receptor stimulation induces urinary storage dysfunction via upregulation of epithelial sodium channel expression in the rat urinary bladder epithelium.

*J Pharmacol Sci.* 130(4):219-225. 2016

Hotta Y, Ieda N, Fukamoto A, Kataoka T, Kawade Y, Maeda Y, Nakagawa H, Kimura K.

Light-controlled relaxation of the rat penile corpus cavernosum using NOBL-1, a novel nitric oxide releaser.

*Investig Clin Urol.* 57(3):215-220. 2016

Sugiyama Y, Sakamoto N, Ohsawa M, Onizuka M, Ishida K, Murata Y, Iio A, Sugano K, Maeno K, Takeyama H, Akechi T, Kimura K.

A Retrospective Study on the Effectiveness of Switching to Oral Methadone for Relieving Severe Cancer-Related Neuropathic Pain and Limiting Adjuvant Analgesic Use in Japan

*J Palliat Med.* 19(10):1051-1059. 2016

田代雄祐、黒田純子、山本清司、伊豆田美晴、竹本将士、鬼頭典子、片岡智哉、前田康博、木村和哲  
アイソレーターと抗がん剤自動調製ロボットを使用した新たな抗がん剤調製業務の検討

*医療薬学* 42(3):209-214. 2016

(総説・著書・総合論文など)

堀田祐志、木村和哲

虚血に伴う勃起不全に対する新規アプローチ

*日薬理誌* 147:31-34. 2016

木村和哲

睡眠薬の適正使用

薬剤師からの提言

クリニシアン 63, 650, 44-48, 2016

木村和哲

ベンゾジアゼピン系薬物の使用実態と薬学的介入

ホスファ 26, 1, 14-15, 2016

(学会発表)

堀田祐志、矢萩亮、片岡智哉、前田康博、川出義浩、木村和哲

急性虚血後のラット膀胱括約筋の機能障害に対する vardenafil 連日投与の効果

第 104 回日本泌尿器科学会総会 2016 年 4 月 23-25 日 (仙台)

片岡智哉【招待講演】

テストステロン補充療法の基礎研究から見た今後の展望

第 9 回東海 SD 研究会 2016 年 5 月 19 日 (名古屋)

堀田祐志、木村和哲【招待講演】

男性における薬物性性機能障害に関する基礎研究  
第 10 回日本緩和医療薬学会年会 2016 年 6 月 3-5 日（浜松）

堀田祐志、中村大学、矢萩 亮、片岡智哉、前田康博、川出義浩、木村和哲

小児期のフルクトース過剰摂取は将来の勃起機能を障害する。-終末糖化産物の産生を指標としたラットによる検討-

第 16 回日本抗加齢医学会総会 2016 年 6 月 10-12 日（横浜）

片岡智哉、堀田祐志、前田康博、木村和哲

テストステロンの投与方法の違いが治療効果に違いをもたらす  
- 去勢ラットの勃起機能を指標としたテストステロン補充療法の検討 -

第 16 回日本抗加齢医学会総会 2016 年 6 月 10-12 日（横浜）

片岡智哉、堀田祐志、前田康博、木村和哲

抗がん剤投与がラットの勃起機能に及ぼす影響  
- オキサリプラチンを用いた経時的変化の検討 -

日本アンドロロジー学会第 35 回学術集会 2016 年 6 月 24-25 日（群馬）

近藤勝弘、堀田祐志、安藤亮介、安井孝周、木村和哲

単腎尿路上皮がん患者における術後補助化学療法としての GC 療法の治療忍容性に関する検討

医療薬学フォーラム 2016 / 第 24 回クリニカルファーマシーシンポジウム 2016 年 6 月 25-26 日（滋賀）

真川明将、堀田祐志、片岡智哉、前田康博、川出義浩、近藤勝弘、西川良平、頭金正博、木村和哲

大規模副作用データベースを用いたがん化学療法と B 型肝炎に関する研究

医療薬学フォーラム 2016 / 第 24 回クリニカルファーマシーシンポジウム 2016 年 6 月 25-26 日（滋賀）

中村大学、堀田祐志、矢萩 亮、片岡智哉、前田康博、川出義浩、木村和哲

フルクトース過剰摂取による ED の予後について - 小児ラットを用いた検討 -

第 7 回テストステロン研究会 / 第 16 回日本 Men's Health 医学会 2016 年 7 月 8-10 日（札幌）

片岡智哉、堀田祐志、前田康博、木村和哲

去勢ラットにおける酸化ストレス関連因子の分子生物学的検討

第 7 回テストステロン研究会 / 第 16 回日本 Men's Health 医学会 2016 年 7 月 8-10 日（札幌）

堀田祐志【招待講演】

泌尿器疾患の基礎研究～性機能障害&下部尿路機能障害のモデル作成から解析まで～

第 58 回日本平滑筋学会総会 2016 年 8 月 17-19 日（仙台）

片岡智哉、堀田祐志、前田康博、木村和哲

ビンカアルカロイド抗がん剤 vincristine の投与がラットの勃起機能を継時的に低下させる

第 26 回日本性機能学会中部総会・日本性機能学会第 27 回学術総会 2016 年 8 月 25-28 日（大阪）

中村大学、堀田祐志、矢萩 亮、片岡智哉、前田康博、川出義浩、木村和哲

小児ラットのフルクトース過剰摂取による将来の勃起機能と陰茎海綿体中の TGF- $\beta$ 1 の変化

第 26 回日本性機能学会中部総会・日本性機能学会第 27 回学術総会 2016 年 8 月 25-28 日（大阪）

堀田祐志、中村大学、高橋瀬奈、飯田悠貴、片岡智哉、前田康博、川出義浩、木村和哲

肥満 2 型糖尿病モデル SDT fatty rat は勃起障害を示さない。

第 26 回日本性機能学会中部総会・日本性機能学会第 27 回学術総会 2016 年 8 月 25-28 日（大阪）

前田康博、後藤佳奈、中島葉子、但馬剛、堀田祐志、片岡智哉、伊藤哲哉、木村和哲  
UPLC-MS/MSによるプロピオン酸血症およびメチルマロン酸血症の酵素活性測定法の開発  
第43回日本マスキリーニング学会学術集会 2016年8月26-27日(札幌)

中島葉子、前田康博、後藤佳奈、但馬剛、堀田祐志、酒井好美、伊藤哲哉  
プロピオン酸血症およびメチルマロン酸血症の酵素活性測定法の臨床応用  
第43回日本マスキリーニング学会学術集会 2016年8月26-27日(札幌)

但馬剛、香川礼子、前田康博、深尾敏幸  
新生児マスキリーニングで発見されたプロピオン酸血症例の全国アンケート調査  
第43回日本マスキリーニング学会学術集会 2016年8月26-27日(札幌)

Kataoka T, Hotta Y, Maeda Y, Kimura K  
The influence of testosterone deficiency on urinary bladder smooth muscle contractile response in castrated rats  
ICS 2016. 2016.9.13-16 (Tokyo, Japan)

Hotta Y, Takahashi S, Kataoka T, Maeda Y, Kawade Y, Kimura K  
Chronic treatment of anagliptin, a dipeptidyl-peptidase IV inhibitor, prevented bladder dysfunction after acute ischemia in rats  
ICS 2016. 2016.9.13-16 (Tokyo, Japan)

前田康博、中島葉子、伊藤哲哉、木村和哲  
ジアゼパム代謝におけるCYP2C19遺伝子多型の影響  
第41回日本医用マスキートル学会年会 2016年9月15-17日(名古屋)

後藤佳奈、前田康博、中島葉子、伊藤哲哉、但馬剛、前田陽子、堀田祐志、片岡智哉、川出義浩、木村和哲  
UPLC-MS/MSを用いたプロピオン酸血症患者の代謝酵素活性測定  
第41回日本医用マスキートル学会年会 2016年9月15-17日(名古屋)

前田陽子、前田康博、戸川泰子、後藤佳奈、堀田祐志、片岡智哉、川出義浩、小山典久、幸脇正典、杉山成司、木村和哲  
極低出生体重児におけるシベレスタットナトリウム投与前後の尿中および血中のアシルカルニチン変動  
第41回日本医用マスキートル学会年会 2016年9月15-17日(名古屋)

前田琴美、堀田祐志、片岡智哉、前田康博、川出義浩、木村和哲  
シクロホスファミド由来の出血性膀胱炎におけるキヌレニン経路の役割  
第26回日本医療薬学会年会 2016年9月17-19日(京都)

奥苑朱加、青木有希、林孝弘、西出景子、近藤祐樹、片岡智哉、山本由香、田代雄祐、竹本将士、鬼頭典子、佐橋朋代、成瀬久美、黒田純子、木村和哲  
ベッドサイドにおける抗がん剤の曝露調査  
～外来化学療法室全体の曝露状況を考える～  
第26回日本医療薬学会年会 2016年9月17-19日(京都)

Kataoka T, Hotta Y, Maeda Y, Kimura K  
Influence of Anti-cancer Agent Oxaliplatin on Erectile Function in Rats  
20TH WORLD MEETING ON SEXUAL MEDICINE. 2016.9.21-25 (Beijing, China)

Hotta Y, Nakamura D, Iida Y, Takahashi S, Kataoka T, Maeda Y, Kawade Y, Kimura K.

Spontaneously diabetic toriifatty rats do not show erectile dysfunction under high-blood glucose levels in a preliminary study: The importance of model selection

20TH WORLD MEETING ON SEXUAL MEDICINE. 2016.9.21-25 (Beijing, China)

Nakamura D, Hotta Y, Yahagi Y, Kataoka T, Maeda Y, Kawade Y, Kimura K

The prognosis of erectile dysfunction after stopping excessive fructose consumption from childhood in rats study

20TH WORLD MEETING ON SEXUAL MEDICINE. 2016.9.21-25 (Beijing, China)

Mori T, Hotta Y, Nakamura D, Yahagi R, Kataoka T, Maeda Y, Kawade Y, Kimura K.

Stress-induced erectile dysfunction via enhancement of the RhoA/Rho-kinase pathway in a study that uses a water immersion-restraint stress rat model

20TH WORLD MEETING ON SEXUAL MEDICINE. 2016.9.21-25 (Beijing, China)

正木彩子、石田高司、前田康博、成田朋子、伊藤旭、木下史緒理、鈴木進、滝野寿、吉田嵩、李政樹、楠本茂、小松弘和、崔日承、末廣陽子、安部康信、稲垣宏、上田龍三、飯田真介

Prognostic significance of tryptophan catabolism in newly diagnosed Hodgkin lymphoma

第 78 回日本血液学会学術集会 2016 年 10 月 13-15 日 (横浜)

黒田純子、竹本将士、田代雄祐、江崎哲夫、楠本茂、木村和哲

HBs 抗原陰性 固形がん患者に対する化学療法後のHBV再活性化リスク：単施設後方視的研究

第 54 回 日本癌治療学会学術集会 2016 年 10 月 20-22 日 (横浜)

近藤祐樹、鬼頭典子、竹本将士、田代雄祐、山本由香、黒田純子、遠山竜也、木村和哲

外来通院での乳がん dose-dense AC 療法の安全性に関する検討

第 54 回 日本癌治療学会学術集会 2016 年 10 月 20-22 日 (横浜)

但馬剛、香川礼子、前田康博、深尾敏幸

プロピオン酸血症例の全国調査:発症後診断例とマススクリーニング発見例の比較検討

第 59 回日本先天代謝異常学会総会 2016 年 10 月 12-14 日 (東京)

柴田敬、秋山倫之、岡牧郎、吉永治美、久原とみ子、中島葉子、加藤武馬、前田康博、影山操、小林勝弘

多彩な先天異常を認めた  $\beta$ -ウレイドプロピオナーゼ欠損症の一例

第 59 回日本先天代謝異常学会総会 2016 年 10 月 12-14 日 (東京)

中島葉子、前田康博、酒井好美、後藤佳奈、安井稔博、鈴木達也、倉橋浩樹、吉川哲史、伊藤哲哉

メチルマロニル CoA ムターゼ欠損症 5 例における重症度と治療選択についての検討

第 59 回日本先天代謝異常学会総会 2016 年 10 月 12-14 日 (東京)

前田康博、後藤佳奈、中島葉子、但馬 剛、前田陽子、堀田祐志、片岡智哉、伊藤哲哉、木村和哲

軽症プロピオン酸血症患者のプロピオニル-CoA カルボキシラーゼ活性

第 59 回日本先天代謝異常学会総会 2016 年 10 月 12-14 日 (東京)

深本絢子、片岡智哉、堀田祐志、前田康博、川出義浩、木村和哲【優秀発表賞】

テストステロンがラットの血管内皮機能に与える影響とその作用機序

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2016 年 10 月 30 日 (岐阜)

所美里、高橋瀬奈、堀田祐志、片岡智哉、前田康博、川出義浩、内木綾、高橋智、木村和哲

DPP-4 阻害薬アナグリプチンの膀胱機能に対する効果

—ラット膀胱血行動態に着目した検討—

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2016 2016 年 10 月 30 日（岐阜）

中村宗一郎、加藤秀紀、真川明将、堀田雄志、江崎哲夫、木村和哲

吸入指導ネットワークに参加して得られたもの

-薬局薬剤師へのアンケート調査より-

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2016 2016 年 10 月 30 日（岐阜）

青木有希、奥苑朱加、林孝弘、近藤祐樹、田代雄祐、竹本将士、鬼頭典子、井口祐美子、黒田純子、木村和哲

曝露対策において調製済み輸液バッグを使い捨てポリ袋に入れて運用することの有効性

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2016 2016 年 10 月 30 日（岐阜）

片岡智哉、堀田祐志、前田康博、木村和哲

白金製剤抗がん剤オキサリプラチンがラットの排尿機能へ及ぼす影響

第 23 回排尿機能学会 2016 年 12 月 6-8 日（東京）

高橋瀬奈、堀田祐志、飯田悠貴、片岡智哉、前田康博、川出義浩、木村和哲

両側内腸骨動脈結紮ラットの膀胱機能障害に対する DPP-4 阻害薬アナグリプチンの効果

第 23 回排尿機能学会 2016 年 12 月 6-8 日（東京）

## 【臨床薬学分野】

(原報)

Nao Kodama, Takahiro Iwao, Takahiro Katano, Kinya Ohta, Hiroaki Yuasa, Tamihide Matsunaga  
Characteristic analysis of intestinal transport in enterocyte-like cells differentiated from human induced pluripotent stem cells.

*Drug Metab. Dispos.*, **44**, 1662–1667 (2016).

Nao Kodama, Takahiro Iwao, Tomoki Kabeya, Takashi Horikawa, Takuro Niwa, Yuki Kondo, Katsunori Nakamura, Tamihide Matsunaga

Inhibition of mitogen-activated protein kinase kinase, DNA methyltransferase, and transforming growth factor- $\beta$  promotes differentiation of human induced pluripotent stem cells into enterocytes.

*Drug Metab. Pharmacokinet.*, **31**, 193–200 (2016).

Toru Takenaka, Naomoto Harada, Jiro Kuze, Masato Chiba, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Application of a human intestinal epithelial cell monolayer to the prediction of oral drug absorption in humans as a superior alternative to the Caco-2 cell monolayer.

*J. Pharm. Sci.*, **105**, 915–924 (2016).

藤田 直希、鍋谷 伸子、梅村 紀匡、菊池 千草、鈴木 匡

薬局における継続的なヘモグロビン A1c 測定と簡易な生活習慣チェックが生活習慣の改善に有効であった 3 症例

*YAKUGAKU ZASSHI* **136**, 1445–1448 (2016).

(総説・著書・総合論文など)

岩尾 岳洋, 松永 民秀

ヒト iPS 細胞の分化誘導の現状と創薬研究への応用.

*HAB Newsletter*, **22** (2), 6–7 (2016).

山浦 克典、鈴木 匡、亀井 美和子、熊谷 雄治、伊勢 雄也、山本 紘司、飯嶋 久志

論文作成ガイド、薬事日報社、13-30 (2016)

菊池 千草

薬局薬剤師が行う「臨床研究」について

(5) 研究を実施し解析する—よく使用する統計解析、研究データの処理、保管方法—  
*薬苑*、636、61-64 (2016)

(学会発表)

小野里 太智, 福山 了介, 赤川 巧, 小枝 暁子, 岩尾 岳洋, 松永 民秀

消化管毒性評価系の構築を目指したヒト iPS 細胞/カニクイザル ES 細胞由来腸管上皮様細胞及びオルガノイドの作製.

細胞アッセイ研究会, 2016年1月19日(東京).

松永 民秀, 栗木 駿輔, 坂本 栄, 岩尾 岳洋

ヒト iPS 細胞から肝細胞への低分子化合物を用いた分化誘導

細胞アッセイ研究会， 2016年1月19日（東京）。

**松永 民秀【招待講演】**

創薬研究支援材料として期待されるヒト iPS 細胞の利用法。

医薬品等規制調和・評価研究事業 合同公開シンポジウム「ヒト iPS 分化細胞技術の最新動向ー新たな薬効薬理試験法の開発に向けてー」平成 28 年度日本医療研究開発機構， 2016 年 2 月 9 日（東京）

**松永 民秀【招待講演】**

創薬研究支援材料として期待されるヒト iPS 細胞。

第 38 回白金シンポジウム 創薬と薬効・安全性評価における iPS 細胞活用の最前線， 2016 年 2 月 28 日（東京）。

山折 大，松永 民秀，大森 栄

ヒト胎児肝細胞を用いた薬物の細胞毒性評価

日本薬学会第 136 年会， 2016 年 3 月 26 日-29 日（横浜）。

中村 克徳，奥村 啓樹，松村 治穂，満間 綾子，安藤 雄一，清井 仁，大関 健志，薗田 泰誠，松永 民秀

リツキシマブによるインフュージョンリアクション発症リスク因子の検討

日本薬学会第 136 年会， 2016 年 3 月 26 日-29 日（横浜）。

菊池 千草，藤田 直希，菅沼 千枝，松永 民秀，鈴木 匡

服薬および注射のアドヒアランスに影響する生活習慣

日本薬学会第 136 年会， 2016 年 3 月 26 日-29 日（横浜）。

**松永 民秀【招待講演】**

6 年制薬学教育から見えてくる薬剤師業務に期待されること。

瑞穂区薬剤師会講演， 2016 年 4 月 23 日（名古屋）。

**松永 民秀【招待講演】**

ヒト iPS 細胞の腸管上皮細胞への誘導とその性質 ～細胞アッセイに適した細胞を目指して～。

富士フィルム社内講演， 年 4 月 26 日（神奈川県足柄上郡）。

**岩尾 岳洋【招待講演】**

ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞への分化と薬物動態機能評価。

日本薬物動態学会第 10 回ショートコース， 2016 年 5 月 12 日（大阪）。

鈴木 香帆，片野 貴大，太田 欣哉，保嶋 智也，壁谷 知樹，小玉 菜央，岩尾 岳洋，松永 民秀，湯浅 博昭

ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞モデルにおける小腸特異的葉酸トランスポーター機能の検証。

日本薬剤学会第 31 年会， 2016 年 5 月 19 日-21 日。

菊池 千草，松永 民秀

DPP-4 阻害薬アナグリプチンの血管壁における活性酸素に対する効果

第 59 回日本糖尿病学会年次学術集会， 2016 年 5 月 19 日-21 日（京都）。

**松永 民秀【招待講演】**

6 年制薬学教育と研究リマインドの養成。

沖縄県病院薬剤師会学術講演会， 2016 年 6 月 4 日（那覇）

Tomoki Kabeya, Takahiro Iwao, Nao Kodama, Tamihide Matsunaga  
Small molecule compounds enhance the differentiation of human induced pluripotent stem cells to enterocytes with pharmacokinetic functions.  
11th International ISSX Meeting, Jun. 12–16, 2016 (Busan, Korea).

菊池 千草、山中 亮、松永 民秀、鈴木 匡  
学生との事前面談チェックによる実務実習指導薬剤師への情報提供の効果  
第1回日本薬学教育学会大会、2016年8月27日-28日（京都）

武藤 倫弘、小宮 雅美、三浦 華子、宮本 真吾、中西 るり、鱧屋 隆博、田村 秀哉、黒川 友理絵、高橋 麻衣子、岩尾 岳洋、松永 民秀、藤井 元  
iPS細胞由来の原始下部消化管幹細胞による培養下発がん実験系開発の試み。  
第27回日本消化器癌発生学会総会、2016年9月15日-16日（鹿児島）。

菊池 千草、菅沼 千枝、藤田 直希、関谷 茜、松永 民秀、鈴木 匡  
服薬アドヒアランスを向上させる薬剤師養成を目指した糖尿病薬物療法模擬体験学習6ヶ月後の評価  
第26回日本医療薬学会年会、2016年9月17日-19日（京都）

鈴木 理珠、菊池 千草、松田 隆介、大島 秀康、鈴木 匡  
薬局店頭での生活改善目標設定による健康指導の効果  
第26回日本医療薬学会年会、2016年9月17日-19日（京都）

末松 菜月、菊池 千草、神林 純二、内海 桃絵、野本 慎一、鈴木 隆博、澤田 砂織、鈴木 匡  
服薬支援装置を用いた在宅での服薬支援についての検討  
第26回日本医療薬学会年会、2016年9月17日-19日（京都）

小野里 太智、赤川 巧、山下 美紗季、木田 有里子、小枝 暁子、岩尾 岳洋、松永 民秀  
機能的なカニクイザル iPS細胞由来腸管オルガノイドの作製。  
日本薬物動態学会第31回年会、2016年10月13日-15日（松本）。

大西 琢、岩尾 岳洋、松永 民秀  
ヒト iPS細胞由来肝細胞のマイクロカプセル化。  
日本薬物動態学会第31回年会、2016年10月13日-15日（松本）。

山下 美紗季、小野里 太智、赤川 巧、岩尾 岳洋、松永 民秀  
ヒト iPS細胞からの腸管オルガノイドの作製。  
日本薬物動態学会第31回年会、2016年10月13日-15日（松本）。

岩尾 岳洋【招待講演】  
ヒト iPS細胞由来腸管上皮細胞の薬物動態学的機能特性。  
日本薬物動態学会第31回年会、2016年10月13-15日（松本）。

松永 民秀【招待講演】  
消化管の薬物動態及び毒性試験における新規創薬研究支援材料。  
日本薬物動態学会第31回年会、2016年10月13-15日（松本）。

山野上 舞、山田 果奈、中西 杏菜、奥村 啓樹、宮本 智美、平林 真澄、坡下 真大、岩尾 岳洋、松永 民秀  
胚盤胞注入法と8細胞期胚注入法が異種動物間キメラ率に与える影響。

第 39 回日本分子生物学会年会, 2016 年 11 月 30 日-12 月 2 日 (横浜) .

奥村 啓樹, 名仁澤 英里, 中西 杏菜, 湯川 博, 馬場 嘉信, 石川 哲也, 坡下 真大, 岩尾 岳洋, 松永 民秀

量子ドットを用いた移植肝細胞の蛍光イメージング.

第 39 回日本分子生物学会年会, 2016 年 11 月 30 日-12 月 2 日 (横浜) .

阿武 志保, 奥村 啓樹, 坡下 真大, 林 寿人, 岩尾 岳洋, 金木 達朗, 松永 民秀

ヒト iPS 細胞の肝細胞への分化誘導における浮遊培養培地の比較.

第 39 回日本分子生物学会年会, 2016 年 11 月 30 日-12 月 2 日 (横浜) .

山下 綾, 奥村 啓樹, 坡下 真大, 田中 靖人, 松永 民秀: B 型肝炎ウイルスに対する新規治療薬候補化合物の抗 HBV 作用の評価. 第 39 回日本分子生物学会年会 2016 年 11 月 30 日-12 月 2 日 (横浜) .

山野上 舞, 山田 果奈, 中西 杏菜, 奥村 啓樹, 宮本 智美, 平林 真澄, 坡下 真大, 岩尾 岳洋, 松永 民秀: 胚盤胞注入法と 8 細胞期胚注入法が異種動物間キメラ率に与える影響. 第 39 回日本分子生物学会年会 2016 年 11 月 30 日-12 月 2 日 (横浜) .

## 5 科学研究費等補助金

科学研究費

研究種目	研究課題/ 領域番号	研究代表者	職名 (採択時)	研究期間(年度)	28年度 配分額	研究課題名
新学術領域研究(研究領域提案型)	15H01408	今泉 祐治	教授	2015-04-01 - 2017-03-31	¥6,500,000	ミトコンドリア酸素・カルシウム制御におけるミトフュージン機能の解明
新学術領域研究(研究領域提案型)	16H01366	服部 光治	教授	2016-04-01 - 2018-03-31	¥4,810,000	中枢性リボタンパク質受容体を介した神経細胞のリボクオリティ制御とその疾患との関連
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	15KK0352	田上 辰秋	講師	2016-06-10 - 2019-03-31	¥14,560,000	炎症性肺疾患に対する温度応答DDSの基盤技術に関する研究(国際共同研究強化)
基盤研究(A)	15H02491	加藤 晃一	教授	2015-04-01 - 2019-03-31	¥10,790,000	多元的構造生物学アプローチによるプロテアソーム形成機構の解明と創薬への展開
基盤研究(B)	25291004	星野 真一	教授	2013-04-01 - 2017-03-31	¥4,290,000	新規遺伝子発現・mRNA品質管理システム『mRNAポリA鎖制御系』の全容解明
基盤研究(B)	26293021	今泉 祐治	教授	2014-04-01 - 2018-03-31	¥4,420,000	創薬標的としてのカルシウム依存性イオンチャネル機能複合体群の分子薬理学的研究
基盤研究(B)	26293036	松永 民秀	教授	2014-04-01 - 2017-03-31	¥5,070,000	ヒトiPS細胞の肝細胞及び腸管上皮細胞への分化と初回通過効果予測モデル系の構築
基盤研究(B)	16H05082	鈴木 亮	講師	2016-04-01 - 2019-03-31	¥4,810,000	アレルゲン親和性によるIgE受容体動的多様性とシグナルエディティングの分子基盤
基盤研究(B)	16H05103	中川 秀彦	教授	2016-04-01 - 2019-03-31	¥5,850,000	新規ケージドNO化合物等の反応性拡張と生体応用
基盤研究(B)	16H05460	大澤 匡弘	准教授	2016-04-01 - 2019-03-31	¥6,500,000	疼痛認知における体性感覚と情動反応の分離に着目した慢性疼痛治療法の開発
基盤研究(C)	25430055	築地 仁美	講師	2013-04-01 - 2017-03-31	¥1,170,000	脊髄性筋萎縮症SMAと筋萎縮性側索硬化症ALSに共通するRNA代謝異常
基盤研究(C)	26410097	豊玉 彰子	講師	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,170,000	モデル荷電コロイド系を用いた結晶化に伴う不純物排除機構の解明
基盤研究(C)	26440059	細田 直	講師	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,560,000	細胞質・核RNA品質管理におけるエキソソーム複合体の共通した作用機序
基盤研究(C)	26460011	中村 精一	教授	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,430,000	新規架橋多環式骨格構築法を基盤とするパークレージオン類の合成研究
基盤研究(C)	26460040	尾関 哲也	教授	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,820,000	経肺投与型機能性ナノ粒子製剤の開発によるナノ医薬品の適応拡大を目指したDDS研究
基盤研究(C)	26460041	平嶋 尚英	教授	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,560,000	巨大リボソームを用いた標的的特異的分泌系の開発とDDS及び間接経口投与系への展開
基盤研究(C)	26460072	長田 茂宏	准教授	2014-04-01 - 2018-03-31	¥1,170,000	前がん病変で発現上昇するクロマチン関連因子による細胞死制御
基盤研究(C)	26460073	服部 光治	教授	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,040,000	巨大分泌タンパク質リーリンの新規情報伝達機構と、その病態との関連
基盤研究(C)	26460074	西塚 誠	講師	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,560,000	新規骨分化抑制因子fad104の機能解析と骨関連疾患発症における役割の解明
基盤研究(C)	26460203	岩城 壮一郎	講師	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,690,000	分泌型miRNAの測定による新規な動脈硬化発症・進展評価法の開発

研究種目	研究課題/ 領域番号	研究代表者	職名 (採択時)	研究期間(年度)	28年度 配分額	研究課題名
基盤研究(C)	26460227	頭金 正博	教授	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,170,000	診断群分類包括評価(DPC)データを用いた周術期薬物治療の有用性に関する研究
基盤研究(C)	26460228	菊池 千草	講師	2014-04-01 - 2017-03-31	¥910,000	性差医療を目指した糖尿病血管障害のメカニズム解明
基盤研究(C)	26507008	富田 淳	助教	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,040,000	睡眠量の恒常性維持機構におけるカルシニューリンの機能解析
基盤研究(C)	15K06877	桶本 和男	助教	2015-04-01 - 2017-03-31	¥1,560,000	血中の抗炎症性脂質により腫瘍が分子標的薬に高感受性を示す作用機序
基盤研究(C)	15K07935	矢木 宏和	講師	2015-04-01 - 2018-03-31	¥1,430,000	筋ジストロフィー原因遺伝子産物LARGEによる糖鎖の伸長機構の解明
基盤研究(C)	15K07936	井上 靖道	准教授	2015-04-01 - 2018-03-31	¥1,690,000	翻訳後修飾制御によるTGF- $\beta$ のがん抑制因子から悪性化因子への転換機構
基盤研究(C)	15K07937	林 秀敏	教授	2015-04-01 - 2018-03-31	¥1,430,000	新規がん遺伝子TRBファミリー分子による発癌作用の分子基盤の解明
基盤研究(C)	15K08027	梅澤 直樹	准教授	2015-04-01 - 2018-03-31	¥1,820,000	構造制約をもつポリアミン:固相合成と生理活性評価
基盤研究(C)	16K08171	山越 博幸	助教	2016-04-01 - 2019-03-31	¥1,690,000	抗腫瘍性サポニン・シラシロシドE-1の全合成研究
基盤研究(C)	16K08242	今川 正良	教授	2016-04-01 - 2019-03-31	¥1,690,000	脂肪細胞分化を制御する新規遺伝子が有する新たな生理機能の解明
基盤研究(C)	16K08278	山村 寿男	准教授	2016-04-01 - 2019-03-31	¥1,950,000	門脈圧亢進症に関与するTMEM16チャンネルの発現および機能解析
基盤研究(C)	16K08297	寺坂 和祥	講師	2016-04-01 - 2019-03-31	¥1,690,000	基質特異性と配列相同性の相関による機能未知二次代謝糖転移酵素の同定と応用
基盤研究(C)	16K08298	牧野 利明	教授	2016-04-01 - 2019-03-31	¥1,950,000	神経障害性疼痛に対する加工グシンの緩和作用とその有効成分の作用メカニズム
基盤研究(C)	16K08345	伊藤 佐生智	講師	2016-04-01 - 2019-03-31	¥1,560,000	黄色ブドウ球菌毒素SSLファミリーの病原性における役割の解明と創薬への応用
基盤研究(C)	16K08744	田中 正彦	准教授	2016-04-01 - 2019-03-31	¥1,820,000	小腸の機能制御と恒常性維持における腸管グリア細胞とカルシニューリンの役割
基盤研究(C)	16K10101	青山 峰芳	教授	2016-04-01 - 2019-03-31	¥1,690,000	新生児期虚血低酸素時の脳内エリスロポエチンによるミクログリア活性化制御脳保護効果
挑戦的萌芽研究	15K14495	鈴木 亮	講師	2015-04-01 - 2018-03-31	¥1,690,000	分泌顆粒局在型カルシウムチャンネルORAI2による新たな分泌制御機構の解析
挑戦的萌芽研究	16K15127	鈴木 良明	助教	2016-04-01 - 2018-03-31	¥2,210,000	貪食細胞におけるサイレントカリウムチャンネルのon-offスイッチング機構の解明
挑戦的萌芽研究	16K15128	今泉 祐治	教授	2016-04-01 - 2018-03-31	¥2,210,000	タンデム型2ポアカリウムチャンネル作用薬超高効率探索システムの創成
挑戦的萌芽研究	16K15144	中川 秀彦	教授	2016-04-01 - 2018-03-31	¥1,820,000	ラジカル特異的反応性を利用した新規NO蛍光プローブの開発
挑戦的萌芽研究	16K15164	松永 民秀	教授	2016-04-01 - 2018-03-31	¥1,690,000	ヒト及びサルiPS細胞を用いた腸管毒性試験用モデルの構築と毒性バイオマーカー探索
挑戦的萌芽研究	16K15308	鈴木 匡	教授	2016-04-01 - 2018-03-31	¥1,950,000	薬局「検体測定室」を活用したセルフメディケーション推進効果の検証
挑戦的萌芽研究	16K15693	堀田 祐志	助教	2016-04-01 - 2018-03-31	¥2,210,000	4次元制御可能なNOドナーによる新規ED治療法の開発
若手研究(A)	16H06215	鈴木 良明	助教	2016-04-01 - 2020-03-31	¥11,830,000	興奮-転写連関による転写遺伝子の特異的選択機構の解明
若手研究(B)	15K18492	谷山 怜子	その他	2015-04-01 - 2017-03-31	¥2,080,000	藍色細菌時計タンパク質KaiBの構造と機能の解明

研究種目	研究課題/ 領域番号	研究代表者	職名 (採択時)	研究期間(年度)	28年度 配分額	研究課題名
若手研究(B)	15K18899	川口 充康	助教	2015-04-01 - 2017-03-31	¥2,080,000	ワールブルク効果を標的とした抗がん剤としてのSIRT6活性化剤の開発
若手研究(B)	15K18929	岩尾 岳洋	准教授	2015-04-01 - 2017-03-31	¥1,950,000	ヒトiPS細胞から作製した腸管上皮細胞の純化と消化管における薬物動態評価系の構築
若手研究(B)	15K18930	太田 欣哉	助教	2015-04-01 - 2017-03-31	¥2,080,000	OATPの迅速機能評価系の構築及び飲食物に含まれるOATP阻害物質の検索
若手研究(B)	16K18951	保嶋 智也	助教	2016-04-01 - 2018-03-31	¥2,470,000	ホルモン感受性乳がんにおけるエストロゲン供給経路の分子基盤
若手研究(B)	16K18952	田上 辰秋	講師	2016-04-01 - 2019-03-31	¥1,170,000	光刺激応答性リポソームを用いたがんのセラノスティクスに関する基盤研究

## その他の研究補助金

### 【助成金等】

補助金等名称	公益財団法人篷庵社研究助成金 平成24年度研究助成
研究課題名	光制御可能なNO・活性酸素ドナー化合物の開発(代表)
氏名	中川秀彦
金額(千円)	500
補助金等名称	公益財団法人ノバルティス科学振興財団 第29回ノバルティス研究奨励金
研究課題名	生物活性架橋多環式メロテルペノイドの全合成研究
氏名	中村 精一
金額(千円)	1,000
補助金等名称	大陽日酸株式会社 学術奨励寄附金
氏名	加藤 晃一
金額(千円)	300
補助金等名称	公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団 学術研究奨励
研究課題名	大コンダクタンスCa <sup>2+</sup> 活性化K <sup>+</sup> チャネル新規修飾サブユニットによる気管支平滑筋機能の制御と気管支病態形成への関与
氏名	鈴木 良明
金額(千円)	1,100
補助金等名称	公益財団法人旭硝子財団 2016年度旭硝子財団研究助成金
研究課題名	ペプチド活性の細胞内光制御:エピジェネティクス関連酵素LSD1活性を光制御する化学ツールの創製
氏名	梅澤 直樹
金額(千円)	2,000
補助金等名称	公益財団法人日本食品化学研究振興財団 平成28年度研究助成金
研究課題名	配糖体の消化管吸収過程におけるLPHの特性評価
氏名	寺坂 和祥
金額(千円)	800
補助金等名称	公益財団法人日本食品化学研究振興財団 平成28年度研究助成金
研究課題名	アディポサイトカインの発現変化を指標とした食品添加物の新しい安全性評価系の開発
氏名	西塚 誠
金額(千円)	800
補助金等名称	公益財団法人市原国際奨学財団 平成28年度研究助成
研究課題名	ストレス誘導性分子TRB3による免疫応答調節機構の解明
氏名	伊藤 友香
金額(千円)	400
補助金等名称	大川原化工機株式会社 学術研究奨励
研究課題名	スプレードライヤーを用いた研究
氏名	尾関 哲也
金額(千円)	504
補助金等名称	大野東洋医学研究所 学術研究奨励
研究課題名	漢方薬の薬理作用メカニズム解明
氏名	牧野 利明
金額(千円)	840
補助金等名称	公益財団法人杉浦記念財団 平成28年度杉浦地区医療振興助成
研究課題名	保険調剤薬局を拠点とした緩和ケアの多職種連携の構築
氏名	大澤 匡弘

金額（千円）	1,900
補助金等名称	公益財団法人日中医学協会 学術研究奨励
研究課題名	生脈散およびその血液中代謝産物のin vitro実験によるアルツハイマー病予防作用
氏名	牧野 利明
金額（千円）	252
補助金等名称	公益財団法人喫煙科学研究財団 平成28年度研究助成
研究課題名	タバコ抽出液中に存在するアジュバント活性物質の応用研究
氏名	瀧井 猛将
金額（千円）	1,680
補助金等名称	公益財団法人 三島海雲記念財団 平成28年度 学術研究奨励
研究課題名	骨格筋量を維持・増加させる天然機能性素材の探索
氏名	大澤 匡弘
金額（千円）	1,000
補助金等名称	公益財団法人武田科学振興財団 2016年度薬学系研究奨励
研究課題名	Ca <sup>2+</sup> チャネルリモデリングと変形性関節症病態の関係
氏名	鈴木 良明
金額（千円）	2,000
補助金等名称	公益財団法人東洋医学研究財団 平成28年度研究・調査助成
研究課題名	糖尿病神経障害による痛みに対する牛車腎気丸の有効性と有効成分の同定
氏名	大澤 匡弘
金額（千円）	700
補助金等名称	公益財団法人東洋医学研究財団 平成28年度研究・調査助成
研究課題名	小胞体ストレスを阻害する新規成分の同定とその細胞死阻害メカニズムの解明
氏名	伊藤 友香
金額（千円）	600
補助金等名称	公益財団法人愛知県がん研究振興会 第41回(平成28年度)がんその他の悪性新生物研究助成金
研究課題名	黄色ブドウ球菌毒素の宿主タンパク質阻害作用を応用した新規がん治療薬の創薬
氏名	伊藤 佐生智
金額（千円）	250
補助金等名称	公益財団法人愛知県腎臓財団(平成28年度)研究助成金
研究課題名	ホスホジエステラーゼ5に注目した食塩感受性モデルにおける腎障害発症機序の解明と治療応用
氏名	堀田 祐志
金額（千円）	100
補助金等名称	有限会社中村薬局 学術研究奨励
研究課題名	ハスカップのカゼ予防作用
氏名	牧野 利明
金額（千円）	800
補助金等名称	公益財団法人小柳財団 平成28年度(2016年度)研究助成金
研究課題名	エラグ酸のエピジェネティクス制御を介した細胞がん化抑制に与える影響
氏名	長田 茂宏
金額（千円）	1,000
補助金等名称	公益財団法人大和証券ヘルス財団 平成28年度(第43回)調査研究助成金
研究課題名	アレルギー親和性を基盤とした高齢者アレルギー研究への展開
氏名	鈴木 亮
金額（千円）	1,000

補助金等名称	公益財団法人大幸財団 平成28年度自然科学系学術研究助成
研究課題名	ヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞を用いた医薬品の新規消化管吸収予測モデル系の構築
氏名	岩尾 岳洋
金額(千円)	3,500
補助金等名称	田辺三菱株式会社 医学・薬学研究活動への支援金 学術研究奨励
研究課題名	シスプラチン腎症後の再生近位尿細管の機能解析
氏名	堀田 祐志
金額(千円)	420
補助金等名称	公益財団法人先進医薬研究振興財団 平成28年度 血液医学分野研究助成金
研究課題名	黄色ブドウ球菌の免疫かく乱タンパク質群による免疫の活性化と免疫・アレルギー性疾患の発症・憎悪への関与
氏名	伊藤 佐生智
金額(千円)	1,000
補助金等名称	公益財団法人上原記念生命科学財団 平成28年度研究助成金
研究課題名	アレルギーの多様性を担うアレルゲン親和性の役割
氏名	鈴木 亮
金額(千円)	5,000
補助金等名称	公益財団法人上原記念生命科学財団 平成28年度研究助成金
研究課題名	オルガネラCa <sup>2+</sup> ネットワークの平滑筋増殖への関与
氏名	鈴木 良明
金額(千円)	2,000
補助金等名称	公益財団法人中富健康科学振興財団 平成28年度(第29回)研究助成金
研究課題名	カルシウムマイクロドメイン形成分子の軟骨細胞機能および変形性関節症への関わり
氏名	鈴木 良明
金額(千円)	1,500

#### 【受託研究等】

補助金等名称	国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業(個人型研究 [さきがけ])
研究課題名	小胞体糖タンパク質フォールディング装置作動メカニズムの解明
氏名	佐藤 匡史
金額(千円)	13,780
補助金等名称	国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業(個人型研究 [さきがけ])
研究課題名	コロイド結晶の構造制御と新規波長選択光学材料の創製
氏名	豊玉 彰子
金額(千円)	4,199
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医療品等規制調和・評価研究事業(代表)
研究課題名	東アジア地域での薬剤応答性における民族差と国際共同治験や医薬品使用の実態に関する調査研究
氏名	頭金 正博
金額(千円)	9,390
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医療品等規制調和・評価研究事業(分担)
研究課題名	ヒトiPS細胞由来肝/小腸細胞による再現性のある薬物代謝酵素・トランスポーター等の薬物誘導性評価試験の開発
氏名	松永 民秀
金額(千円)	1,800
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医療品等規制調和・評価研究事業(分担)

研究課題名	薬剤疫学データベースを用いた医薬品副作用の発現頻度に係る民族差に関する研究
氏名	頭金 正博
金額(千円)	630
補助金等名称	独立行政法人日本学術振興会 平成28年度学術研究動向調査研究等
研究課題名	創薬化学分野に関する学術研究動向 ー創薬化学分野と他分野との融合的展開
氏名	樋口 恒彦
金額(千円)	1,690
補助金等名称	日産化学工業株式会社 受託研究
研究課題名	難溶性薬物の溶解性改善に関する研究
氏名	尾関 哲也
金額(千円)	600
補助金等名称	内閣府食品安全委員会事務局 平成28年度食品健康影響評価技術研究(分担)
研究課題名	インビボ毒性試験成績のデータベース化とそのインシリコ解析・評価への応用に関する研究
氏名	頭金 正博
金額(千円)	3,500
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 B型肝炎創薬実用化等研究事業
研究課題名	人工キメラ遺伝子と肝臓特異的な輸送担体の開発を基盤とした肝臓内HBVDNA不活化を目指した新規治療法の開発
氏名	星野 真一
金額(千円)	10,000
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業
研究課題名	伝統薬物効能の標準化のための研究
氏名	牧野 利明
金額(千円)	1,430
補助金等名称	オープン化粧品株式会社 受託研究
研究課題名	カーボポールAQUA SF-1(原料単体)と製剤サンプルの両方においておおよその構造解析
氏名	山中 淳平
金額(千円)	180
補助金等名称	国立大学法人大阪大学 機能強化経費(プロジェクト分)ー高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発ー
研究課題名	高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発
氏名	鈴木 匡
金額(千円)	3,390
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医療品等規制調和・評価研究事業(分担)
研究課題名	医薬品等の市販後安全対策のための医療情報データベースの利活用方法に関する薬剤疫学研究
氏名	頭金 正博
金額(千円)	1,350
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業糖鎖利用による革新的創薬技術開発事業
研究課題名	NMRと計算科学の統合による糖鎖の3次元構造ダイナミクスの体系的評価法の開発
氏名	矢木 宏和
金額(千円)	9,100
補助金等名称	任天堂株式会社 受託研究
研究課題名	睡眠疲労分析アルゴリズムに関する助言及び監修等

氏名	桑 和彦
金額 (千円)	2,700
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医療分野研究成果展開事業 産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-MS)
研究課題名	アルツハイマー病の改善を目的としたリーリン分解酵素群阻害薬の開発
氏名	服部 光治
金額 (千円)	20,000
補助金等名称	大学共同利用機器法人自然科学研究機構 融合発展促進研究プロジェクト
研究課題名	糖鎖の合成と分解を可視化する高速AFM/一分子FRET複合機の開発
氏名	矢木 宏和
金額 (千円)	750
補助金等名称	ヤエガキ醗酵技研株式会社 受託研究
研究課題名	ハチミツ醗酵物の機能性評価
氏名	牧野 利明
金額 (千円)	118
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 B型肝炎創薬実用化等研究事業(分担)
研究課題名	B型肝炎ウイルスの持続感染を再現する効率的な培養細胞評価系の開発に関する研究
氏名	松永 民秀
金額 (千円)	6,000
補助金等名称	厚生労働省 医薬品等審査迅速化事業費補助金
研究課題名	バイオマーカーを活用した分子標的薬の有効性・安全性の効率的評価法の確立
氏名	頭金 正博
金額 (千円)	30,000
補助金等名称	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業
研究課題名	C-H 結合活性化を活用する独創的リード化合物高度化
氏名	樋口 恒彦
金額 (千円)	17,667
補助金等名称	文部科学省 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業
研究課題名	創薬基盤科学技術開発研究拠点
氏名	平嶋 尚英(拠点代表)
金額 (千円)	24,637

#### 【名古屋市立大学特別研究奨励費】

種別	科学研究費獲得のための活性化事業
研究課題名	シナプス可塑性に基づく睡眠制御機構の解明と、創薬標的としての開発
氏名	桑 和彦
金額 (千円)	1,300
種別	科学研究費獲得のための活性化事業
研究課題名	創薬を目指した血液凝固因子の細胞内輸送機構の構造細胞生物学研究
氏名	佐藤 匡史
金額 (千円)	750
種別	科学研究費獲得のための活性化事業
研究課題名	マルチオミクス解析によるストレスに伴う男性性機能障害の発症機序の解明と臨床応用
氏名	堀田 祐志
金額 (千円)	700

種別	科学研究費獲得のための活性化事業
研究課題名	不均一な場と反応する荷電コロイド粒子系のダイナミクス
氏名	奥 透
金額(千円)	700
種別	科学研究費獲得のための活性化事業
研究課題名	ヒトiPS細胞を用いた血液脳関門評価系モデルの構築
氏名	坂下 真大
金額(千円)	700
種別	科学研究費獲得のための活性化事業
研究課題名	フラボノイド類によるPCFT阻害と動物種差の解析:葉酸類による経口薬物療法の基盤
氏名	湯浅 博昭
金額(千円)	700
種別	国の競争的資金獲得のための活性化事業
研究課題名	認知症の発症原因となりうる抑制性介在ニューロン細胞死の分子機構解明
氏名	築地 仁美
金額(千円)	1,200
種別	国の競争的資金獲得のための活性化事業
研究課題名	ヒトiPS細胞を利用した創薬研究支援のモデル系構築に関する研究
氏名	松永 民秀
金額(千円)	6,700
種別	国の競争的資金獲得のための活性化事業
研究課題名	芳香族ヘテロ環を有する独創的化合物ライブラリー構造と創薬への展開
氏名	樋口 恒彦
金額(千円)	37
種別	国際交流の推進事業
研究課題名	ミシガン大学との国際交流:大学間交流に向けての薬学部間交流の展開
氏名	岩尾 岳洋
金額(千円)	425
種別	国際交流の推進事業
研究課題名	南カリフォルニア大学との学術交流の推進および香港大学との交流協定の締結
氏名	頭金 正博
金額(千円)	380
種別	国際交流の推進事業
研究課題名	瀋陽薬科大学との学術交流の推進および中国薬科大学との新たな学術交流協定締結の模索
氏名	桑 和彦
金額(千円)	360
種別	国際交流の推進事業
研究課題名	ハージェテペ大学・香港浸会大学・黒竜江中医薬大学(中国)との学術交流の推進
氏名	牧野 利明
金額(千円)	260
種別	国際交流の推進事業
研究課題名	サント・トーマス大学との海外拠点校形成プロジェクト及び合同シンポジウムの開催
氏名	平嶋 尚英
金額(千円)	1,000
種別	国際交流の推進事業
研究課題名	韓国・梨花女子大学 薬学大学(学部に対応)との学部間学術交流
氏名	佐藤 匡史

金額(千円) 115

6 新聞報道等  
(2016年1月から2016年12月)

## 【新聞報道】

太田美里

生薬に関する最近の話題

薬事日報メディカル版 2016年1月18日

今川 正良

「研究戦略—YAKUGAKUの研究現場から— No. 103」

薬事日報 第11687号 平成28年2月22日

牧野利明

伝統薬物を科学する～漢方など独自の医学理論認証、先人たちの知恵は侮れない

中部経済新聞 2016年3月8日

牧野利明

世界に向け日本の“漢方医学”発信 第18回国際東洋医学会学術大会から

薬事日報 2016年5月27日

服部光治

「名市大など、精神神経疾患 マウスで検証」

中日新聞 平成28年9月17日

木村和哲

研究現場発 アンチエイジングを目指して 性機能障害および下部尿路機能障害の原因解明

中部経済新聞 2016年10月18日

牧野利明

ハチミツから免疫賦活化合物見いだす～加熱処理でサイトカイン X を誘導

食品化学新聞 2016年11月3日

桑 和彦

睡眠と目覚めをコントロールする2つの遺伝子の存在を、筑波大や名古屋市立大などの研究グループが世界で初めて突き止めた。

中日新聞 平成28年11月3日

湯浅博昭

「トランスポーターの機能解明：がん細胞内へ抗がん剤の供給路を確保する」

中部経済新聞 平成28年11月8日

桑 和彦

「科学の扉 睡眠の謎に迫る：脳内物質・遺伝子が睡眠量の制御に関わることを確認」

朝日新聞 平成28年11月20日

## 【受賞】

小林 里帆

科学技術振興機構理事長賞

第5回サイエンス・インカレ 平成28年3月6日

萩原 由実子

「TMEM16A と TMEM16B によって構成されるヘテロ  $\text{Ca}^{2+}$ 活性化  $\text{Cl}^-$ チャネルの機能解析」

第89回日本薬理学会年会学生優秀発表賞 2016年3月10日

丸岡 純也

学生優秀発表賞

第89回薬理学会年会 平成28年3月10日

中川 秀彦

「ガス状細胞情報伝達分子および類縁体のケージド化合物群の開発と生物応用」

平成28年度日本薬学会学術振興賞 平成28年3月31日

堤 香菜子

「Two-pore-domain  $\text{K}^+$ チャネル TASK1、TALK2 のヘテロ2量体形成の解明」

日本薬学会第136年会優秀発表賞 2016年3月31日

Poster Awarded

Toshiaki Suzuki, Keisuke Miyamoto, Naomi Yokoyama, Mayuko Sugi, Akina Kagioka, Takumi Adachi, Masahiro Ohsawa, Hajime Mizukami, Toshiaki Makino

Processed aconite root (附子) and its active ingredient neoline may alleviate oxaliplatin-induced peripheral neuropathic pain

The 18th International Congress of Oriental Medicine, 2016年4月17日 (Ginowan, Okinawa) .

田上 辰秋

「個別化医療に有用な刺激応答型 DDS 製剤の開発 個別化医療に有用な刺激応答型 DDS 製剤の開発」

2016年度旭化成創剤研究奨励賞（助成金） 平成28年5月20日

河野 孝夫

「神経系における糖鎖の機能解明のための糖鎖プロファイリング技術の開発とその応用」

日本薬学会東海支部学術奨励賞 平成28年7月9日

佐伯 尚紀

「血管平滑筋においてカベオラとジャンクトフィリン2が形成する  $\text{Ca}^{2+}$ マイクロドメイン機構の解明」

第58回日本平滑筋学会総会優秀演題賞 2016年8月19日

野田 さゆり

「マウス気管支平滑筋における  $\text{Ca}^{2+}$ 活性化  $\text{K}^+$ チャネル修飾サブユニット  $\gamma 1$  の生理機能解明」

生体機能と創薬シンポジウムポスター優秀発表賞 2016年8月26日

榊原 由子

「食器や食品の包装容器に由来する化学物質の毒性試験データベースの構築」

第2回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム優秀発表賞 2016年9月17日

佐藤直子

第67回コロイドおよび界面化学討論会 ポスター賞

平成28年09月26日

Chiho Kakihara, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, Junpei Yamanaka, Kensaku Ito, Tadatomi Shinohara,  
Masayuki Tanigawa, Ikuo Sogami

第9回(2016年度)日本マイクログラビティ応用学会 論文賞

平成28年11月02日

中川 寛之

優秀ポスター賞

第23回時間生物学会学術大会 平成28年11月13日

佐伯 尚紀

「血管平滑筋細胞においてカベオラと結合膜構造が構築するCa<sup>2+</sup>マイクロドメインのナノイメージング解析」

第38回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム学生優秀発表賞 2016年11月18日

山田 啓史

「軟骨細胞においてCIC3チャンネルは低浸透圧応答に関与する」

第130回日本薬理学会近畿部会学生優秀発表賞 2016年11月19日

與語理那

“Exploration of dynamical structures and interactions of antibodies”

岡崎統合バイオリトリート2016 ベストポスター賞 2016年11月22日

金 明美

「2つの異なる転移活性ドメインを有する糖転移酵素による糖鎖伸長機構の解析」

糖鎖科学中部拠点第13回「若手の力」フォーラム 奨励賞 2016年11月26日

柚木康弘

「未変性質量分析法と中性子小角散乱法を利用した時計タンパク質複合体の構造解析」

第4回将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会 優秀発表賞

2016年12月5日

## 7 進路および就職状況



区分	卒業者	就職希望者 (有職者含む)	就職決定者 (有職者含む)	就職地域別 就職先業種別	市内	県内	岐阜三重	中部 (愛知・岐阜・三重以外)	京浜	京阪神	その他	計	就職未決定者	進学・その他						
大 学 院 前 期	48 (16)	39 (14)	39 (14)	A 農業・林業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	アルバイト・パート	0 (0)					
				B 漁業・水産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	大学院進学	9 (2)			
				C 鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	(うち社会人学生)	0 (0)			
				D 建設業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	海外の大学・大学院進学	0 (0)		
				製 造 業	E 1 食料品・飲料・たばこ・飼料	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)		2 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	専門学校進学	0 (0)
					2 繊維工業・衣服	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	国家資格等試験準備	0 (0)
					3 出版・印刷・同関連産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	公務員試験準備	0 (0)
					4 化学工業・石油・石炭製品	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	8 (1)	9 (5)	4 (1)		25 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	その他(進路未定を含む)	0 (0)
					5 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
					6 汎用・生産用業務器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
					7 電子部品・デバイス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
					8 電気・情報通信機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
					9 輸送用機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
					10 その他の製造業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				F 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				G 情報通信	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				H 運輸・郵便	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				I-1卸売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				I-2小売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				J-1金融業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				J-2保険業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				K-1不動産取引・賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				K-2物品賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				L-1学術・開発研究機関	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)			
				L-2法務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				L-3その他専門技術サービス	3 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (5)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				M 宿泊業・飲食サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				N 生活関連サービス業、娯楽業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				0-1学校教育	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				0-2その他の教育・学習支援	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				P-1医療・保健衛生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				P-2社会保険・社会福祉・介護事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				Q 複合サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				R-1宗教	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
R-2サービス業(その他)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
S-1国家公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
S-2地方公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
計	5 (2)	0 (0)	2 (0)	3 (1)	14 (3)	11 (7)	4 (1)	39 (14)												
全体の地域別割合	12.8%	0.0%	5.1%	7.7%	35.9%	28.2%	10.3%	100.0%												
女子の地域別割合	(14.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(7.1%)	(21.4%)	(50.0%)	(7.1%)	(100.0%)												

( ) は女子で内数

区分	卒業者	就職希望者 (有職者含む)	就職決定者 (有職者含む)	就職地域別 就職先業種別	市内	県内	岐阜三重	中部 (愛知・岐阜・三重以外)	京浜	京阪神	その他	計	就職未決定者	進学・その他					
大 学 後 期 博 士 院	7 (0)	5 (0)	5 (0)	A 農業・林業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	アルバイト・パート	0 (0)				
				B 漁業・水産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	大学院進学	0 (0)			
				C 鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	(うち社会人学生)	0 (0)			
				D 建設業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	海外の大学・大学院進学	0 (0)		
				E 製 造 業	1 食料品・飲料・たばこ・飼料	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	専門学校進学	0 (0)
					2 繊維工業・衣服	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	国家資格等試験準備	0 (0)
					3 出版・印刷・同関連産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	公務員試験準備	0 (0)
					4 化学工業・石油・石炭製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	その他(進路未定を含む)	2 (0)
					5 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	計	2 (0)
					6 汎用・生産用業務器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
					7 電子部品・デバイス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
					8 電気・情報通信機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
					9 輸送用機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
					10 その他の製造業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				F 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				G 情報通信	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				H 運輸・郵便	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				I-1卸売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				I-2小売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				J-1金融業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				J-2保険業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				K-1不動産取引・賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				K-2物品賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				L-1学術・開発研究機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				L-2法務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				L-3その他専門技術サービス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				M 宿泊業・飲食サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				N 生活関連サービス業、娯楽業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				0-1学校教育	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	1 (0)			
				0-2その他の教育・学習支援	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				P-1医療・保健衛生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				P-2社会保険・社会福祉・介護事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				Q 複合サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				R-1宗教	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
R-2サービス業(その他)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
S-1国家公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
S-2地方公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
計	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)									
全体の地域別割合	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%											
女子の地域別割合	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)											

( ) は女子で内数

## 8 在籍者名簿

名古屋市立大学院薬学研究科（薬学部）所属教員一覧

(平成28年4月現在)

講座	分野	教授	准教授	講師	助教
医薬化学	薬化学	中川 秀彦			家田 直弥 川口 充康
	精密有機反応学	樋口 恒彦	梅澤 直樹		
	薬品合成化学	中村 精一	近藤 和弘		山越 博幸
	機能分子構造学		池田 慎一		
生命分子薬学	生体超分子システム解析学	平嶋 尚英	田中 正彦	鈴木 亮	
	コロイド・高分子物性学	山中 淳平	奥菌 透	豊玉 彰子	
	生命分子構造学	加藤 晃一 (兼任)	佐藤 匡史	矢木 宏和	
	分子生物薬学	今川 正良	長田 茂宏	西塚 誠	
	薬物送達学	尾関 哲也		田上 辰秋	
	マイクロRNAゲノム創薬学		藤井 陽一		
医療分子機能薬学	生薬学	牧野 利明		寺坂 和祥	石内 勘一郎
	衛生化学	肥田 重明		伊藤佐生智	
	遺伝情報学	星野 真一		細田 直	
	細胞分子薬効解析学	今泉 祐治	山村 壽男		鈴木 良明
	病態生化学	服部 光治		築地 仁美	河野 孝夫
医療薬学	薬物動態制御学	湯浅 博昭			保嶋 智也
	病態解析学	青山 峰芳		岩城 壮一郎	
	細胞情報学	林 秀敏	井上 靖道		伊藤 友香
	神経薬理学	糸 和彦	大澤 匡弘	富田 淳	
	レギュラトリーサイエンス	頭金 正博			長部 誠 (特任助教) 桶本 和男
	病院薬剤学	木村 和哲 (兼務)	川出 義浩 (特任准教授)	前田 康博	内藤 敏子 堀田 祐志 (特任助教) 林 孝弘 (特任助教) 加藤 順子 (特任助教) 中村 宗一郎 (特任助教) 大橋 一輝 (特任助教) 外ノ池 文乃 (特任助教) 西出 景子
	臨床薬学	松永 民秀 鈴木 匡	岩尾 岳洋	菊池 千草 坡下 真大	
連携大学院	腫瘍制御学 (県がんセンター研究所)	青木 正博 <small>客員教授</small> 小根山千歳 <small>客員教授</small>	笠原 広介 <small>客員准教授</small>		
	加齢病態制御学 (国立長寿医療センター研究所)		木村 展之 <small>客員准教授</small> 飯島 浩一 <small>客員准教授</small>		
	医薬品質保証学 (国立医薬品食品衛生研究所)	佐藤 陽治 <small>客員教授</small> 合田 幸広 <small>客員教授</small>			
	生体システム制御学分野 (自然科学研究機構岡崎統合バイオ(エンスター))	西田 基宏 <small>客員教授</small>	椎名 伸之 <small>客員准教授</small>		
	医薬品医療機器審査科学 (医薬品医療機器総合機構)	中村 高敏 <small>客員教授</small>			

平成28年度大学院生名簿

平成28年10月1日現在

専攻	講座	分野	学年	博士前期課程		博士後期課程			博士課程				
				1年	2年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年	
創薬生命科学	医薬化学	薬化学	田丸 廉太 若森 久幸	池川 祥平 犬飼 雄哉 太田 悠平 小口 瑠菜 奥野 華 脇田 弘臣									
		精密有機反応学	天野 太成	中村 美里		國枝 一輝	渡辺 二規 天野 祐一						
		薬品合成化学	有馬 竜平 陰 未来	竹田 圭介			近藤 秀明 鈴木 恵介	澤山 侑季					
		機能分子構造学		原 侑也 古橋 俊佑						森田 友香	坂崎 美香		
	生命分子薬学	生体超分子システム解析学	大倉 宇海 草田 智之 服部 幸希	木村 友香 真野 安由美 溝端 沙莉						亀川 沙知		横川 慧	
		コロイド・高分子物性学		佐藤 直子 西川 卓 深谷 奈央						関 友崇			
		生命分子構造学	柚木 康弘 與語 理那										
		分子生物薬学	小島 舞子 小林 祐太	加藤 苑果 後藤 元晴									
		薬物送達学	後藤 瑛一 太根 将史	石亀 貴欣 布施 俊樹 森川 善以 青山 智彦 大塚 衆志		Ibrahim Shaimaa 竹内 堂朗	野田 剛弘 吉村 元靖	瀧 萌子				星川 晃宏	
		マイクロRNAゲノム創薬学		大曾根 達則	吉川 優								

専攻	講座	分野	学年		博士前期課程			博士後期課程			博士課程			
			1年	2年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年			
医療機能薬学	医療分子機能薬学	生薬学	久保 優人	渡邊 智暉 田 川婷		山田 亜紀	高 勝莉 張 伏子		篠田 祐布香	小西 徹				
		衛生化学												
		遺伝情報学	永井 貴広 古舘 和也 堀田 昂志	川島 生 田中 杏莉	西浦 久達		福島 真	稲垣 佑都	野木森 拓人					
		細胞分子薬効解析学	萩原 由実子 古川 奈美	山越 大槻 山田 啓史 山村 英斗	佐伯 尚紀				野田 さゆり	川崎 桂輔	松木 克仁			
		病態生化学	加藤 路尚	牧野 誠 荻野 ひまり 近藤 佑多 酒井 かおり							水上 智晴 山影 祐子			
	医療薬学	薬物動態制御学	鈴木 香帆 菱川 洋輔	河村 繁宏 関口 裕太郎 細馬 あかね		山城 貴弘					三村 佳久			
		病態解析学												
		細胞情報学	鈴木 千晶 田中 孝仁 田中 輝	川崎 文寛 佐藤 晃一 杉田 直央	Baatar Bolormaa		西川 佐紀子		都築 香里 川原田 祐貴		加藤 直樹			
		神経薬理学	石倉 啓一郎 中川 寛之 坂 豪祐 丸岡 純也 高 天翔	飯尾 彩加 北尾 優花 中根 伸 長谷川 達也	山田 彬博 佐藤 由美		矢野 裕恭 橋崎 将典							
		レギュラトリーサイエンス 医薬品安全性評価学	岡本 秀人	柴北 健佑 田近 聡幸 西川 良平 鈴木 章裕		野中 友香 池田 貢	浅野 邦仁 八木 聡美							
		病院薬剤学	北川 絢恵 富田 なつみ	矢萩 亮		山本 優子	高木 三千代 山本 清司				後藤 佳奈 真川 明将 長崎 彩子	高橋 瀬奈		
		臨床薬学	大西 琢 杉本 章 邱 施萌	阿武 志保 余 悦	齊藤 将之	近藤 聡志	小枝 暁子 坂本 栄 堀 英生	青木 啓将 成田 敦貴	奥村 啓樹 小野里 太智 壁谷 知樹	堺 陽子 堀場 亜佐子	榎原 明美			

専攻	講座	分野	学年	博士前期課程		博士後期課程			博士課程				
				1年	2年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年	
		腫瘍制御学											
		加齢病態制御学					藤崎 尚規						
		医薬品質保証学											
		生体システム制御学											

平成28年度卒業研究実習生名簿

分野	薬学科			生命薬科学科	
	4年	5年	6年	3年	4年
薬化学	鈴木 あゆみ	三宅 洋平	井上 理映子 泉屋 有佑 下屋 圭佑 谷 卓磨	菰田 潮 齋藤 大介 本部 竜馬	山田 輝
精密有機反応学	龍田 直輝	井鍋 佳菜子	辻 佳寿美	北川 宙輝 高橋 和希	寺前 将太 中村 圭佑
薬品合成化学	加藤 美里 木村 文香 坂上 友花梨 中津川 瑛美 鳴神 大祝	渡部 智啓	稲富 早紀	大迫 将弥 加藤 万吏衣 齋藤 彩有里	長野 秀嗣 山内 裕貴
機能分子構造学	市原 淳一朗 小島 剛史 山田 夏海			岡田 朋美	
生体超分子システム解析学	川合 皓征 成瀬 美結 牧原 未来 松村 綾子 山本 康介	荒目 俊明 橋本 侑昇	森 大輔 稲本 奨平 小久江 俊哉 丸山 由貴	古澤 遥	宮瀬 智仁
コロイド・高分子物性学	岸田 孝一 近藤 陽子 藤波 さやか 松浦 侑輝 山本 瑠璃	今田 祐介 曲 嘉 服部 肇 高木 美緒	阿部 夏実 今井 麻未 須子 美里	西尾 文貴	林 直輝 新澤 耕平 青山 柚里奈
生命分子構造学	吉田 早希 姫田 美咲	尾林 卓幸 河村 裕樹 成 徳鏞 松村 由佳	谷口 雄基 柘植 信吾 梶野 愛 金 明美	小藤 加奈 齋藤 泰輝 関口 太一朗	本田 怜奈
分子生物薬学	飯田 萌子 大村 隆之 北村 葵 田部井 寿隆 松尾 奏江	池田 雪那 駒田 莉奈 澤田 妙子 成田 沙智世	内藤 仁美 橋本 竜弥		市岡 香貴 平山 輝 中野 友香 川尻 愛子 平野 利忠
薬物送達学	浦野 真帆 川口 恵里奈 林 直美 森村 知紗 吉村 夏実	安藤 睦美 長田 典子 柳樂 美月 林原 純季	小川 恵美 中谷 貴菜 森 千絵未 若林 里奈	神谷 悠乃 小松 美穂	加藤 恭崇 齋田 雄基
マイクロRNAゲノム創薬学					
生薬学	浅井 恒志 柏原 郁恵 セイエド'アィン 谷村 陽平 中崎 絢子	中山 和香 水上 貴史 山田 和輝 吉田 理人	平松 みどり 増本 克彦 飯島 利恵 長地 康孝 樋渡 純一	奥村 雄一	大野 雄也 近藤 未来 村口 真凜 鈴木 卓馬
衛生化学	荒岸 洋輝 田中 雄一朗 西村 太一 蓮池 浩太	柴田 将成		河野 克洋 藤岡 直人	香川 匠 小林 正都 北野 拓真 西山 彩史

分野	薬学科			生命薬科学科	
	4年	5年	6年	3年	4年
遺伝情報学	大角 愛 菊川 拓磨 坪井 奈緒子 野間 崇秀 村上 のぞみ	伊藤 由菜 蒲池 美友 名和 優紀子 翠 ひとみ	田中 悠紀子	大石 結香 合田 凌也	坂元 健太郎 小林 純果 志水 良亮 宮原 彰太
細胞分子薬効解析学	近澤 佳南	岩谷 優希 木全 茂利 花田 菜摘 山方 基寛	堤 香菜子 仲矢 有希	小澤 拓海 澤井 優輝 楯野 真也	神藤 秀基 稲垣 奏 前田 和輝 栗栖 紘基
病態生化学	長沼 美丹衣	末永 舞	山田 梨絵 山下美星	石井 圭介 大嶋 智葉 興梠 勝成	梅本 銀河 奥川 英介 周 春雨
薬物動態制御学	黒田 大祐 高橋 駿介 武井 秀樹 宮崎 早希 村田 彩乃	石川 千尋 河野 綾香 古澤 香菜 吉田 朱里	片山 めぐみ 柘植 彩花 中村 恭子 渡邊 理奈	難波 莉子	竹中 理沙 篠田 裕太郎 秋野 翔伍 田嶋 柊也
病態解析学	井手 さくら 榎本 拓也 大田 晴香 杉野 早貴 土居 紋子	伊藤 萌 川畑 結衣 近藤 崇雄 永井 薫		白川 菜由 安富 栄人	鳥内 皐暉 福屋 和真 大塚 勇斗 大木 あゆみ
細胞情報学	長坂 真衣 丹羽 奈津美 野木村 藍 安田 早希 吉田 真南香	大久保 翼 加藤 一雲 田中 仁美 橋本 亮子	伊藤 彰悟 福浦 啓史 水川 絵理子 山田 莉香子	金子 沙羅 渡辺 信	住田 丈典 徳川 宗成 筒井 聖人
神経薬理学	小林 里帆	長尾 柚香	荒川 千暁 宮本 啓補 池田 大輔 友廣 拓生 濱野 友香	岩城 杏奈 幡鎌 輝 藤本 真里奈	大森 翔太 稲波 千尋 石崎 千晶 山口 翔
医薬品安全性評価学	植松 紘規 榎原 由子 高橋 祐太 富吉 紘史 武藤 樹也	小林 牧由 平石 千紘 牧野 隼及 三沢 あずさ	石原 佳奈 田村 花梨 福澤 和輝 山下 彩花	落部 達也 早瀬 稔起 松本 貴大	槇野 隆太
病院薬剤学	土屋 絵莉子 佐々木 菜央 鈴木 純 中田 明代 平野 花奈	浅野 岳人 飯田 悠貴 戸田 裕二 中根 裕人 村瀬 美和	中村 大学 所 美里 深本 絢子 前田 琴美 前田 陽子 松山 奈央	下井 涼平	森 泰毅
臨床薬学教育研究センター	沖村 里咲 木田 有里子 西村 祐香 堀池 理沙 三好 真琴 八木 亮夕子	赤川 巧 関谷 茜 日比野 桃菜 柳生 直紀 末松 菜月 鈴木 理珠	長崎 瑞佳 福山 了介 松村 若菜 山下 綾 山田 果奈 山野上 舞	小川 勇 外山 智視	山下 美紗季 中西 杏菜 水野 翔太

平成28年度研究員名簿

許可NO.	配属分野	氏名
1	生薬学	韓 瑩
2	病態生化学	久永 有紗
3	薬物動態制御学	太田 欣哉
4	臨床薬学	堀川 雅人
5	コロイド・高分子物性学	富田 友紀
6	病態解析学	高須 倫彦
7	臨床薬学	小玉 菜央
8	精密有機反応学	Balia Andrii
9	生体超分子システム解析学	伊納 義和
10	生体超分子システム解析学	井上 悠
11	生体超分子システム解析学	足立 浩章
12	生命分子構造学	石井 健太郎
13	生命分子構造学	平松 佳永
14	生命分子構造学	千田 紀代美
15	生命分子構造学	近藤 幸子
16	生命分子構造学	服部 久美子
17	生命分子構造学	山口 拓実
18	生命分子構造学	栗本 英治
19	生命分子構造学	矢木 真穂
20	生命分子構造学	水島 恒裕
21	生命分子構造学	高木 賢治
22	生命分子構造学	Zhu Tong (朱 彤)
23	生命分子構造学	Sikdar Arunima
24	生命分子構造学	Yan Gengwei
25	生命分子構造学	谷山 怜子
26	生命分子構造学	烏 云嘎
27	生命分子構造学	谷中 冴子
28	生命分子構造学	鈴木 達哉
29	生薬学	太田 美里
30	生薬学	安井 敏洋
31	生薬学	大野 高政
32	生薬学	中西 宏文
33	生薬学	小島 一夫
34	生薬学	呉 春珍
35	生薬学	趙 伯陽
36	生薬学	白 帆
37	遺伝情報学	山本 肇
38	細胞分子薬効解析学	近藤 るびい
39	薬物動態制御学	石黒 雅江
40	薬物動態制御学	井上 勝央
41	薬物動態制御学	井上 健
42	薬物動態制御学	片野 貴大
43	薬物動態制御学	鈴木 成樹
44	薬物動態制御学	山本 俊輔
45	病態解析学	小泉 恵子
46	病態解析学	後藤 洋
47	病態解析学	垣田 博樹
48	細胞情報学	中田 佳宏
49	神経薬理学	高 天翔
50	病院薬剤学	片岡 智哉
51	臨床薬学	三木 健義
52	臨床薬学	松本 和也
53	臨床薬学	林 寿人
54	臨床薬学	名仁澤 英里

許可NO.	配属分野	氏名
55	臨床薬学	平野 文香
56	医薬品安全性評価学	伊東 真紀
57	医薬品安全性評価学	斎藤 嘉朗
58	臨床薬学	武中 徹
59	遺伝情報学	山岸 良多
60	薬物送達学	福重 香
61	細胞情報学	吉田 康子
62	臨床薬学	堤 進
63	神経薬理学	小笠原 治
64	病態解析学	齊藤 美加
65	生薬学	許 鑫
66	臨床薬学	Tsedenbal Narantuya

教員採用・昇任・退職

区分	分野	補職名	氏名	辞令年月日	前職・移動先等
採用	病院薬剤学	特任助教	西出 景子	H28.12.1	名古屋大学
採用	薬物送達学	特任助教	福重 香	H28.5.1	
採用	病院薬剤学	特任助教	萩原 宏美	H28.5.1	
採用	病態解析学	准教授	朝霧 成挙	H28.10.1	京都大学特定准教授
採用	精密有機反応学	助教	久松 洋介	H29.1.1	東京理科大学薬学部
昇任	神経薬理学	講師	富田 淳	H28.4.1	助教
昇任	衛生化学	准教授	伊藤 佐生智	H28.5.1	講師
昇任	病態生化学	講師	河野 孝夫	H28.10.1	助教
退職	レギュラトリーサイエンス	特任助教	桶本 和男	H28.6.30	
退職	病院薬剤学	特任助教	林 孝弘	H28.10.31	
退職	病院薬剤学	特任助教	萩原 宏美	H29.2.28	名市大病院臨床研究開発支援センター
退職	生体超分子システム解析学	講師	鈴木 亮	H29.3.31	金沢大学医薬保健研究域教授 就任
退職	細胞情報学	助教	伊藤 友香	H29.3.31	山梨大学医学部
退職	薬物送達学	特任助教	福重 香	H29.3.31	愛知医科大学
退職	病院薬剤学	助教	内藤 敏子	H29.3.31	
退職	病院薬剤学	特任助教	外ノ池 文乃	H29.3.31	
退職	分子生物薬学	教授	今川 正良	H29.3.31	定年

## 職 員[2016年4月1日現在]

### 総合機器分析施設

衛生技師：加藤 節子，岩澤 加奈

### 薬学部事務室

事務長：井上 誠

学務係長：森 薫

主 事：丹羽 隆，佐々木 綾

業務士：山田 俊也

事務系職員：松永 佳子，水野 栄子，宮田 晴子，塚本 尚美

### 総合情報センター-田辺通分館-薬学部

分館長：服部 光治（病態生化学分野教授兼務）

司 書：政谷 浩子

事務系職員：杉 七瀬，荻原 彩乃

### 職員の異動（2016年3月31日～）

異 動：渡邊 一紀（2016年3月31日転出 →名古屋市教育委員会へ）

井上 誠（2016年4月1日転入 ←学術課より）

滝塚 厚夫（2016年3月31日転出 →医学部事務室へ）

森 薫（2016年4月1日転入 ←病院業務課より）

榎本 涼子（2016年3月31日転出 →山の畑事務室へ）

杉 七瀬（2016年4月1日転入 ←学術情報室より）

荻原 彩乃（2016年4月1日転入 ←学術情報室より）

平成 28 年度 名古屋市立大学大学院薬学研究科 自己点検・評価報告書

自己評価・点検委員会

担当者： 湯浅博昭（責任者），山中淳平，大澤匡弘，築地仁美